

- 二 學藝美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
 - 三 使用手數料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 四 基本財産ノ處分ニ關スル事
 - 五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 六 第一百一條及第一百三條ノ處分ヲ爲ス事
 - 七 寄附若シクハ補助ヲ爲ス事
 - 八 不動産ノ處分ニ關スル事
 - 九 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
 - 十 第十六條ニ依リ數個人若シクハ區ニ費用ヲ負擔セシムル事
 - 十一 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事
 - 十二 特別會計ヲ設クル事
- 第五十條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ及セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フル事ヲ得
- 第五十一條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スシテ處分スル事ヲ得
- 第五十二條 內務大臣ハ區長及委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

內務大臣ハ懲戒處分ヲ行ハントスル前吏員ノ停職ヲ命シ並ニ給料ヲ支給セサルコトヲ得

第八十條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ之ヲ適用ス

第八章 附 則

- 第五十三條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五十四條 此ノ法律施行ノ際都會都參事會及區會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都長官之ヲ行フ
- 第五十五條 此ノ法律施行ノ際初メテ要スル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ効力ヲ有ス
- 第五十六條 此ノ法律ニ於テ直接稅若ハ間接稅トスヘキ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス
- 第五十七條 從來ノ東京市ノ營造物及市有財産ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ都ノ管理若シクハ所有ニ移ルモノトス
- 此ノ法律施行ノ際從來ノ東京府ノ營造物及府有財産ノ處分ハ內務大臣之ヲ定ム
- 第五十八條 此ノ法律施行前後ヲ通算シ二年以上引續キ市及都ニ住所ヲ有シ市及都ノ負擔ヲ分任シ且市及都内ニ於テ直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ第七條二年以來都ノ住民ト爲リ都ノ負擔ヲ分任シ及都内ニ於テ直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ト看做ス
- 第五十九條 現行ノ法律命令中府若シクハ市トアルハ都府會若シクハ市會トアルハ都府會議員若シクハ市會議員トアルハ都會議員府知事若シクハ市長トアルハ都長官府參事會若シクハ市參事會トアルハ都參事會府參事會員若シクハ市參事會員トアルハ都參事會員ト看做シ其ノ他此ノ例ニ依ル但シ本條ノ例ニ依ラサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 水利組合條例ニ依リ設置シタル水利組合ハ此ノ法律施行ノ爲消滅セサルモノトス
第六十一條 現任衆議員議員ハ此ノ法律施行ノ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

舊法ニ依ル衆議員議員選舉區中東京府第一區乃至第九區ハ東京都第一區乃至第九區トシ新法ニ依ル衆議員議員選舉區中
東京府東京市ハ東京都トシ其ノ區域及議員ノ數ハ此ノ法律施行ノ爲變更セラレルコトナシ

第六十二條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除ク外此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

東京都制案

(第十六議會(明治三十五年))

(伯爵清棲家教氏外三名提出)

本案ハ第十五議會貴族院ニ伯爵清棲家教外四名提出ノ東京都制案ト略同一ニ付其ノ異ナル部分ノミヲ掲載ス
第五條 從來ノ東京市ノ區ハ都ノ區トス

區ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ其ノ財産ニ關スル事務其ノ他法律勅令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區ノ廢置分合又ハ境界ノ變更ヲ要スルトキハ内務大臣ハ都參事會及關係區會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テ財産處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ定ムヘシ

區ノ境界ニ關スル爭論ハ關係區ノ申請ニ依リ都參事會之ヲ裁決ス其ノ裁決ヲ違法ナリトスル區ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ都ノ境界ニ涉ルトキハ第三條及第四條ノ規定ニ依ル

區ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要スルトキハ都會及關係區會ノ議決ヲ經都長官ノ申請ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第九條 都公民ニシテ第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民權ヲ失フ

都公民ノ公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ公民權ヲ停止ス家資分散若シクハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ復權ノ決定アル迄及公權剝奪若シクハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキヨリ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ都ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若シクハ事件ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

都公民ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ニ當ルトキ又ハ第八條第三項ノ處分ヲ受ケ其ノ處分
確定シタルトキハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ職務ニ在ル都吏員ニシテ公權剝奪若シクハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ
其ノ職ヲ停止スル事ヲ得

第十七條 都會議員中議員アルトキ及各級議員ノ定數若シクハ其ノ配當ヲ變更シタル爲議員ノ選舉ヲ要スルトキハ三箇月
以内ニ之ヲ行フヘシ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ前條第二項ノ結果ニ依リ次ノ改選期又ハ其ノ次ノ改選期迄在
任ス但シ新ニ選舉セラレタル議員二人以上ニシテ改選期ヲ異ニスヘキトキハ次ノ改選期ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以
テ之ヲ定ム

定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉區及選舉等級ニ從テ之ヲ行フヘシ

第十八條 區長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日迄ニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ十月二十日ヨリ十五日間區役所ニ於テ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間
内ニ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長官ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ決
定ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ區長直ニ之ヲ修正スヘシ

前項都長官ノ決定ヲ違法ナリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日迄之ヲ据置クヘシ

訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ區長ハ確定期限ノ前後ニ拘ラス直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ區長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日
投票所ニ至ルモノハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタルモノノ選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハコレヲ修正スル限ニ在ラ
ス

異議ノ決定確定シ若シクハ訴訟ノアリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製ス
ヘシ但シ名簿調製ノ期日迄ニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

前項名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ都長官ノ定ムル所ニ依ル

第二十八條 當選者定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ其ノ旨ヲ告示シ且同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名
ヲ都長官ニ報告スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ都長官ニ申出ツヘシ

一人ニシテ數級若シクハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ
應スヘキカヲ都長官ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサルモノハ總テ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

定期改選増員選舉補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數選舉ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

第十五條第三項ノ官吏ニシテ當選ヲシタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第二十七條 都會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

一 歳入出豫算ヲ定ムル事

二 決算報告ニ關スル事

- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料加入金都税及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
 - 四 不動産ノ處分並ニ買受讓受ニ關スル事
 - 五 基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
 - 七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 八 其ノ他法律命令ニ依リ都會ノ權限ニ屬スル事項
- 第四十三條 都會ハ議員中ヨリ議長副議長各一人ヲ選舉スヘシ議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ
- 第六十四條 都參事會ノ職務權限左ノ如シ
- 一 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
 - 二 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長官ニ於テ之ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキ都會ニ代テ議決スル事
 - 三 都長官ヨリ都會ニ提出スル議案ニ付都長官ニ對シ意見ヲ述フル事
 - 四 都會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事
 - 五 都費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 六 都ニ係ル訴訟訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事
 - 七 其ノ他法律命令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項
- 第七十一條 都ハ有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得、其ノ定員ハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
- 前項ノ都吏員ハ都長官之ヲ任免ス

第七十二條 都ニ都收入役ヲ置キ每區ニ區收入役ヲ置ク

都收入役及區收入役ハ官吏員ノ中ニ付キ部長官之ヲ命ス

第七十九條 都長官ハ都吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外都吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

都長官ハ都吏員ノ懲戒處分ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ並ニ給料ヲ支給セサル事ヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間都ノ公職ニ選舉セラレ若シクハ任命セラレル事ヲ得ス

第八十八條 區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ受ケ區ノ公共事務ヲ管掌シ區ヲ代表ス

第七十六條第二項第二號乃至第七號ノ規定ハ區ノ公共事務ニ關シテハ之ヲ區長ニ準用ス但シ都費トアルハ區費都會又ハ

都參事會トアルハ區會ヲ以テ之ニ該當スルモノトス本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲ニ要スル費用ハ都ノ負擔トス

第九十條 都ノ有給吏員ハ都長官ノ命令ヲ承ケ事務ニ從事ス

第九十條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料及特別税ニ關スル細則ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ

定ム其ノ條例ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クル事ヲ得

過料ニ處シ及之ヲ徴收スルハ都長官之ヲ掌ル其ノ處分ヲ違法ナリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スル事ヲ得

第三百三十五條 每區ニ區會ヲ置ク

區會議員ハ都ノ名譽職トス

區會議員ノ定員任期及選舉ニ關シテハ第十一條第二項、第十二條、第十四條第一項第三項乃至第八項、第十五條、第十六條第二項第三項、第十七條、第二十二條、第二十四條乃至第二十六條ノ規定ヲ準用ス但シ區内ニ住所ヲ有セサルモノハ區會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有セス

第四百十七條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 都規則ヲ設定スル事

二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若シクハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料手數料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

四 基本財産ノ處分ニ關スル事

五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置處分ニ關スル事

六 第九十九條及第一百一條ノ處分ヲ爲ス事

七 寄附又ハ補助ヲ爲ス事

八 不動産ノ處分ニ關スル事

九 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十 第一百四條ニ依リ數個人若シクハ區ニ費用ヲ負擔セシムル事

十一 繼續費ヲ定メ若シクハ變更スル事

十二 特別會計ヲ設クル事

第五百十條 内務大臣ハ委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事ヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

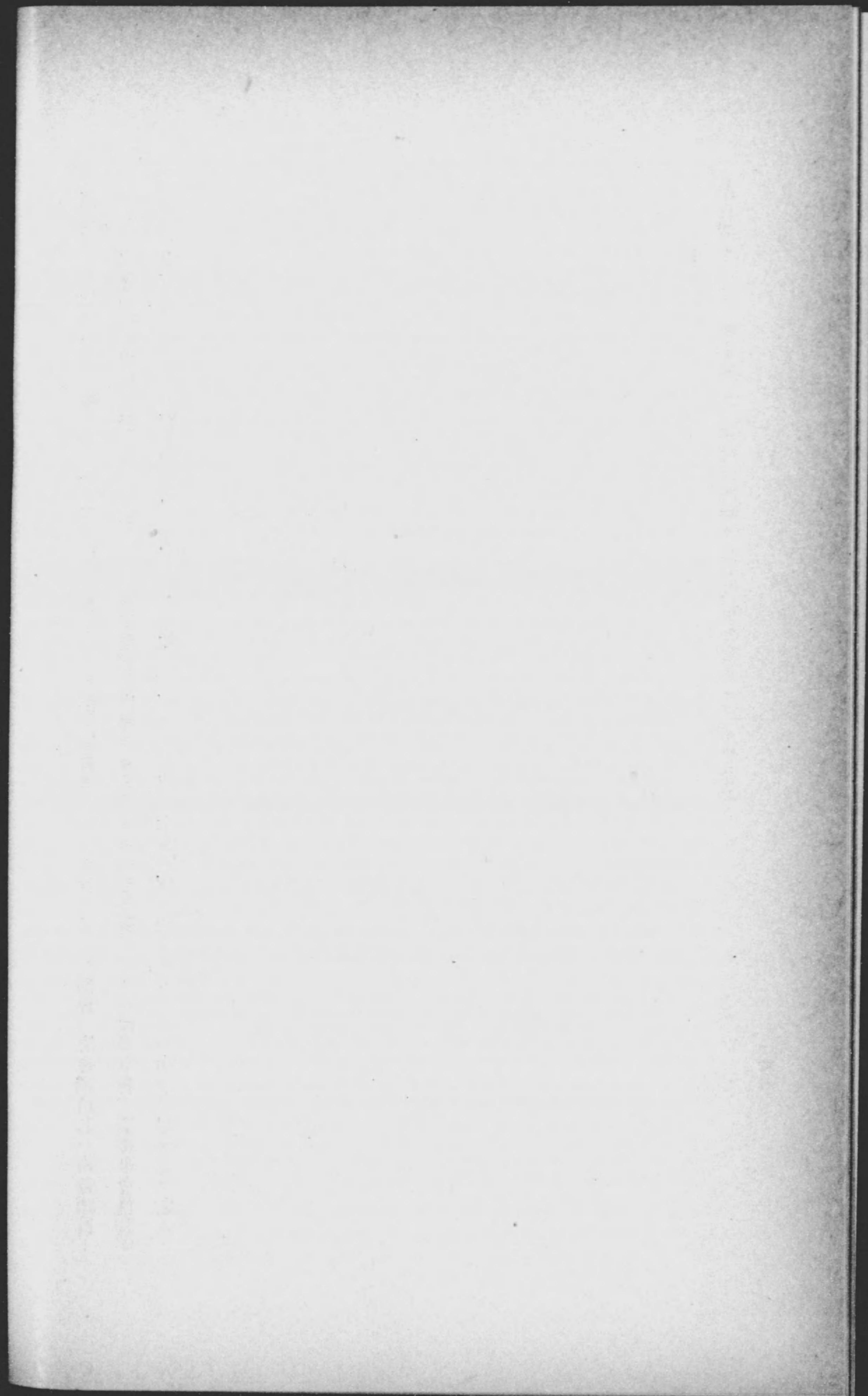
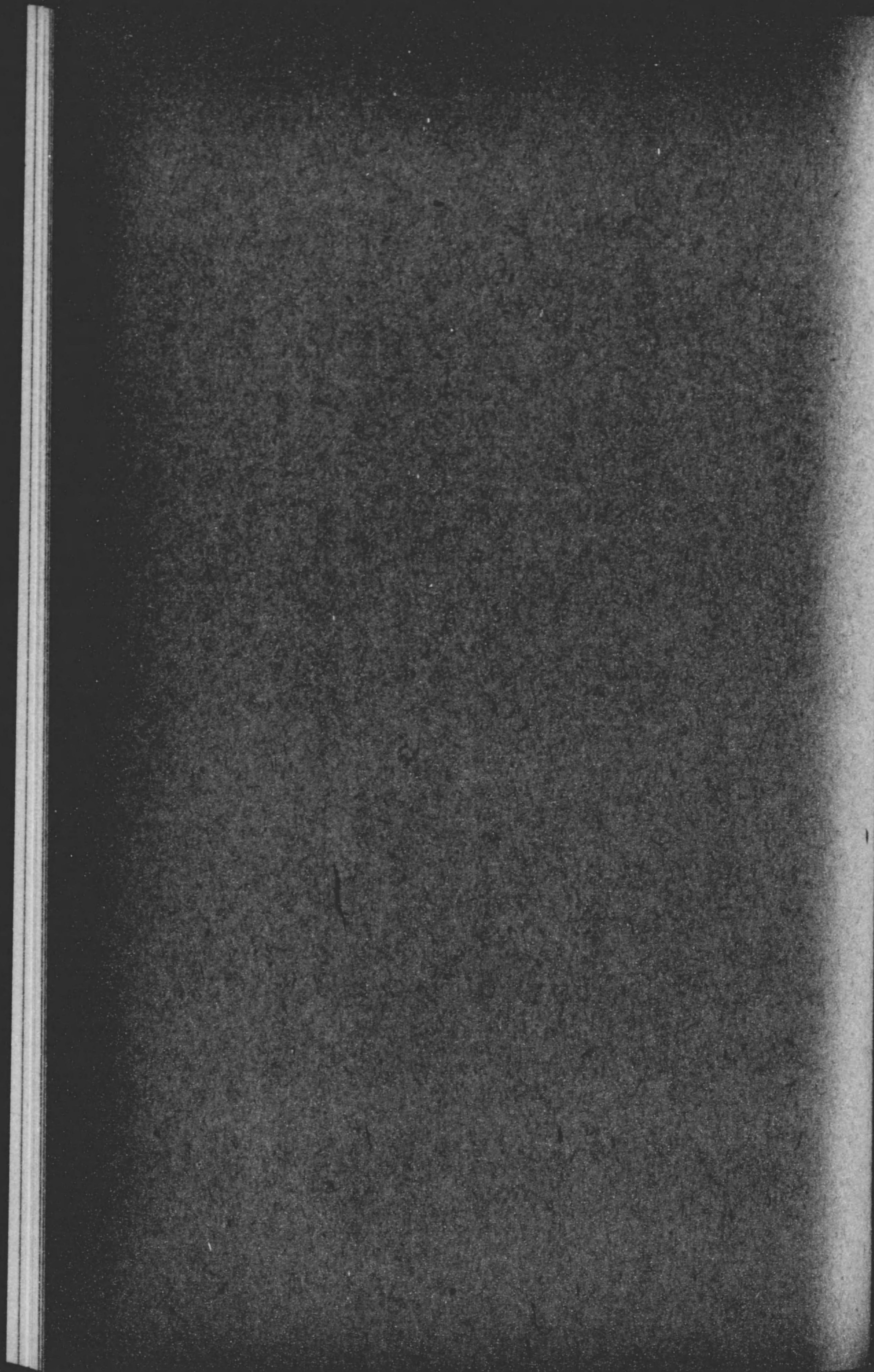
内務大臣ハ懲戒處分ヲ行ハントスル前吏員ノ停職ヲ命スル事ヲ得

第八十條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ適用ス

第五百十二條 此ノ法律施行ノ際都會都參事會及區會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都會及都參事會ニ關シテハ都長官區會ニ關シテハ區長之ヲ行フ

第五百十七條

現行ノ法律命令中府若シクハ市トアルハ都、府會若シクハ市會トアルハ都會、府會議員若ハ市會議員トアルハ都會議員、府知事若シクハ市長トアルハ都長官、府參事會若シクハ市參事會トアルハ都參事會、府參事會員若シクハ市參事會員トアルハ都參事會員ト看做シ其ノ他此ノ例ニ依ル但シ本條ノ例ニ依ラサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



千代田縣設置ニ關スル法律案

(第十五議會(明治三十四年))

(伯爵清棲家教氏外四名提出)

第一條 東京府ヲ廢シ千代田縣ヲ置ク

從來ノ東京府ノ區域中東京都ノ區域ト爲スヘキモノヲ除キ其ノ他ヲ以テ千代田縣ノ區域ト爲ス

第二條 此ノ法律施行ノ際縣會及縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間千代田縣知事之ヲ行フ

第三條 此ノ法律施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ府縣制第九條乃至第十二條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

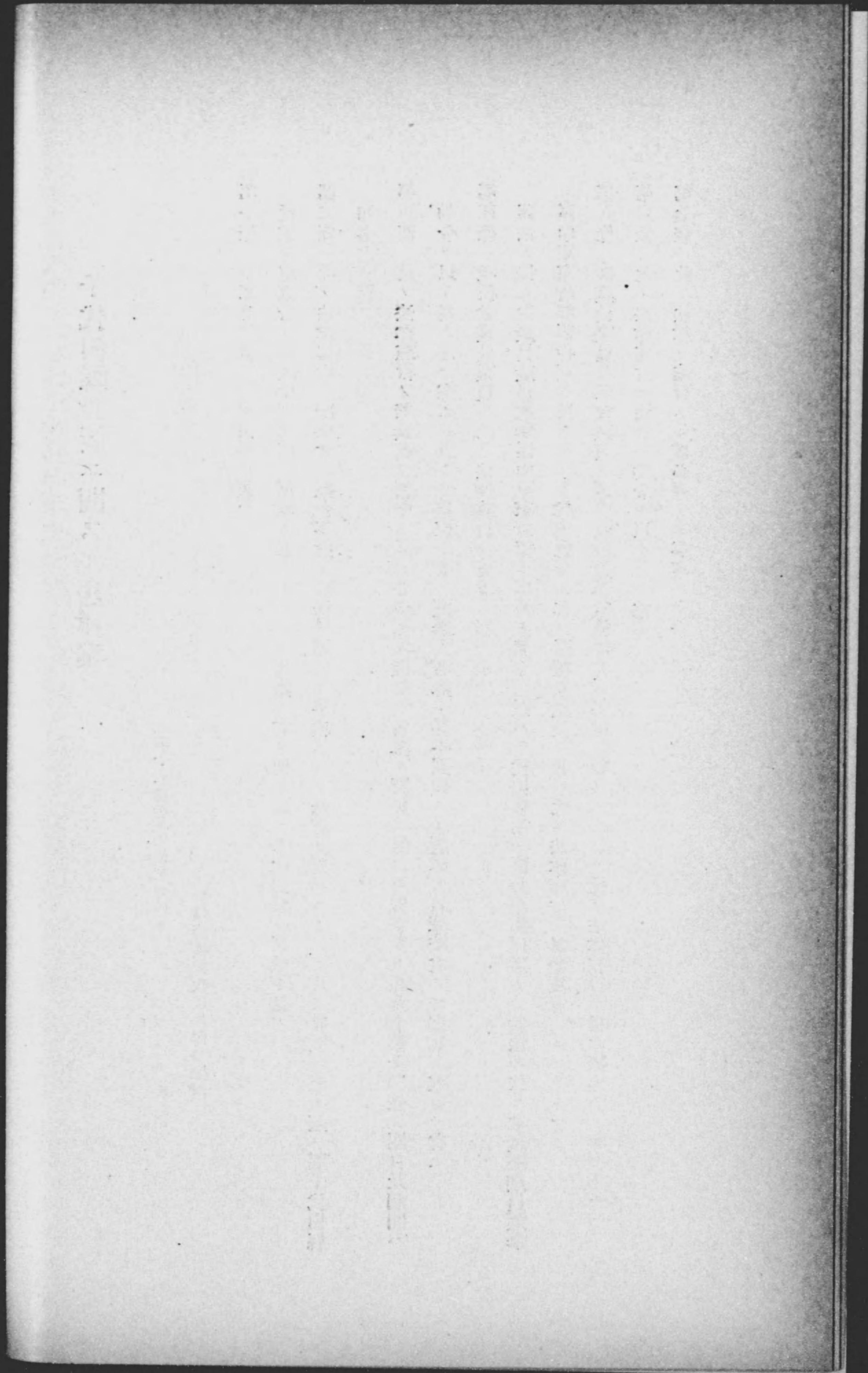
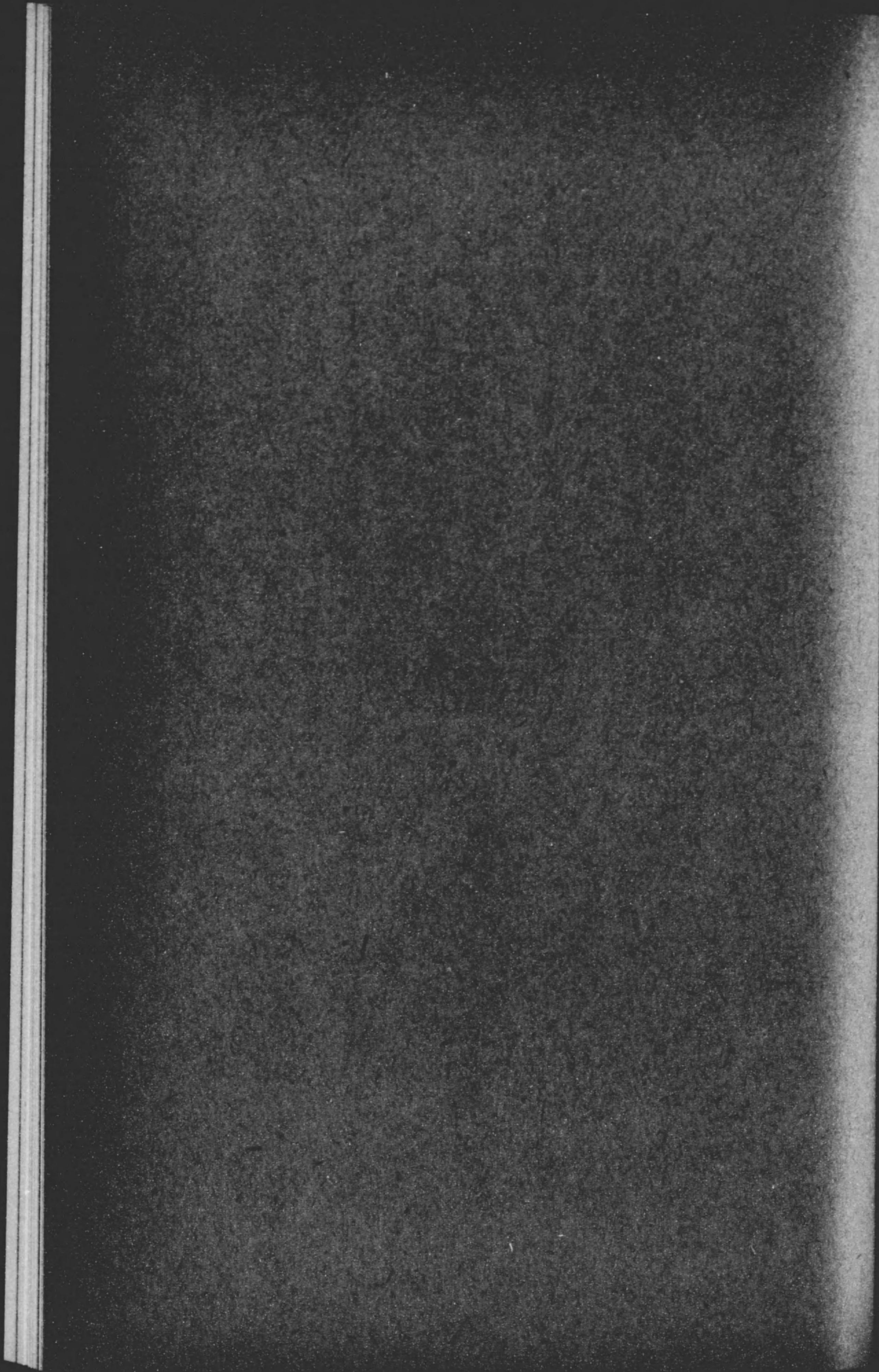
第四條 現任衆議員議員ハ此ノ法律施行ノ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

舊法ニ依ル衆議員議員選舉區中東京府第十區乃至第十三區ハ千代田縣第一區乃至第四區トシ新法ニ依ル衆議院議員選舉區中東京府郡部伊豆七島トモニ千代田縣トシ其ノ區域及議員ノ數ハ此ノ法律施行ノ爲變更セララルコトナシ

第五條 衆議員議員及縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモノハ此ノ法律施行ノ爲中斷セララルコトナシ

第六條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



東京都千代田縣組合法案

(第十五議會〔明治三十四年〕)

(伯爵清棲家教氏外四名提出)

第一條 東京都及千代田縣ノ共同事務ヲ處理スル爲東京都千代田組合ヲ置ク

組合ニ於テ處理スヘキ共同事務ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

組合ハ法人トス

第二條 東京都千代田組合ニ組合會ヲ置ク

組合會議員ハ名譽職トス

組合會議員ノ定數ハ東京都會及千代田縣會ノ議員定數ヲ合シタル數ノ三分ノ一トス但シ端數ハ之ヲ除算ス

第三條 組合會議員ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ議員中ヨリ選舉ス

各會ニ於テ選舉スヘキ組合會議員ノ數ハ内務大臣之ヲ定ム

第四條 組合會議員ノ定數及其ノ配當ハ第五條第一項ニ依リ選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ變更セス

第五條 組合會議員ノ選舉ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ各其ノ總選舉毎ニ之ヲ行フヘシ

組合會議員ノ定數又ハ配當ヲ變更シタル爲解任又ハ選舉ヲ要スル場合及補闕選舉ニ關シテハ府縣制第七條第三項及第八條ノ規定ヲ準用ス

第六條 組合會ノ議長及副議長ハ前項第一項ニ依リ選舉ヲ行フ毎ニ之ヲ改選スヘシ

第七條 組合會ハ東京都會及千代田縣會ニ於テ選舉スヘキ組合會議員定數各半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコト

ヲ得ス

一六八

第八條 組合ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本法中別ニ規定スルモノヲ除クノ外都制第二章第二款ノ規定ヲ準用ス
第九條 東京都千代田縣組合ニ組合參事會ヲ置キ都長官高等官三名及名譽職參事會員八名ヲ以テ之ヲ組織ス
第十條 名譽職參事會員ノ選舉ニ關シテハ第三條第四條及第五條第一項ノ規定ヲ準用ス

東京都會及千代田縣會ハ各其ノ選舉スヘキ名譽職參事會員ノ闕員ヲ補充スル爲之ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ
第四條及第五條第一項ノ規定ハ名譽職參事會員ノ補充員ノ選舉ニモ之ヲ準用ス

名譽職參事會員ノ配當ヲ變更シタル爲名譽職參事會員及其ノ補充員ノ解任又ハ選舉ヲ要スル場合ニ關シテハ府縣制第七條第三項及第八條第一項第三項ノ規定ヲ準用ス

第十一條 組合參事會ノ組織及選舉並ニ職務權限及處務規程ニ關シテハ本法中別ニ規定スルモノヲ除クノ外都制第三章ノ規定ヲ準用ス

第十二條 組合會議員及名譽職參事會員ノ費用辨償ニ關シテハ都制第四章第三款ノ規定ヲ準用ス

第十三條 東京都長官ハ東京都千代田縣組合ヲ統轄シ之ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

都長官其ノ他官吏ノ組合行政ニ關スル職務關係及處務規程ニ付テハ府縣制第四章第二款ノ規定ヲ準用ス

第十四條 組合ノ費用ハ財産ヨリ生スル收入其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノノ外之ヲ東京都及千代田縣ニ分賦スヘシ

組合費用分賦ノ割合ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム組合費用ノ分賦方法ニ關スル必要ノ事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第十五條 府縣稅ニ關スル事項ヲ除クノ外府縣制第五章ノ規定ハ之ヲ組合ノ財務ニ準用ス

第十六條 組合ノ監督ニ關シテハ府縣制第六章ノ規定ヲ準用ス

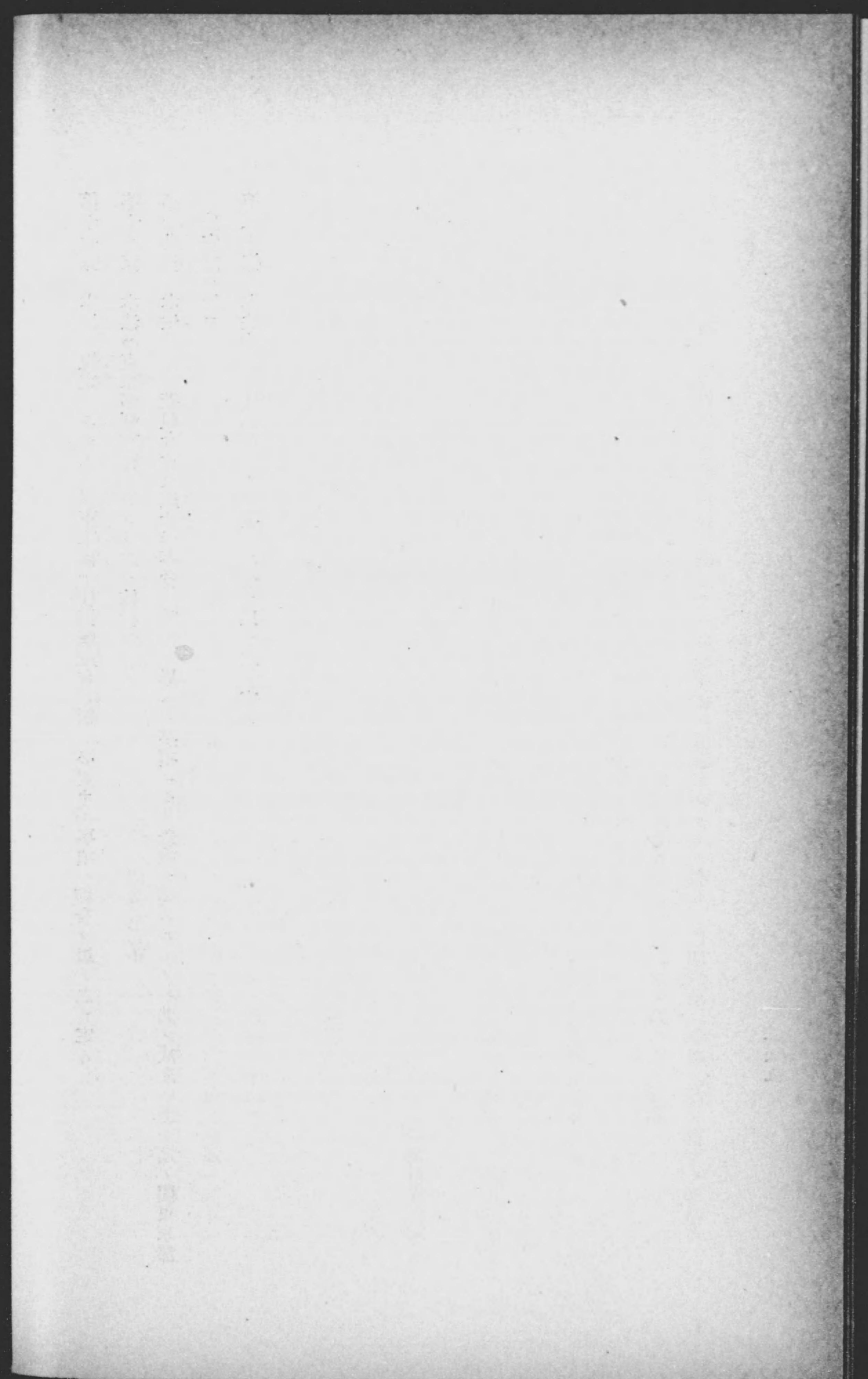
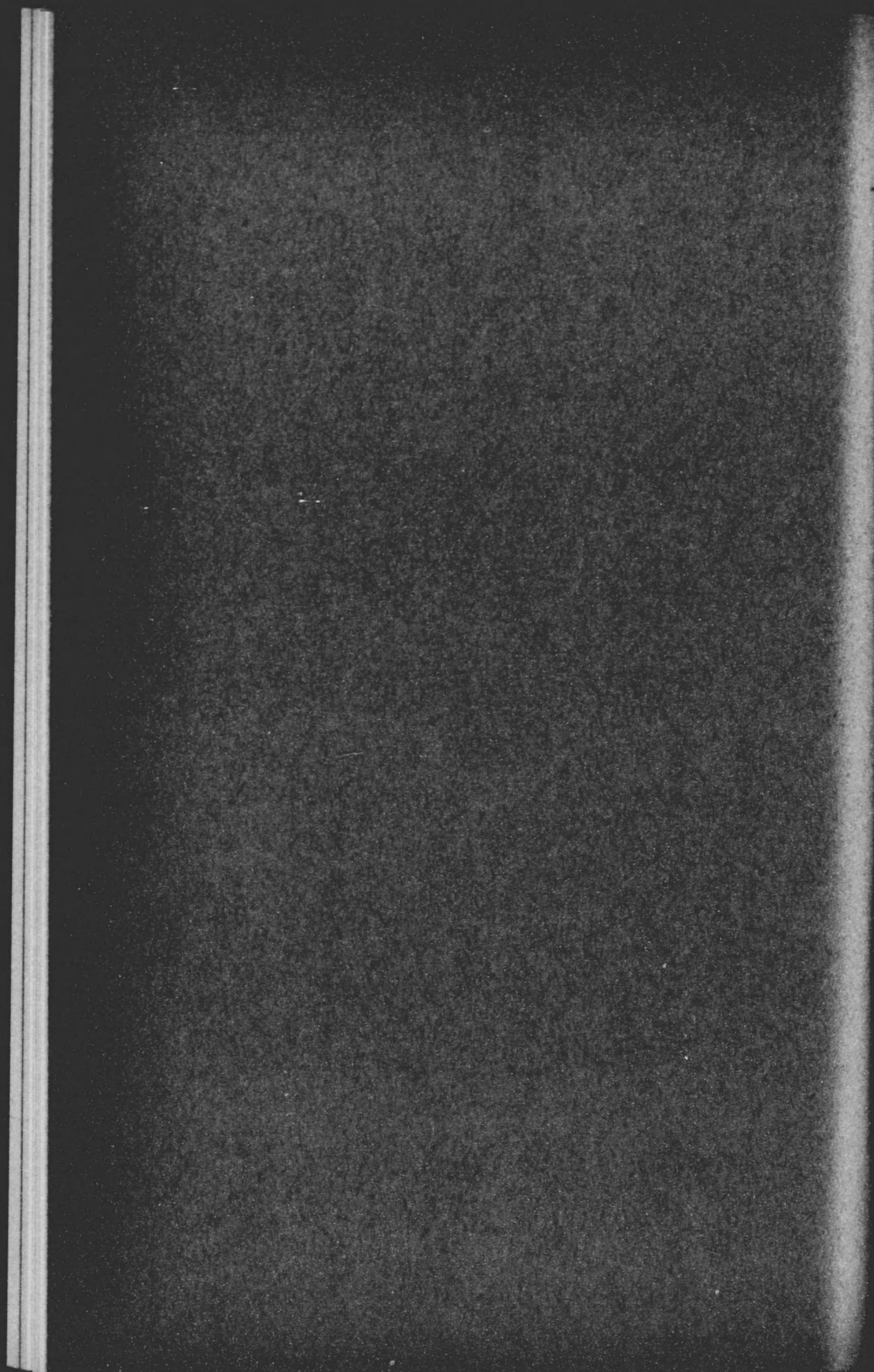
第十七條 本法ニ規定スルモノノ外東京都千代田縣組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 本法ハ東京都制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本法施行ノ際組合會及組合參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間東京都

長官之ヲ行フ

第二十條 本法施行ノ爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



東京市制案

(第二十三議會(明治四十年))

(磯部四郎氏外十五名提出)

第一章 總 則

第一款 市

第二款 區 域

第三款 住 民

第二章 市 會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第四章 市 行 政

第一款 市吏員ノ組織及選任

第二款 市吏員ノ職務權限

第五章 給料及給與

第六章 財 務

第一款 財産營造物及收入支出

第二款 歳入出豫算及決算

第七章 監 督

第八章 區

第一款 總 則

第二款 區會及區行政

第三款 區ノ財務

第九章 附 則

東京市制

第一章 總 則

第一款 市

則

第一條 市ハ法人トシ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二條 市ハ本法ニ規定スルモノノ外市住民ノ權利義務ニ關シ市條例ヲ設ケ及市ノ事務竝營造物ニ關シ市規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二款 區 域

第三條 市ハ從來ノ區域ニ依ル

市ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 市ハ從來ノ區ヲ存ス

第五條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ行政裁判所之ヲ判決ス

第三款 住 民

第六條 市内ニ住所ヲ有スル者ハ市住民トス

市住民ハ本法ニ從ヒ市ノ財産竝營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及市ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 市住民ニシテ左ノ要件ヲ備フル者ハ市公民タルノ權ヲ有ス

- 一 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スルコト
- 二 男子ニシテ滿二十五歲以上タルコト
- 三 二年以來市ノ負擔ヲ分任スルコト
- 四 二年以來市内ニ於テ直接國稅ヲ納ムル事

前項第三號及第四號ニ定ムル二年ノ制限ハ市會ノ議決ヲ經テ特免スルコトヲ得

家督相續ニヨリ財産ヲ取得シタル者ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

市公民ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市ノ區域變更ノ爲中斷セラレタルコトナシ

第八條 市公民ニシテ公權停止中又ハ租稅滯納處分中ノ者竝ニ禁治產者及準禁治產者ハ其ノ權ヲ停止ス家資分散若ハ破產

ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復権ノ決定スルマテ及禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定ニ至ル迄亦同シ

第九條 市公民ハ本法ニ從ヒ市ノ公務ニ參與スルノ權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ陸海軍ノ現役ニ服スル者及現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若シクハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第二章 市 會

第一款 組織及選舉

第十條 市會ハ各選舉區ニ於テ市公民ノ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス議員ノ定員ハ七十五人トシ各選舉區ヨリ選舉スヘキ員數ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ム但シ一選舉區三人ヲ下ルコトヲ得ス

第十一條 議員ノ選舉區ハ區ノ區域ニ依ル

選舉人ハ其ノ住所ニ依リテ所屬ノ選舉區ヲ定ム但シ選舉人名簿調製期日後ニ異動ヲ生シタルトキハ前住所地ヲ以テ所屬ノ選舉區トス

第十二條 選舉人ハ各選舉區ニ於テ之ヲ三級ニ分ツ

選舉人中直接市税ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人中直接市税ノ納額最多キ者ヲ合セテ一級選舉人ヲ除キタル選舉人ノ納ムル總額ノ二分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ三級トス

前項ノ場合ニ於テ一級選舉人ノ數二十名ニ滿タサルトキハ直接市税ノ納額最多キ者二十名ヲ以テ一級トス各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ若シ兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ市内ニ住所ヲ

有シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ル住所ヲ有シタル年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ年齡相同シキトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ム

選舉人每級各別ニ各選舉區ヲ通シテ議員定數ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ各選舉區ニ於ケル每級ノ議員數ハ第十條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

被選舉人ハ同級又ハ同選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

本條直接市税ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ニ於ケル賦課額ニ依ル

第十三條 選舉權ヲ有スル者ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三十日ヲ經過セサル者亦同シ

一 有給ノ市吏員

二 府ノ官吏及有給ノ府吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

前項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ得ヘシ

市ノ爲工事ノ請負若ハ物件勞力提供ノ契約ヲ爲ス者又ハ市ノ爲同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス

第十四條 議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ總選舉期日ヨリ四年トス

第十五條 議員中關員ヲ生シ其ノ關員定員ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ市會若ハ市長ニ於テ必要ト認ムルトキハ補

開選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

第十六條 選舉人名簿ハ選舉期日前六十日ヲ期シ其ノ日ノ現在ニ依リ市長ノ指揮ニ從ヒ區長之ヲ調製スヘシ
名簿ハ其ノ選舉期日前四十日ヲ期シ其ノ日ヨリ七日間區役所ニ於テ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ區長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ市參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ關シテハ市長又ハ區長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定シ爾後一年以内ニ行フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿若シクハ選舉ノ無効トナリタルニ依リ又ハ補闕選舉ノ爲ニ調製シタル名簿ハ本項ノ期間内ニ行ハルル總選舉竝ニ其ノ後ノ補闕選舉ニ適用ノ限ニ在ラス
異議ノ決定訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ヲ修正ヲ要スルトキハ區長ハ直チニ之ヲ修正スヘシ但シ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ總選舉期日前三日迄ニ修正スヘシ

名簿ヲ修正シタルトキハ區長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

名簿ニ登錄セサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書若シクハ判決書ヲ所持シ選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ但書ノ選舉人ハ名簿ニ登錄セラレタル選舉人中其ノ直接市税ノ納額自己ノ納額ニ最モ近キ者ノ屬スル等級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テ最モ近キ者兩級ニ在ルトキハ下級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スルノ限ニ在ラス
異議ノ決定訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿無効トナリタルトキハ更ニ選舉期日ヲ定メ本條ノ規定ニ依リ名簿ヲ調製スヘシ

名簿ノ様式ハ市長之ヲ定ム

第十七條 選舉ノ執行ハ改選ノ場合ニ於テハ議員ノ任期滿了ノ翌日トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ市長ノ定ムル期日ニ依ル
前項ノ期日選舉ノ場所投票ノ時限及各選舉區各級ニ於テ選舉スヘキ數ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ市長之ヲ告示スヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲナスコトヲ得

第十八條 選舉會ハ區長選舉長トナリ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス
選舉會ニハ二名乃至四名ノ選舉立會人ヲ置キ臨時ニ選舉人中ヨリ區長之ヲ選任ス
選舉立會人ハ名譽職トス

第十九條 選舉會場ニハ選舉人ノ外入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者又ハ選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ又ハ投票ニ關シ協議若シクハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ選舉會場外ニ退出セシメ必要アルトキハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第二十條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ其ノ投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ得投票用紙ニ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ
投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依ル

第二十一條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサル者
- 二 二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 三 同一ノ氏名ヲ連記シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 六 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十二條 投票ノ受否並効力ニ關スル事項ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決ス

第二十三條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス但シ其ノ選舉區其ノ等級ニ於ケル議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル當該級ノ選舉人總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項投票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡相同シキトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

第二十四條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スヘシ
選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ市長ニ報告スヘシ

選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ効力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十五條 當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

第十三條第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ當選ニ應スルヤ否ヤヲ市長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ市長ニ申出ツヘシ但シ第十三條第三項ノ官吏ノ當選シタル者ニ關シテハ其ノ期間ヲ二十日トス

第二項ノ期間内ニ當選ノ應否ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

當選ニ應シタル者ノ氏名及其ノ住所ハ市長之ヲ告示スヘシ

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第二十六條 選舉人又ハ區長ニ於テ選舉若ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告知ノ日ヨリ七日以内ニ市參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項訴願ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市長ニ於テ選舉又ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ第一項訴願ノ有無ニ拘ラス第二十四條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ市參事會ノ決定ニ付スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條市參事會ノ裁決若ハ決定ニ關シテハ市長又ハ區長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十七條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル虞ナキ部分ハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十八條 選舉若シクハ當選ニシテ無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲當選無効ト確定シタルトキハ第二十三條ノ規程ニ依リ當選者ヲ定ム

第二十九條 議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ

前項被選舉權ノ有無ハ市會之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項市會ノ決定ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スル權ヲ失ハス

第三十條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ直チニ之ヲ告示スヘシ

第三十一條 議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務 權 限

第三十二條 市會ハ市ノ公共事務ニ關スル事件並法律勅令ニ依リ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第三十三條 市會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 市條例及市規則ヲ設定スル事
- 二 市費ヲ以テ支辨スヘキ事件但シ法律勅令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 三 歳入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スルコト

五 法律勅令ニ定ムルモノノ外使用料手数料市税ノ賦課徴收ニ關スルコト

六 不動産ノ管理處分並ニ買受讓渡ニ關スルコト

七 基本財産及積立金等ノ設置管理處分ニ關スルコト

八 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト

九 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

十 市吏員ノ身許保證ニ關スルコト

十一 市ニ係ル訴訟及和解ニ關スルコト

十二 區ノ名稱又ハ市役所區役所ノ位置ニ關スルコト

第三十四條 市會ハ其ノ權限ニ屬スル事件ノ一部ヲ市參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十五條 市會ハ法律勅令ノ定ムル所ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第三十六條 市會ハ市事務ノ處理議決ノ執行ニ付市長ノ報告ヲ請求シテ其ノ當否ヲ検査スル事ヲ得

市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付官廳ニ建議ヲ爲スコトヲ得

市會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第三十七條 市會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ハ議員ノ任期間之ヲ改選ス

第三十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ年長ノ議員又ハ臨時ニ選舉シタル議員ヲ

以テ假議長トス

第三十九條 市長及其ノ委任ヲ受ケタル市吏員ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辯明スルコトヲ得

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直チニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演説ヲ中止セシムルコトヲ得ス
第四十條 市會ハ議長之ヲ召集ス若シ議員定員四分ノ一以上又ハ市長ノ請求アルトキハ直ニ之ヲ召集スヘシ但シ議長副議長共ニ無キトキハ市長ニ於テ之ヲ召集ス

召集並ニ會議ノ事件ハ急施ヲ要スル場合ノ外少クトモ三日前ニ之ヲ告知スヘシ

第四十一條 市會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付召集再會ニ至ルモ出席議員尙半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第四十三條 議長及議員ハ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第四十四條 市會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ投票ヲ爲シ有効投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得タル者無キトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り更ニ投票セシム此ノ場合ニ於テ同數者アル爲二名ヲ取り難キトキハ其ノ同數者ニ就キ議長抽籤シテ之ヲ定メ更ニ之ヲ投票セシム

前項ノ再投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若シ同數ナルトキハ議長抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

第二十條第一項第三項及第二十一條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決ス本條ノ選舉ニハ市會ノ議決ヲ以テ特別ノ方法ヲ用フルコトヲ得

第四十五條 市會ノ會議ハ公開ス但シ議長若ハ議員ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ又ハ市長ヨリ傍聽禁止ノ要求アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ發議ハ討論ヲ用ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十六條 議長ハ會議ノ事ヲ處理シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員又ハ傍聽人中會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ場外ニ退出セシメ必要アルトキハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十七條 議長ハ會議事件ノ結果ヲ市長ニ報告スヘシ

第四十八條 市會ニ書記其ノ他ノ有給吏員ヲ置キ議長之ヲ任免ス

前項ノ吏員ハ議長ノ指揮ヲ受ケ會議ニ關スル庶務ニ從事ス

第四十九條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ頭末並ニ出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ
會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ其ノ議員ハ市會ニ於テ之ヲ定ム

第五十條 議員正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ職ヲ解クコトヲ得

前項市會ノ議決ハ出席議員二分ノ二以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決スヘシ

第一項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ處分ハ確定ニ至ル迄其ノ執行ヲ停止ス

第五十一條 市會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ニハ本法並ニ會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ市會ノ議決ニ依リ公開シタル議場ニ於テ譴責シ又ハ會議日三日

以內出席ヲ停止スルノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 市 参 事 會

第一款 組織及選舉

第五十二條 市参事會ハ市長副市長及市参事員十二名ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十三條 市参事員ハ名譽職トシ市會議員ニ非サル市公民中ヨリ定員ノ半數以內ヲ選舉シ其ノ他ハ市會議員中ヨリ選舉ス

前項市参事員ノ選舉ハ總選舉後ノ市會ニ於テ直ニ之ヲ爲スヘシ

市参事員ノ任期ハ市會議員ノ任期終了日ヲ以テ滿了ス

市参事員中闕員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

本條ノ選舉ニ關シテハ第十三條第二項乃至第四項ノ規定ヲ適用ス

第五十四條 市参事員ノ當選ハ市長之ヲ當選者ニ告知シ其ノ他第二十五條第二項第三項及第五項乃至第七項ノ規定ヲ準用ス

第五十五條 市参事員若ハ市會議員ニ於テ市参事員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以內ニ

市参事會ノ決定ヲ求ムルコトヲ得其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條及第二十八條ノ規定ハ市参事員ノ選舉ニ之ヲ適用ス但シ第二十八條但書ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 市會議員ヨリ出テタル市参事員議員ノ職ヲ失ヒタルトキハ其ノ職ヲ失フ市會議員ニ非スシテ市参事員タル者議員ニ當選シ其ノ當選ヲ辭セサルトキ亦同シ

第五十七條 市参事員ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ノ有無ハ市参事會之ヲ決定ス

第五十八條 市参事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ副市長之ニ代リ市長副市長共ニ故障アルトキハ市参事員中ヨリ臨時假議長ヲ選舉スヘシ

第二款 職務權限

第五十九條 市参事會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一 市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタル事項

二 市長ヨリ市會ニ提出スル議案ニ付市長ニ對シ意見ヲ述フルコト

三 財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項

四 豫備費支出ニ關シ重要ナル事項

五 市長ノ諮問シタル事項ニ對シ意見ヲ述フルコト

六 其ノ他法律命令ニ依リ市参事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十條 市参事會ハ市長之ヲ招集ス若シ市参事員定員半數以上ノ請求アルトキハ直ニ之ヲ招集スヘシ

第六十一條 市参事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十二條 市参事會ニ書記ヲ置キ市吏員中ヨリ市長之ヲ命ス

第六十三條 市参事員正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ第五十條ノ規定ヲ適用ス

第六十四條 第三十五條第三十六條第二項第三項第三十九條第四十一條乃至第四十四條第四十六條第四十八條第二項及第

四十九條ノ規定ハ市参事會ニ之ヲ準用ス

第四章 市 行 政

第一款 市吏員ノ組織及選任

第六十五條 市ニ市長及副市長各一名ヲ置ク

第六十六條 市長及副市長ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

市長ハ内務大臣ノ上奏シタル三名ノ候補者中ヨリ勅任ス

前項ノ候補者ハ内務大臣市會ヲシテ之ヲ選舉セシムヘシ

副市長ハ内務大臣市會ヲシテ候補者ヲ選舉セシメ奏上裁可ヲ請フヘシ

市長及副市長ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第六十七條 市長及副市長ハ市民ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職中市民タルク權ヲ得

第六十八條 市長及副市長ハ第十三條第二項第二號乃至第五號ニ掲クル職ト相兼ヌルコトヲ得ス

又同條第四項ニ掲クル行爲ヲ爲シ若シクハ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員タルコトヲ得ス

第六十九條 市長及副市長ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ營業又ハ他ノ報償アル業務ニ従事スルコトヲ得ス

第七十條 市ニ出納司一名ヲ置ク

出納司ハ市長之ヲ選定シ市會ノ承認ヲ經テ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

市長又ハ副市長ノ間ニ父子兄弟ノ緣故アル者ハ之ト同時ニ出納司タルコトヲ得ス若シ其ノ緣故アル者市長ニ就任シタル

トキハ出納司ハ其ノ職ヲ失フ

出納司ニ關シテハ第六十六條第一項第六十七條及第六十八條ノ規定ヲ準用ス

第七十一條 市ニ出納監理二名ヲ置ク

出納監理ハ名譽職トシ市會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉シ一會計年度間在任ス

出納監理ニ關シテハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

其ノ出納司トノ間ニ緣故アル場合亦同シ

七十二條 市ハ市條例ヲ以テ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トシ市民中ヨリ選任スヘシ

委員ノ組織及任期等ニ關スル事項ハ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第七十三條 市民ニ限り任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ公民權ヲ喪失シ又ハ第九條但書ノ規定ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失

フ職ニ就キタル爲市民タルノ權ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ第九條但書ノ規定ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ内務大臣ハ其ノ職務ノ執

行ヲ停止シ併セテ其ノ報酬又ハ給料ヲ支給セシメサルコトヲ得

第七十四條 市ニ主事技師其ノ他必要ノ有給吏員ヲ置キ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 市吏員ノ職務權限

第七十五條 市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

市長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 市會及市參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付議案ヲ發シ並ニ其ノ議決ヲ執行スルコト

- 二 財産及營造物ヲ管理スルコト但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スルコト
 - 三 収入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スルコト
 - 四 證書及公文書類ヲ保管スルコト
 - 五 使用料手数料及市税ヲ賦課徴收スルコト
 - 六 其ノ他法律命令ニ依リ市長ノ職權ニ屬スル事項
- 第七十六條 市長ハ市會ニ提出スル議案ニ付市參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ市參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ市會ニ提出スヘシ
- 第七十七條 市長ハ出納官吏ヲ除クノ外市吏員ヲ指揮監督シ其ノ任命ニ係ル市吏員ニ對シ市規則ノ定ムル所ニ依リ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス
- 第七十八條 市長ハ市會又ハ市參事會ノ議決若シクハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ自己ノ意見又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ再議ニ付シ若シクハ再選舉ヲ行ハシメ尙之ヲ改メサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ市會又ハ市參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキ亦同シ
- 第七十九條 市長ハ市會成立セス又ハ會議ヲ開クコト能ハサルトキ若シクハ招集ノ暇ナシト認ムルトキハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長及副市長ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得
- 前項市參事會ノ議決ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 第一項ノ場合ニ於テ市參事會ノ議決ニ付スルコト能ハサルトキ及市會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ選舉ヲ行ハサルトキハ市長ハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

- 本條ノ處分ハ之ヲ次回ノ市會ニ報告スヘシ
- 第八十條 市長ハ市參事會成立セス又ハ會議ヲ開クコト能ハサルトキ若シクハ招集ノ暇ナシト認ムルトキハ市參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキ亦同シ
- 前項市長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得第一項ノ處分ハ之ヲ次回ノ市參事會ニ報告スヘシ
- 第八十一條 市長其ノ他市吏員ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ國ノ行政事務ヲ掌ル
- 第八十二條 市長ハ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市行政事務ニ付テハ市會ノ同意ヲ經國ノ行政事務ニ付テハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ
- 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得
- 第八十三條 副市長ハ市長ノ職務ヲ補助シ市長故障アルトキハ之ヲ代理ス
- 第八十四條 出納司ハ市ノ出納竝ニ第八十一條ニ關スル國ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 前項ノ事務ハ第八十二條第一項ノ例ニ依リ市長ニ於テ其ノ一部ヲ區出納司ニ分掌セシムルコトヲ得出納司故障アルトキハ市長ノ選定シタル市吏員之ヲ代理ス但シ其ノ選定ハ豫メ市會ノ承認ヲ受クヘシ
- 第八十五條 出納監理ハ市ノ出納及財産ニ關スル計算竝ニ正否ヲ監査ス
- 第八十六條 委員ハ財産若シクハ營造物ヲ監理シ又ハ一時ノ委託ニ依リ市行政事務ノ一部ヲ調査ス
- 委員正當ノ事由ナクシテ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ第五十條ノ規定ヲ適用ス

第八十七條 第七十四條ノ市吏員ハ市長ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス
第八十八條 市ノ事務ニ關スル處務規程ハ市長之ヲ定ム

第五章 給料及給與

第八十九條 名譽職員ニハ職務ノ爲要スル實費ヲ給スルコトヲ得
出納監理及委員ニハ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第九十條 名譽職員ノ實費報酬並ニ有給吏員給料旅費等ノ支給額及其ノ支給方法ハ市規則ヲ以テ之ヲ定ム

第九十一條 有給吏員ノ退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ム

第九十二條 本章ノ給料及給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得
前項ノ異議ハ市參事會之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アルモノハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項市參事會ノ決定ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六章 財 務

第一款 財産營造物及收入支出

第九十三條 市ハ不動産積立金等ヲ基本財産トナシ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ取得シタル財産ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附ニ係ル物件ニシテ寄附者其ノ使用目的ヲ定メタルモノハ此ノ限
ニ在ラス

特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設クルコトヲ得

第九十四條 市住民ニ於テ財産又ハ營造物ヲ特ニ使用スル舊來ノ慣行ハ市會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ之ヲ改ムルコトヲ得

ス

第九十五條 財産ヲ賣却貸與シ又ハ物件勞力ノ供給若シクハ工事ノ請負ヲ爲サシムルトキハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時
急施ヲ要スルトキ若シクハ入札スヘキ價額其ノ費用ニ比シ得失相償ハスト認ムルトキ又ハ市會ノ同意ノ得タルトキハ此
ノ限ニ在ラス

第九十六條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十七條 市ハ其ノ必要ナル費用及從來法律命令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ市ノ義務ニ屬スル費用ヲ負擔ス第八十
一條ノ事務ヲ執行スル爲必要ナル費用及第八十九條乃至第九十一條ノ規定ニ依ル支出亦同シ但シ法律命令中別段ノ規定
アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十八條 市ハ營造物若シクハ公共ノ使用ニ供スル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ及特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手
數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十九條 第九十四條及前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シテハ市規則ヲ設クルコトヲ得

第一百條 市稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

- 一 國稅府稅ノ附加稅
- 二 特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府稅ニ賦課シ均一ノ稅率ヲ以テ市ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トシ特別稅ハ別ニ稅目ヲ設ケ課稅
スル必要アルトキ之ヲ賦課徵收ス

國稅ノ附加稅タル府稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

第一百一條 九十日以上市内ニ滞在スルモノハ其ノ滞在ノ始ニ遡リ市税ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百二條 市内ニ住所ヲ有セス又ハ九十日以上滞在スルコトナシト雖モ市内ニ於テ物件ヲ所有シ使用シ若シクハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ若シクハ市内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ物件營業及行爲ニ對シ又ハ其ノ收入ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムル義務ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦同シ但シ國ノ事業若シクハ行爲ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第一百三條 市住民及九十日以上市内ニ滞在スル者ノ市外ニ於テ所有シ使用シ若シクハ占有スル物件若シクハ其ノ收入又ハ市外ニ營業所ヲ定メタル營業若シクハ其ノ收入ニ對シテハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ス

收入ニ對シ市税ヲ賦課スルトキ其ノ納稅義務者ニシテ同一收入ニ付他市町村ニ納稅義務ヲ有スルトキハ其ノ收入ヲ他市町村ト平分シ其ノ一部ニ賦課スヘシ但シ物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生スル收入ハ此ノ限ニ在ラス

他市町村ニ渉ル營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且ツ其ノ營業若シクハ其ノ收入ニ對スル本税ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ附加稅ヲ賦課スルトキハ其ノ方法ヲ定メ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第一百四條 左ニ掲クルモノニハ市税ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ第二號乃至第五號ノ場合ニ於テ供用者以外ニ納稅義務者アルトキハ其ノ納稅義務者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

- 一 所得稅法第五條ニ掲クル所得
- 二 國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ直接ノ公用ニ供スル物件並ニ營造物
- 三 公共ノ施設ニ係ル學藝美術又ハ慈善ノ用ニ供スル物件並ニ營造物
- 四 神社遙拜所寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物ニシテ其ノ境内地ニ存在スルモノ及其ノ境内地
- 五 教會所說教所ノ用ニ供スル建物ニシテ住宅ナラサルモノ及其ノ境内地

前項ノ外市税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

皇族ニ係ル市税ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現令ノ例ニ依ル

第一百五條 市税ノ賦課徵收方法ニ關シテハ法律中別段ノ規定アルモノノ外勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百六條 納稅義務者中特別ノ事情アル者ニ對シ市長ハ納稅延期ヲ許スコトヲ得但シ其ノ會計年度出納閉鎖期ヲ超ユル場合ハ市參事會ノ議決ヲ經ヘシ

第一百七條 使用料手数料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例ニハ二圓以下ノ過料ニ處スルノ規定ヲ設クルコトヲ得財產若シクハ營造物ノ使用方法ニ關スル市規則ニ付テモ亦同シ

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ市長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ市參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項市參事會ノ裁決ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百八條 市税ノ附加額ハ之ヲ告示スヘシ

市税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法若シクハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後九十日以内ニ市長ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

財產若シクハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アルモノハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ

其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項參事會ノ決定ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ規定ハ使用料及手数料ノ徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第九條 使用料及手数料市稅其ノ他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促スヘシ此ノ場合ニ於テハ市條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滯納者前項ノ督促ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ尙完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

前項ノ處分ニ不服アル者ハ市參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項市參事會ノ裁決ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ其ノ處分確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第十條 使用料市稅其ノ他官廳ノ命令ニ依ル市ノ收入ノ賦課徵收ニ關シ必要アルトキハ市長ハ市吏員ヲシテ日出ヨリ日

沒迄ノ間關係者ノ家宅ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ臨檢及檢査ハ營業者ニ關シテハ仍營業時間内之ヲ爲スコトヲ得

第十一條 第九條ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ就テハ國稅ノ例ニ依ル

第十二條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變等止ムヲ得サル支出若シクハ永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スル場

合ニ限リ市會ノ議決ヲ經テ市債ヲ起スコトヲ得

市債ヲ起スニ付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ關シ議決ヲ經ヘシ

豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要アルトキハ本條ノ例ニ依ラス一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歲入出豫算及決算

第十三條 市長ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前十日迄ニ市會ノ議決ヲ經ヘシ其ノ市會ニ提出スヘキ期限ハ仍五十日滿トス

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ併セテ事務報告書及財産明細書ヲ提出スヘシ

第十四條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若シクハ更生ヲ爲スコトヲ得

第十五條 數年ヲ期シ支出ヲ要スル費用ハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費トナスコトヲ得

第十六條 豫算外ノ支出若シクハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

但シ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第十七條 豫算ハ市會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ竝ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第十八條 市ハ市會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第十九條 豫算成立シタルトキハ市長ハ其ノ謄本ヲ出納司ニ交付スヘシ

出納司ハ市長又ハ内務大臣ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

市長ノ命令ヲ受クルモ其ノ豫算ナキトキ又ハ財務ニ關スル規定ニ依ラサルトキ亦同シ

第二十條 出納閉鎖ハ會計年度經過後三箇月ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖後二箇月以内ニ證書類ヲ添へ出納司ヨリ市長ニ提出スヘシ

市長ハ之ニ豫算ニ對スル増減ノ説明ヲ附シ出納監理ノ審査ヲ經テ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ市會ノ認定ニ付スヘシ

市長ハ前項出納監理ノ審査ニ關シ意見ヲ異ニスルトキハ出納監理ノ意見ヲ決算ニ添へ市會ニ提出スヘシ

決算及其ノ認定ニ關スル市會ノ議決ハ之ヲ内務大臣ニ報告シ決算ハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二百一十一條 市ノ支拂ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第二百一十二條 現金ノ出納及保管ノ爲市金庫ヲ置キ銀行ヲシテ其ノ事務ヲ取扱ハシム

前項ノ外市金庫ニ關シ必要ナル事項ハ市規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二百一十三條 豫算調製ノ式竝ニ費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル事項ハ市規則ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 監 督

第二百二十四條 市行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百二十五條 内務大臣ハ第七十八條ノ場合ニ於テ市會又ハ市參事會ノ議決若シクハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ取消處分ニ不服アル市會又ハ市參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二百二十六條 本法中別段ノ規定アル場合ノ外市ノ行政ニ關スル市長ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

但シ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二百二十七條 本法ニ依リ市參事會ニ訴願ヲ爲シ又ハ決定ヲ求ムル場合ニ於テハ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

第二百二十八條 本法ニ規定スル異議若シクハ訴願訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若シクハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日より其

ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日より各十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ本法中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

本法ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ申立人ニ交付スヘシ本法中別段ノ規定アル場合ノ外異議ノ申立又ハ訴願訴訟ノ提起ニ因リテ處分ノ執行ヲ停止スルコトナシ但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ

依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十九條 内務大臣ハ市行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スル爲行政事務ニ關スル報告

ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ竝ニ實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

内務大臣ハ市行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條 法律命令ニ依リ負擔スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ内務大臣ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

市又ハ市長其ノ他ノ市吏員ニ於テ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ内務大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス

本條ノ處分ニ不服アル市又ハ市長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二百三十一條 内務大臣ハ勅裁ヲ經テ市會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

市會解散ノ場合ニ於テハ九十日以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第二百三十二條 内務大臣ハ市長副市長共ニ故障アルトキハ市參事員中ヨリ臨時市長代理者ヲ選任スヘシ若シ市參事員ナキトキハ府知事又ハ其ノ代理者ヲシテ市長ノ職務ヲ管掌セシム但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス

前項臨時市長代理者ノ報酬及旅費額等ハ内務大臣之ヲ定ム

第二百三十三條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 市條例ヲ設定スルコト

二 第七十七條第九十條第二百二十二條及第二百二十三條ニ依ル市規則竝ニ營造物ニ關スル市規則ヲ設定スルコト

- 三 基本財産ノ處分ニ關スルコト
- 四 寄附若シクハ補助ヲ爲スコト
- 五 區ノ名稱ニ關ス

第三百二十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 市債ヲ起シ竝ニ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムルコト但シ第一百十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 特別稅使用料手數料ヲ新設シ若シクハ變更スルコト
- 三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スルコト但シ法律勅令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト
- 五 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト

第三百二十五條 内務大臣及大藏大臣ハ市ノ行政ニ關シ其ノ許可ヲ與フヘキ事件ニ付更正シテ許可スルコトヲ得

第三百二十六條 内務大臣ハ市長副市長出納司出納監理及委員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒ハ譴責二十五圓以下ノ過
怠金及解職トス

市長及副市長ノ解職ハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

内務大臣ハ第一項ノ吏員ニ對シ解職ヲ行ハントスル前停職ヲ命シ且場合ニ依リ報酬又ハ給料ヲ支給セシメサルコトヲ得
第三百二十七條 市吏員ノ服務規律賠償責任ニ關スル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第八章 區

第一款 總 則

第三百三十八條 區ハ其ノ財産及營造物ニ關スル事務其ノ他從來法律命令ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處
理ス

第三百三十九條 區ハ從來ノ區域ニ依ル

區ノ配置分合又ハ區域ノ變更ヲ要スルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百四十條 區ノ境界ニ關スル事項ハ市參事會之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項市參事會ノ決定ニ關シテハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百四十一條 區内ニ住所ヲ有スル者ハ本法ニ從ヒ區有財産竝ニ區ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及區ノ負擔ヲ分任スル
義務ヲ負フ

前項ノ外區内ニ住所ヲ有スルモノニ關シテハ市ノ住民ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百四十二條 區ハ第一ニ於テ市長之ヲ監督シ第二ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

區ノ監督ニ關シテハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第二百五條第二百二十九條及第三百三十條第一項ノ規定ニ依ル内
務大臣ノ職權ハ市長モ亦之ヲ行フコトヲ得

第二款 區會及區行政

第三百四十三條 區會ハ區有財産竝ニ區ノ營造物ニ關スル事項及法律勅令ニ依リ區會ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

區會ハ區ノ出納ニ關シ計算書ヲ檢閲シ及其ノ當否ヲ監査スルコトヲ得

第三百四十四條 區議員ハ市ノ名譽職トシ其ノ定員ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ム

第三百四十五條 區會議員一級選舉ノ投票ニ關シテハ市條例ノ規定ニ依リ連名投票ヲ用フルコトヲ得

連名投票ヲ用フル爲投票ノ効力ニ關シ必要ナル事項ハ前項ノ市條例中ニ規定スヘシ

第四百十六條 區會議員ノ選舉又ハ當選ノ効力ニ關スル異議及被選舉權ノ有無ニ付テハ市會議員ニ關スル規定ヲ適用シ其ノ他區會ニ關シテハ前三條ニ規定スルモノノ外市會ニ關スル規定ヲ準用ス

區會ト區長トノ關係ニ付テハ市會ト市長トノ關係ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百十七條 區會ノ解散ハ內務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ九十日以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第四百十八條 區ニ區長區書記其ノ他必要ノ有給市吏員ヲ置キ市長之ヲ任免ス

區長ノ任免ハ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

區長ハ之ヲ一名トシ區書記其他ノ吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

區ニ出納司一名ヲ置キ市長副市長出納司出納監理及區長トノ間ニ父子兄弟ノ緣故アラサル區書記中ヨリ市長之ヲ命ス

第四百十九條 區長ハ市長ノ命ヲ受ケ又ハ法律勅令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務並ニ區ノ事務ヲ掌ル

區長其他ノ吏員ハ府知事若シクハ市長ノ命ヲ受ケ又ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ國及府ノ行政事務ヲ掌ル

區長ハ區書記ヲシテ前二項ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第四百十條 區長ニ於テ區ノ事務ヲ處理スルニ付テハ本款ニ規定スルモノノ外市行政ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七十八條及第七十九條第三項ニ於テ內務大臣トアルハ之ヲ市長トス

第四百十一條 區長故障アルトキハ上席區書記之ヲ代理ス但シ區出納司タル區書記ハ代理スルコトヲ得ス

第四百十二條 區出納司ハ市長又ハ出納司ノ命ヲ受ケ市及區ノ出納並ニ第四百十九條第二項ニ關スル國及府ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

區出納司故障アルトキハ市長ノ指名シタル區書記之ヲ代テ代理ス

第四百十三條 區書記其ノ他ノ吏員ハ區長ノ指揮監督ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四百十四條 區ノ事務ニ關スル處務規程ハ市長之ヲ定ム

第三款 區ノ財務

第四百十五條 第三百二十八條ノ事務ニ要スル支出及區ニ屬スル市ノ名譽職員ニ給スル實費並ニ報酬ハ區ノ負擔トシ其ノ他ノ事務ニ要スル支出ハ市ノ負擔トス

第四百十六條 區ハ其ノ負擔ニ屬スル支出ニ充ツル爲市稅トシテ區費ノ賦課徵收ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ財產及營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四百十七條 區ノ財務ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノ及市條例並ニ市規則ノ設定ヲ除クノ外市ノ財務ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十七條及第二十條ニ於テ內務大臣トアルハ之ヲ市長トシ第十九條ニ於テ內務大臣トアルハ之ヲ監督

廳トス

區ノ現金ノ出納及保管ハ市金庫ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第九章 附 則

第五百十八條 本法ハ明治四十年十月一日ヨリ施行ス但シ第十條ノ市會議員定員ハ次ノ總選舉區迄之ヲ六十人トス

第五百十九條 本法施行ノ際現ニ助役收入役名譽職參事會員市會議員及區會議員ノ職ニ在ル者ハ本法施行後ト雖モ左ノ區

分ニ依リ在職ス但シ市會議長區會議長並ニ其ノ代理者ハ本法施行ト共ニ其ノ職ヲ失フ

一 助役ハ之ヲ副市長トス但シ助役二名以上アルトキハ市會ニ於テ其ノ中ヨリ選定シタル者ヲ副市長トシ其ノ他ハ職ヲ

失フ

二 收入役ハ之ヲ出納司トス

三 名譽職參事會員ハ之ヲ市參事員トシ本法施行後明治二十一年法律第一號市制ニ依ル半數改選期迄在任ス市會議員ノ任期其ノ前ニ終了スルトキハ市參事員モ共ニ其ノ職ヲ失フ

四 市會議員及區會議員ハ本法施行後明治二十一年法律第一號市制ニ依ル半數改選期迄在任ス

前項第三號ニ依リ就職シタル市參事員ニシテ第五十三條第一項ノ制限ニ適セサルトキハ補闕選舉ノ際順次其ノ制限ニ依ラシムヘシ

第六十條 本法施行ノ際現ニ市長ノ職ニ在ル者及前條ニ依リ就職シタル副市長並ニ出納司ハ本法施行後明治二十一年法律第一號市制ニ依ル殘任期間在任ス但シ殘任期間四年ヲ超ユルトキハ之ヲ四年トス

第六十一條 本法ニ定メタル直接稅間接稅ノ類別ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第六十二條 本法ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

東京都制案

(第二十四議會〔明治四十一年〕)

(子爵岡部長藏氏外四名提出)

第一章 總 則

第一款 都及其ノ區域

第二款 都住民及其ノ權利義務

第三款 都條例及都規則

第二章 都 會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 都 參 事 會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 都 行 政

第一款 都吏員ノ組織及任免

第二款 都官吏都吏員ノ職務權限及職務規程

第三款 給料及給與

第五章 都ノ財務

第一款 財産及收入

第二款 歳入出豫算及決算

第六章 都内一部ノ行政

第七章 都行政ノ監督

第八章 附 則

東京都制

第一章 總 則

第一款 都及其ノ區域

第一條 從來ノ東京市ノ區域ハ府縣都市町村ノ區域外トシ之ヲ都ノ區域ト爲ス

第二條 都ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝ニ從來法令又ハ慣例ニ依リ府又ハ市ニ屬スル事務及將來法律勅令ニ依リ都ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 都ノ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ處分ニ付財産處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル都府縣都市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム

第四條 都ノ境界ニ關スル爭論ハ内務大臣之ヲ裁決ス其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

都ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ内務大臣之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴

スル事ヲ得

本條ノ裁決及決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ關係團體ニ交付スヘシ

第五條 從來ノ東京市ノ區ハ之ヲ都ノ區トス

區ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ其ノ財産ニ關スル事務其ノ他法律勅令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ内務大臣ハ都參事會及關係區會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テ財産處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ都ノ境界ニ涉ルトキハ第三條ノ規定ニ依ル

前條ノ規定ハ區ノ境界ニ之ヲ準用ス

區ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要スルトキハ都參事會及關係區會ノ議決ヲ經都長官ノ申請ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第二款 都住民及其ノ權利義務

第六條 都内ニ住所ヲ有スル者ハ都住民トス

都住民ハ本法ニ從ヒ財産及營造物ヲ共有スル權利ヲ有シ都ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ一戸ヲ構フル滿二十五年以上ノ男子ニ箇年以來都ノ住民トナリ都ノ負擔ヲ分任シ及都

内ニ於テ直接國稅年額三圓以上納ムル者ハ都公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二箇年ヲ經サル者及禁治產者準禁治產者ハ此ノ限ニ在ラス

前項二箇年ノ制限ハ都會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ特免スルコトヲ得

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

境界變更ニ依リ都ニ編入セラレタル區域ニ於テ其ノ編入前住所ヲ有シ市町村ノ負擔ヲ分任シ及直接國稅ヲ納メタル年限ハ之ヲ第一項ノ年限ニ通算ス

第八條 都公民ハ都ノ選舉ニ參與シ都ノ名譽職ニ選舉セララル權利ヲ有シ都ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ退職シ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ都會ノ議決ヲ經テ一箇年以上四箇年以下都公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止年期以内其ノ者ノ負擔スヘキ市稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ増加スル事ヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ都内ニ居ルコトヲ得サル者

三 滿六十年以上ノ者

四 官職ノ爲都ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四箇年以上都ノ名譽職ニ任シ爾後四箇年ヲ經過セサル者

六 其ノ他都會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

本條ノ事件ニ付テハ都長官ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條 都公民ニシテ第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其ノ公民權ヲ失フ

都公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル時ヨ

リ復權ノ決定確定スルマテ又禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定ニ至ル迄亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ都ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタル時亦同シ

第三款 都條例及都規則

第十條 都ハ都住民ノ權利義務又ハ都ノ事務ニ關シ都條例ヲ設クルコトヲ得

都ハ都ノ營造物ニ關シ都規則ヲ設クルコトヲ得

都條例及都規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 都 會

第一款 組織及選舉

第十一條 都會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ付選舉人之ヲ選舉ス

都會議員ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經都條ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ六十人ヲ超ユルコトヲ得ス

都會議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス

第十二條 都公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ルモノハ此ノ限ニ在ラス

帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ直接都稅ヲ納ムルモノ其ノ額都公民ノ最モ多ク納稅スル者三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス
帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

本條ノ直接都税ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ニ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十三條 都ノ區ヲ以テ都會議員ノ選舉區トス各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ三名ヲ下ルコトヲ得ス

選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム都内ニ住所ナキ者ハ直接都税ノ賦課ヲ受ケタル物件又ハ營業所ノ所在ニ依リ若シ物件又ハ營業所ニシテ數選舉區ニアル場合ニハ之ニ對スル課税ノ最モ多キ所ニ依リ其ノ之ニ依リ難キ場合ニハ本人ノ申出ニ依ツテ之ヲ定ムヘシ

第十四條 選舉人ハ各選舉區ニ於テ之ヲ三級ニ分ツヘシ

選舉人中直接都税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス但シ一級選舉人ノ數五名ニ滿タサルトキハ納額最モ多キ者五名ヲ以テ一級トス一級選舉人ノ外直接都税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル直接都税ノ總額中一級選舉人ノ納ムル額ヲ除キ其ノ殘額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス各級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名以上アルトキハ其ノ都内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テシ年齡同シキトキハ區長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ハ選舉人每級各別ニ其ノ三分ノ一ヲ選舉ス若シ等分シ難キトキハ端數二名ノ場合ハ之ヲ一級及三級ニ配當シ一名ノ場合ハ之ヲ二級ヨリ選出スヘキ數ニ加フヘシ

被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス又其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス本條ノ直接都税ノ納額ニ關シテハ第十二條第四

項ノ規定ヲ準用ス

第十五條 選舉權ヲ有スル都公民ニシテ直接國税年額十圓以上ヲ納ムル者ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

- 一 都ノ官吏及有給吏員
- 二 檢事警察官吏及收税官吏
- 三 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
- 四 小學校教員

前項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

都ノ爲工事ノ請負物件勞力其ノ他供給若ハ金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者ハ都ノ爲同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス

第十六條 都會議員ハ名譽職トス

都會議員ノ任期ハ四箇年トス

議員ノ配當ヲ變更シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第十七條 都會議員中闕員アルトキ又ハ議員ノ配當ヲ變更シタル爲選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フヘシ

前項ニ依リ同時ニ二名以上ノ議員ヲ選舉スヘキトキハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ總選舉迄在任ス

補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉區及選舉等級ニ於テ之ヲ選舉スヘシ
 第十八條 區長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日迄ニ其ノ區内ノ選舉人ノ資格ヲ記載シタル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ十月二十日ヨリ十五日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄區役所又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長官ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ決定ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ區長直ニ之ヲ修正スヘシ
 前項都長官ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期間トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日迄之ヲ据置クヘシ
 訴訟ノ判決ニ依リ名簿ヲ修正ヲ要スルトキハ區長ハ確定期限ノ前後ニ拘ラス直ニ之ヲ修正スヘシ
 本條ニ依リ區長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示スヘシ
 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ルモノハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス
 異議ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日迄ニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登録スル限ニ在ラス

天災事變等ニ依リ名簿ノ喪失シタルトキ前項ニ同シ
 前二項ニ依ル名簿ノ調製、縱覽、修正及確定ニ關スル期日及期限等ハ都長官ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 選舉ハ都長官ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區及等級選舉會場、投票ノ日時並ニ選舉

區及等級毎ニ選舉スヘキ議員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クトモ二十日以前ニ之ヲ發スヘシ

各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ開始スヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第二十條 區長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ閉閉シ會場ノ取締ニ任ス

區長ハ臨時ニ其ノ選舉區内ニ於ケル選舉人中ヨリ二名乃至六名ノ立會人ヲ選任スヘシ選舉立會人ハ名譽職トス

第二十一條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ選舉會場外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉會場閉鎖後ハ此ノ限ニ在ラス
 第二十二條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登録セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スル事ヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
投票用紙ハ都長官ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬選舉區ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ選舉ヲ行フヘシ
第二十三條 第十二條第二項及第三項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ滿二十五年以上ノ

男子ニ非サル者禁治産者及準禁治産者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ
代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル滿二十五年以上ノ男子ニ限ル

第七條第一項但書ニ當ル者第八條ニ依ル公民權停止中ノ者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ
當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長ニ示スヘシ

第二十四條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス但シ連名投票ノ法ヲ用ヒタル場合ニ於テハ第一號及第六號ニ該當スルモノ及其ノ記
載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キタル者ハ之ヲ無効トシ第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効
トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 現ニ都會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人ノ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十六條 都會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タルモノヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ

選舉人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

二回選舉ニ於テ仍當選者選舉スヘキ議員數ニ達セサルトキハ前項但書ヲ適用セス

前二項ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署
名スヘシ

選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ但シ選舉及當選ノ效
力ニシテ選舉人名簿確定ノ日ヨリ一年以内ニ確定シタル場合ニ於テハ選舉人名簿ハ仍名簿確定ノ日ヨリ一年間之ヲ保存
スヘシ

第二十八條 當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ且同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名
ヲ都長官ニ報告スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ都長官ニ申立ツヘシ但シ第十五條
第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ハ二十日以内ニ其ノ當選ニ應スルヤ否ヲ都長官ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テ
サルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

一人ニシテ數級又ハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應ス

ヘキカヲ都長官ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス但シ第十五條第三項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本項ニ定ムル期間ヲ二十日トス

第二十九條 都會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セサリシ者ヲ以テ當選者トス但シ年少ニ由テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選者トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十條 當選者其ノ當選ヲ辭セサルトキハ都長官ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十一條 選舉人選舉及ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長官ハ七日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スヘシ都參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

都長官ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第二十八條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條都參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ都長官ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三十三條 選舉又ハ當選ニシテ無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲又ハ被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第二十六條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ム

第三十四條 都會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ都會之ヲ決定ス

都長官ニ於テ都會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ都會ノ決定ニ付スヘシ
本條都會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ都長官ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

都會議員ハ其ノ被選舉ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十五條 本款ニ規定スル異議ノ決定ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十六條 都會議員ノ選舉ニ付テハ衆議員議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第三十七條 都會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料手数料加入金都稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分及取得ニ關スル事
- 五 基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
八 其ノ他法令ニ依リ都會ノ權限ニ屬スル事項

第三十八條 都會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ都參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十九條 都會ハ法律勅令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第四十條 都會ハ都ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ都長官又ハ内務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四十一條 都會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

都會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ都會招集ニ應セス若シクハ成立セス又ハ意見ヲ提出セサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 都會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ總選舉毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十三條 議長副議長ノ選舉ヲ了ル迄ハ都長官又ハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フヘシ

第四十四條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

第四十五條 都長官及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタルモノハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス
第四十六條 都會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ開期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限り之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ都長官ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第四十七條 都會ハ都長官之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

都會ハ都長官之ヲ開閉ス

第四十八條 都會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四十九條 都會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ都會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ノ規定ニ依リ都會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得タルモノナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若シ同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他第二十二條及第二十四條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ都會之ヲ議決ス
前項ノ選舉ニ付テハ都會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推薦又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ヲ用ウル場合ニ於

テハ前項ノ例ニ依ル

第五十二條 都會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 都長官ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員二名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十三條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十四條 都會議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サ

シメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ヲ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員又ハ第四十五條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十八條 都會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十九條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ都會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ都長官ニ報告スヘシ

第六十條 都會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ都會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 都 參 事 會

第一款 組織 及 選舉

第六十一條 都ニ都參事會ヲ置キ都長官都高等官三名及名譽職參事會員八名ヲ以テ之ヲ組織ス

都高等官ニシテ都參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

第六十二條 名譽職參事會員ハ都會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

都會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

前二項ノ選舉ニ關シテハ第二十二條第二十四條第二十六條及第二十九條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ都會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中闕員アルトキハ都長官ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ得票ノ數ニ依リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依リ仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
名譽職參事會員及其ノ補充員ハ都會議員ノ總選舉毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就職ノ日マテ在職スルモノトス

第六十三條 都參事會ハ都長官ヲ以テ議長トス都長官故障アルトキハ高等官參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十四條 都參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長官ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ都會ニ代テ議決スル事

三 都長官ヨリ都會ニ提出スル議案ニ付都長官ニ對シ意見ヲ述フル事

四 都會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 都費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 都ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法令ニ依リ都參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十五條 都參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ都ニ係ル出納ヲ検査セシムルコトヲ得
前項ノ検査ニハ都長官又ハ其ノ指命シタル官吏若シクハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第六十六條 第四十條第四十一條第四十五條四十七條第三項第四十九條第五十一條第五十三條乃至第五十五條第五十八條

及第五十九條第一項ノ規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス

第六十七條 都參事會ハ都長官之ヲ招集ス名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ

都長官ハ都參事會ヲ招集スヘシ

都參事會ノ會期ハ都長官之ヲ定ム

第六十八條 都參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十九條 都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十四條第二號ノ議決ヲ爲ストキハ都長官及都高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第七十條 第五十條ノ規定ハ都參事會ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ參事會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サル

トキハ都長官ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十二條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ都會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ闕員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第四章 都 行 政

第一款 都吏員ノ組織及任免

第七十一條 都ハ有給ノ都吏員ヲ置クコトヲ得

其ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

前項ノ都吏員ハ都長官之ヲ任免ス

第七十二條 都ニ都收入役區ニ區收入役ヲ置キ官吏吏員ノ中ニ就キ長官之ヲ都命ス

第七十三條 都ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第二款 都官吏都吏員ノ職務權限及處務規定

第七十四條 都長官ハ都ヲ統轄シ都ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

都長官ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 都條例及都規則ヲ發布スル事
- 二 都費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
- 三 都會及都參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
- 四 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 五 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 六 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 七 法令又ハ都會若シクハ都參事會ノ議決ニ依リ使用料手数料加入金都稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
- 八 其ノ他法令ニ依リ都長官ノ職權ニ屬スル事項

第七十五條 都長官ハ議案ヲ都會ニ提出スル前之ヲ都參事會ノ審査ニ付シ若シ都參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ都參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ都會ニ提出スヘシ

第七十六條 都長官ハ都ノ行政ニ關シ其事ノ權ニ屬スル事務ノ一部ヲ都吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第七十七條 都長官ハ都吏員ヲ指揮監督シ其ノ任免ニ係ル都吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓

以下ノ過怠金及解職トス

都長官ハ都吏員ノ懲戒ヲ行ハントスル前其ノ停職ヲ命シ且場合ニ依リ給料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二箇年間都ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス

第七十八條 都會又ハ都參事會ノ議決若シクハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若シクハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ都長

官ハ其ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若シクハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議

ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル都會又ハ都參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

都會又ハ都參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ其ノ議決都ノ收支ニ關シ不當ナリト認ムルトキハ都長官ハ其ノ意見ニ依リ又

ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第七十九條 都長官ハ期日ヲ定メテ都會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十條 都會又ハ都參事會成立セサルトキハ都長官ハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコ

トヲ得第五十條第七十條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

都會又ハ都參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ都會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議

了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

都參事會ノ決定スヘキ事項ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル都長官ノ決定ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ

訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ都會又ハ都參事會ニ報告スヘシ

第八十一條 都參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ都長官ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長官ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ都參事會ニ報告スヘシ

第八十二條 都參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ都長官ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第八十三條 官吏ノ都行政ニ關スル職務關係ハ本法中規定アルモノヲ除クノ外其ノ國ノ行政ニ關スル職務關係ノ例ニ依リ
第八十四條 都收入役ハ都ノ出納其ノ他會計事務及法令ノ定ムル所ニ依リ國ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

都收入役故障アルトキハ都長官ノ命ヲ承ケタル官吏又ハ吏員其ノ職務ヲ代理ス

第八十五條 區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ受ケ區ノ事務ヲ管掌シ區ヲ代表ス第七十四條第二項第二號乃至第七號ノ規定ハ區ノ事務ニ關シテハ之ヲ區長ニ準用ス

區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ承ケ都長官ノ委任ニ依リ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル都ノ行政事務ヲ管掌シ又ハ都長官ノ命ヲ承ケ區内ニ關スル都ノ行政事務ヲ補助執行ス

本條ニ掲載スル事務及區長ノ管掌スル國ノ行政事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス

第八十六條 區收入役ハ區ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

區收入役ハ都收入役ノ指揮監督ヲ承ケ都收入役ノ委任ニ依リ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル國及都ノ出納及會計事務ヲ掌リ又ハ都收入役ノ命ヲ承ケ區内ニ關スル都收入役ノ事務ヲ補助執行ス

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス

第八十四條第二項ノ規定ハ之ヲ區收入役ニ準用ス

第八十七條 都ノ有給吏員ハ都長官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八十八條 委員ハ都長官ノ指揮監督ヲ受ケ都有財産又ハ都ノ營造物ヲ管理シ其ノ他都行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第八十九條 都ノ事務ニ關スル處務規定ハ都長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第九十條 有給都吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ都長官之ヲ定ム

第九十一條 都會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ都會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ都長官之ヲ定ム若シ之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第九十二條 有給都吏員ノ退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其支給方法ハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ定ム

第九十三條 給料旅費費用辨償退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ都長官ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十四條 給料旅費費用辨償退職料退職給與金死亡給與金遺族扶助料其ノ他諸給與ハ都ノ負擔トス但シ區會議員ノ費用辨償ハ區ノ負擔トス

第五章 都ノ財務

第一款 財産及收入

第九十五條 都ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

臨時ニ取得シタル財産ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄付ニ係ル物件ニシテ寄付者其ノ使用ノ目的ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

都ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ基本財産ニ加入スヘキモノノ全部又ハ一部ヲ特別ノ基本財産又ハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得

第九十六條 舊來ノ慣行ニ依リ數個人又ハ都内ノ一部ニ於テ特ニ營造物又ハ財産ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ其ノ舊慣ニ依リ都會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其ノ舊慣ヲ變更又ハ廢止スルコトヲ得ス

前項ノ營造物又ハ財産ヲ新ニ使用セントスル者アルトキハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十七條 都ハ前條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若シクハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十八條 都ハ營造物又ハ公共ノ使用ニ供スル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

數個人又ハ都内ノ一部ヲ利スル營造物又ハ財産ノ使用ニ關シテハ使用料若シクハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

都ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十九條 都ハ第九十六條及前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ都會ノ議決ヲ經テ都規則ヲ設クルコトヲ得

第一百條 財産ノ賣却貸與工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ

價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ都會ノ同意ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一百一條 都ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄付又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 都ハ其ノ必要ナル費用及從來法律命令若シクハ慣例ニ依リ府若シクハ市ノ負擔ニ屬シ又ハ將來法律命令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

都ハ其ノ財産ヨリ生スル收入使用料手数料過料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ都ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ都稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第一百三條 都稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

一 國稅ノ附加稅

二 特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ賦課シ均一ノ稅率ヲ以テ都ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス

特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第一百四條 三箇月以上都内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ始ニ遡リ都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百五條 都内ニ住所ヲ有セス又ハ三箇月以上滞在スル事ナシト雖モ都内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若シクハ占有シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ都内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若シクハ其收入ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦同シ但シ國ノ事業又ハ行爲ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第一百六條 納稅者ノ都外ニ於テ所有シ使用シ若シクハ占有スル土地家屋物件若シクハ其ノ收入又ハ都外ニ於テ營業所ヲ定

メタル營業若シクハ收入ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在都及府縣ニ涉ル者ノ收入ニ對シ關係都府縣市町村ニ於テ課稅スルハ命令ノ定ムル所ニ依ル都及府縣ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係都府縣市町村ニ於テ附加稅ヲ賦課スルトキ亦同シ

第七條 所得稅法第五條ニ掲クル所得ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社禮拜所寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物ニシテ其ノ境内地ニ存在スルモノ及其ノ境内地教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ賃貸者ニ賦課スル場合及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツルモノハ此ノ限ニ在ラス

國府縣都市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ賃貸者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前各項ノ外都稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

皇族ニ係ル都稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依ル

第八條 數個人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

區ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他必要ナル費用ハ都會ノ議決ヲ經其ノ區ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得數個人又ハ區ヲ利スル財產ニ付テモ本條ノ例ニ依ル

第九條 數個人又ハ都内ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第十條 都稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ法律中規定アルモノノ外勅令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 都ハ急迫ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ納稅義務者ノ全部又ハ一部ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

第十二條 都稅ノ賦課ニ關シ必要ナル場合ニ於テハ當該官吏吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間家宅營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十三條 都長官ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ都參事會ノ議決ヲ經ヘシ

都長官ハ特別ノ事情アル者ニ限リ都參事會ノ議決ヲ經テ都稅ヲ減免スルコトヲ得

第十四條 使用料手数料及特別稅ニ關スル事項ニ付テハ都會ノ議決ヲ經都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ二圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得營造物又ハ財產ノ使用方法ニ關スル都規則ニ付亦同シ

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ都長官之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十五條 都稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ都長官ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アルモノハ之ヲ都長官ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
使用料手数料加入金ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シテモ亦前數項ノ例ニ依ル

本條ノ事件ニ付テハ都長官ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百十六條 都稅使用料手数料加入金過料過意金其ノ他都ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ都長官ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲ササルトキハ都長官ハ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ都條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期間内ニ仍之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取持權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條都長官ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第一百七條 都ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ都ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲已ヲ得サル場合ニ限り都會ノ議決ヲ經テ都債ヲ起スコトヲ得

都債ヲ起スニ付都會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

都ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス都參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第一百十八條 都長官ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一箇月前ニ都會ノ議決ヲ經ヘシ
都ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ都會ニ提出スルトキハ都長官ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第一百十九條 都長官ハ都會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第一百二十條 都費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ都會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第一百二十一條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ都會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得

第一百二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百二十三條 都ハ都會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第一百二十四條 都ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第一百二十五條 都ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ且每會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ都長官又ハ其ノ命ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職參事會員ニ於テ互選シタル參事會員二名以上ノ立會ヲ要ス

第一百二十六條 都ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ限トス

決算ハ出納閉鎖後一ヶ月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ都長官ニ提出スヘシ

決算ハ次ノ通常會ニ於テ之ヲ都會ニ報告スヘシ

都長官ハ決算ヲ都會ニ報告スル前都參事會ノ審査ニ付スヘシ若シ都長官ト都參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ都長官ハ都參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ都會ニ提出スヘシ
決算ハ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二百二十七條 豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 都内一部ノ行政

第二百二十八條 區ニ區會ヲ置ク

區會議員ハ都ノ名譽職トス

區會議員ノ定員任期及選舉ニ付テハ都會議員ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百二十九條 區會ハ區有財産其ノ他區ノ事務ニ關シ第三十七號第一號乃至第七號ニ記載スル事項及區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項其ノ他法令ニ依リ區會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス
前項ノ外區會ニ關シテハ都會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百三十條 區會ニ關スル費用及區有財産其ノ他區ノ事務ニ關シ必要ナル費用ハ區ノ負擔トス
前項ノ外區ハ法律勅令ニ依リ區ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第二百三十一條 本法ニ規定スルモノノ外區ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 都行政ノ監督

第二百三十二條 都ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百三十三條 本法ニ規定スル異議ハ處分ヲ爲シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ申立ツヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタル之ヲ停止スルコトヲ得

モノハ此ノ限ニ在ラス

本法ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若シクハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケタル者ハ告示ノ日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

本法ニ決定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
本法ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴訟法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百三十四條 内務大臣ハ都行政ノ法令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ又ハ其ノ事務錯亂滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

内務大臣ハ都行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十五條 内務大臣ハ都ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得

第二百三十六條 内務大臣ハ勅令ヲ經テ都會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

都會解散ノ場合ニ於テハ三ヶ月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
解散後始メテ都會ヲ招集スルトキハ都長官ハ第四十六條第二項ノ規定ニ拘ラス内務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第二百三十七條 都吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

- 第三百三十八條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 都條例及都規則ヲ設ケ及改廢スル事
 - 二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ大ナル變更ヲ爲ス事
 - 三 使用料手数料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 - 四 基本財産ノ處分ニ關スル事
 - 五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 六 第九十六條ノ處分ヲ爲ス事
 - 七 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
 - 八 不動産ノ處分ニ關スル事
 - 九 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
 - 十 第八八條ニ依リ數個人又ハ區ニ費用ヲ負擔セシムル事
 - 十一 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事
 - 十二 特別會計ヲ設クル事
- 第三百三十九條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 都債ヲ起シ竝ニ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ變更スル事但シ第十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

- 三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事但シ法律勅令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
 - 五 法律勅令ノ規定ニ依リ國ヨリ交付スル歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事
- 第四百十條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事件ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得
- 第四百十一條 都ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事件中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スシテ處分スルコトヲ得
- 第四百十二條 内務大臣ハ委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス
- 第七十七條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ之ヲ適用ス

第八章 附 則

- 第四百十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四百十四條 本法施行ノ際都會都參事會及區會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都長官之ヲ行フ
- 第四百十五條 本法施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條ノ期日及期限等ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス
- 第四百十六條 本法施行ノ日迄引續キ東京市ニ於テ住所ヲ有シ其ノ負擔ヲ分任シ直接國稅ヲ納メタル年限ハ之ヲ第七條第一項ノ年限ニ通算ス

第四百七條 本法ニ定ムル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第四百八條 従来ノ東京市ノ營造物及財産ハ本法施行ノ日ヨリ都ニ屬ス

本法施行ノ際従来ノ東京府ノ營造物及財産ノ處分ハ内務大臣之ヲ定ム

第四百九條 府縣税ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クル迄都税ニ關シ仍其ノ效力ヲ有ス

第五百十條 東京市區改正ニ關スル法令ハ本法施行ノ爲其ノ效力ヲ失フコトナシ

第五百十一條 東京都ニ於テハ現行ノ法令中府又ハ市トアルハ都ニ府知事又ハ市長トアルハ都長官ニ該當シ其ノ他總テ此ノ例ニ依ル但シ此ノ例ニ依リ難キモノハ命令ノ定ムル所ニ依ル

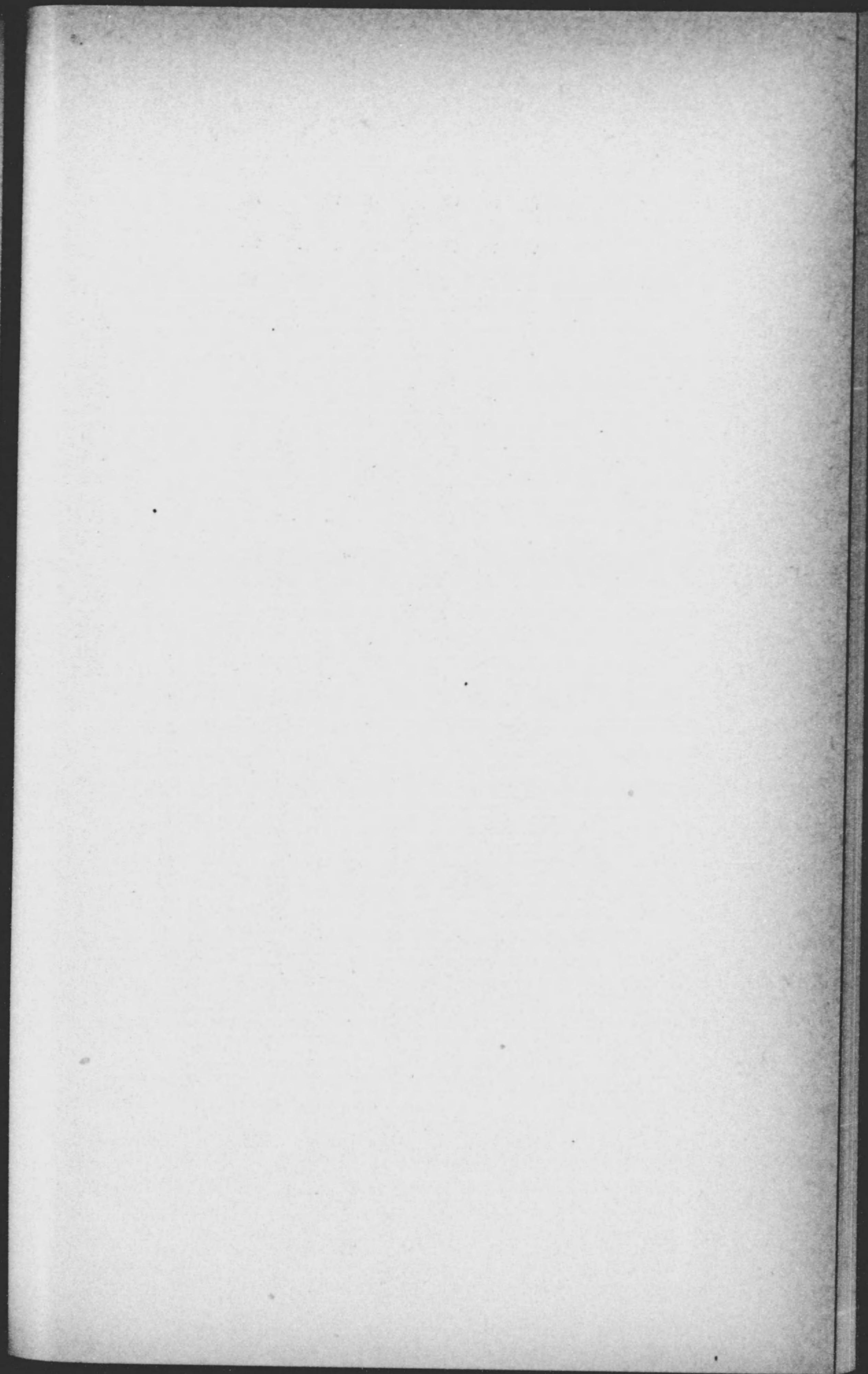
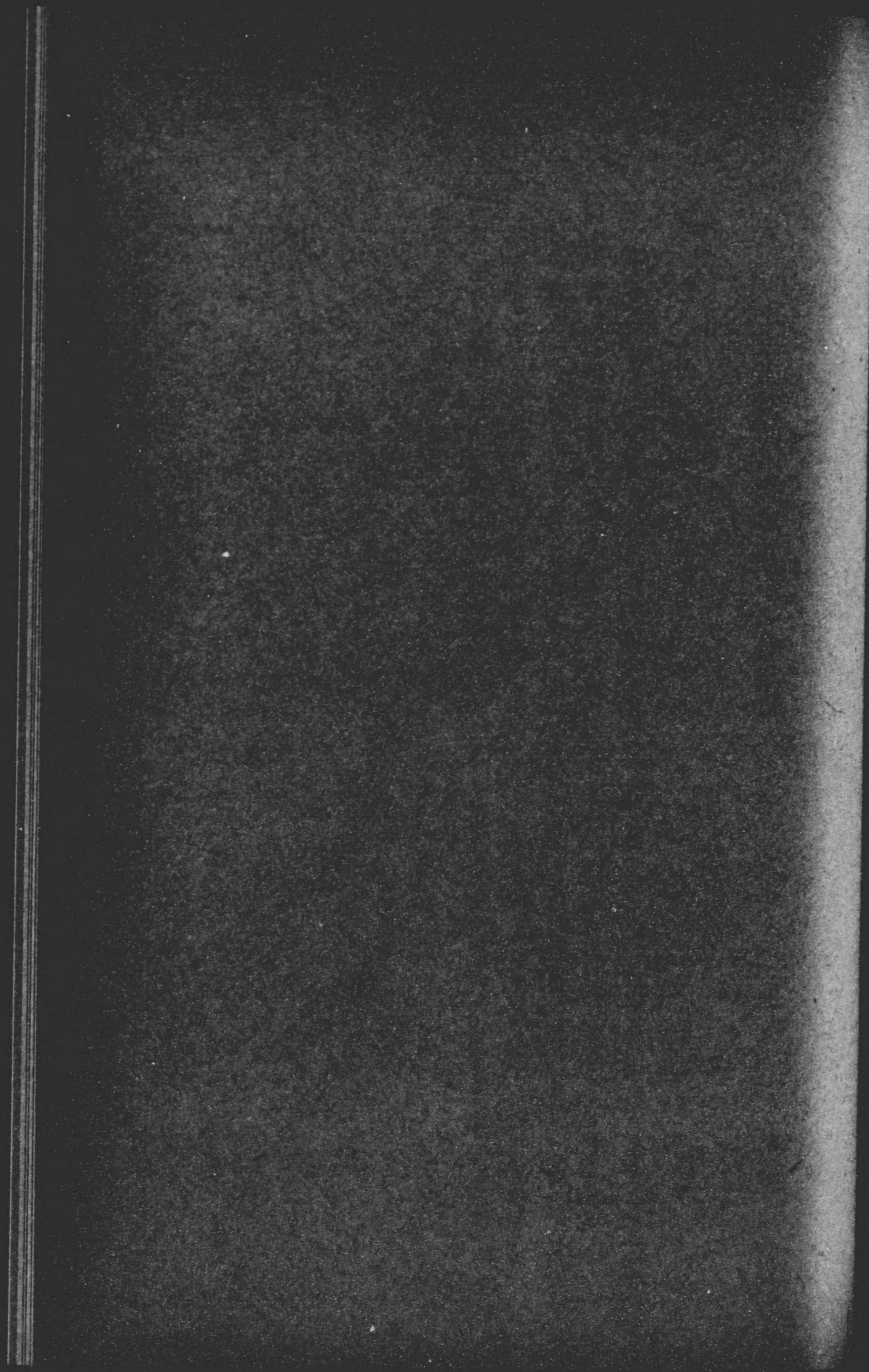
第五百十二條 本章ニ規定スルモノノ外本法施行ノ爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

千代田縣設置ニ關スル法律案

(第二十五議會(明治四十二年))

(男爵松平正直氏外五名提出)

- 第一條 東京府ヲ廢シ千代田縣ヲ置ク
- 從來ノ東京府ノ區域中東京都ノ區域ト爲スヘキモノヲ除キ其ノ他ヲ以テ千代田縣ノ區域トス
- 第二條 本法施行ノ際縣會及參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間縣知事之ヲ行フ
- 第三條 本法施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限り府縣制第九條乃至第十二條ノ期日及期限等ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス
- 第四條 現行ノ法令中東京府郡部トアルハ千代田縣ニ該當ス
- 第五條 本法ハ東京都制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第六條 本法ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



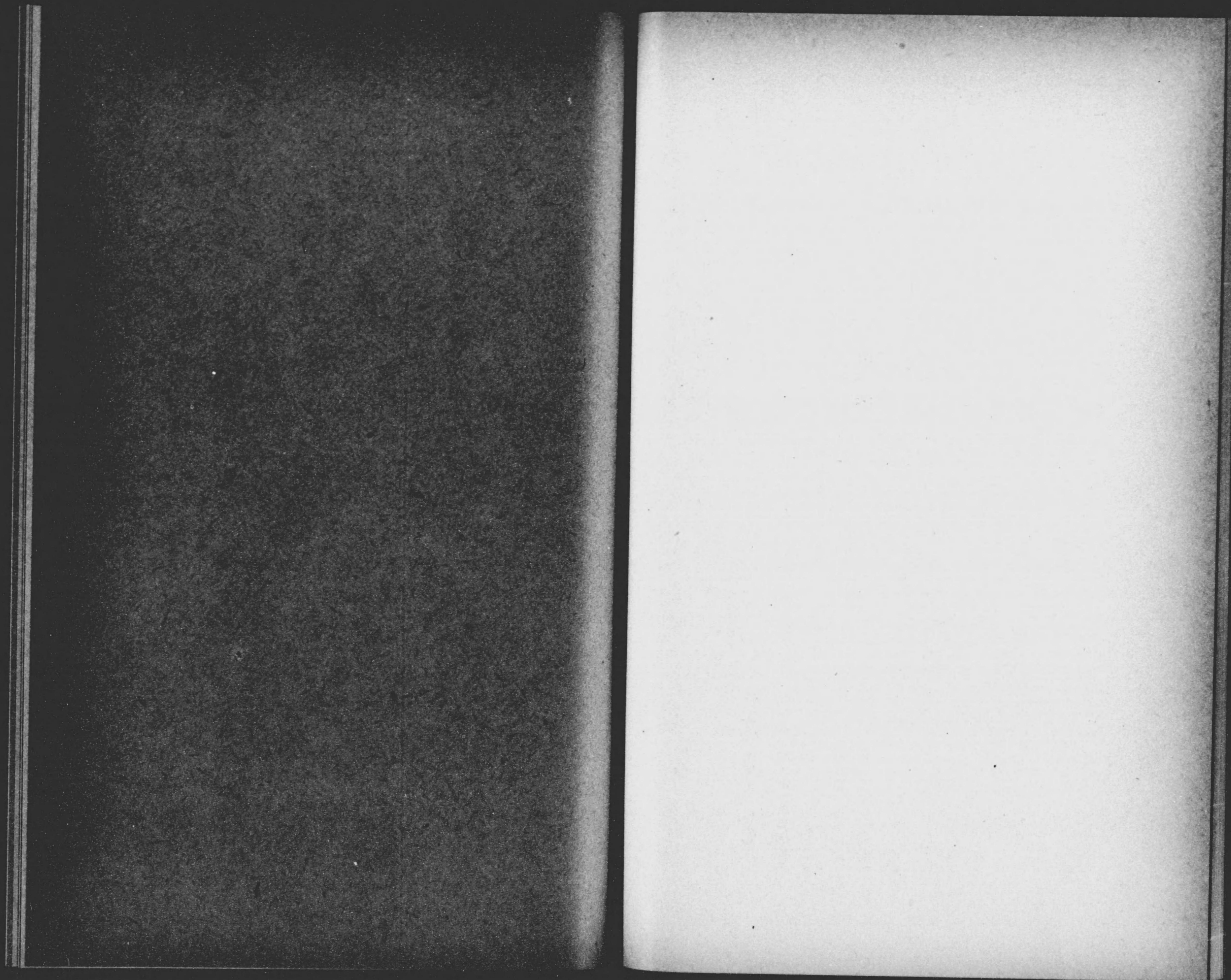
東京市特別市制ニ關スル建議案

(第四十議會(大正七年))

(村松恒一郎氏外十一名提出) (可決)

東京市ハ帝國ノ首都ニシテ廣袤五方里人口二百四十萬其ノ財政ハ四千萬圓ニ達シ面積戸口資力ニ於テ優ニ世界大都市中六位ヲ占メ營ニ我カ國政治經濟ノ中軸タルノミナラス又實ニ東洋唯一ノ中心的都市タリ然ルニ之ヲ律スルニ他ノ小都市ト同一制度ヲ以テスルカ如キハ決シテ帝都ノ面目ヲ發揮シ自治ノ本能ヲ完ウスル所以ニ非ス惟フニ一國首都ノ盛衰興廢ハ直接ニ其ノ影響ヲ全國地方ニ及ホシ延テ國運ノ消長ニ關スル所頗ル大ナルモノアリ故ニ我カ東京市亦速ニ特別市制ヲ實施シ依テ以テ市政ヲ恢宏シ事業ヲ振興シ其ノ繁榮發達ヲ謀ラサルヘカラス政府ハ宜ク東京市ノ地位ト現狀トニ鑑ミ之ニ適應セル制度ヲ定メテ本期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス



大阪市特別市制制定ニ關スル建議案

(第四十議會〔大正七年〕)

(米田穰氏外十五名提出) (可決)

政府ハ速ニ大阪市ニ適應セル特別市制ヲ提案セラレシコトヲ望ム
右建議ス

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY

東京市ニ關スル法律案

(第四十一議會〔大正八年〕)

(近藤達兒氏外七名提出)

- 第一條 東京市ハ從來ノ區域ニ依リ之ヲ府縣ノ區域外トス
- 第二條 東京市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝ニ從來法令又ハ慣例ニ依リ府又ハ市ニ屬スル事務及將來法律勅令ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理ス
- 第三條 東京市ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ市内ニ於ケル衛生交通ニ關スル警察事務ヲ掌理ス
- 第四條 市稅中市稅ノ分課ニ關スル規定ノ外府縣稅ノ規定ヲ準用ス
從來府ニ於テ賦課スル賦金ノ徵收ニ付テハ市稅ニ準シ市ニ於テ之ヲ賦課シ其ノ支辨ハ從前ノ規定ニ依ル
- 第五條 東京市ハ内務大臣之ヲ監督ス
- 第六條 市制中府縣知事又ハ府參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ内務大臣之ヲ行フ
- 第七條 市制中監督官廳ノ裁定、決定、裁決又ハ處分ニ關シ出訴シ得ヘキ事項ニ付テハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第八條 市制中府參事會ニ於テ市會又ハ市參事會ニ代ツテ處置スヘキ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ經テ市長之ヲ處理シ次ノ市會又ハ市參事會ニ報告スヘシ
- 第九條 本法ニ規定スルモノノ外總テ市制ノ規定ニ據ル

附 則

- 第十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

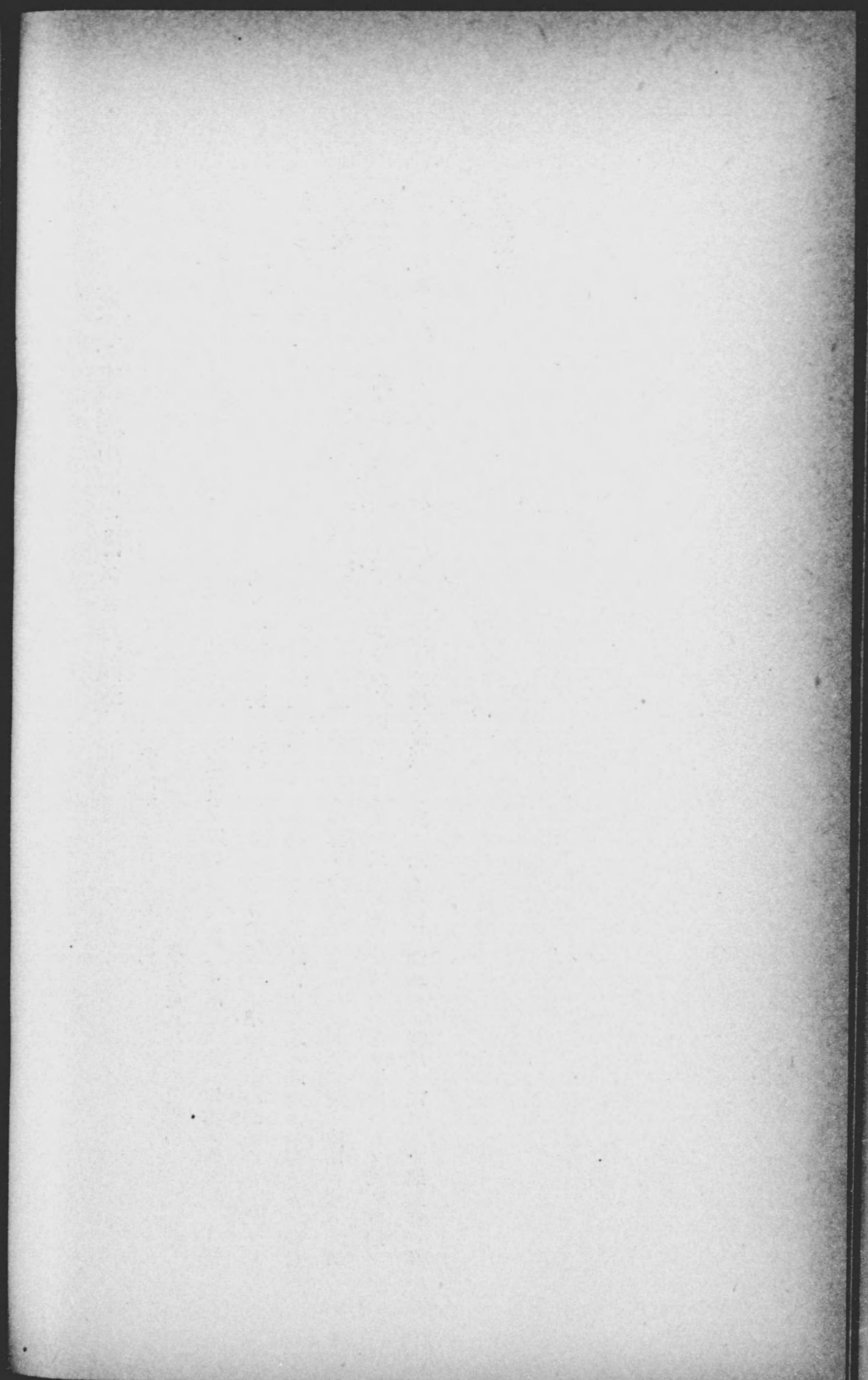
東京市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(鳩山一郎氏外十五名提出)

東京市ハ輦轂ノ下帝國ノ首府ニ位シ廣袤五方里人口二百四十萬一箇年ノ經費現ニ一億二千萬圓ヲ算シ規模ノ廣大ニシテ經營ノ多端ナル想見スルニ足ルモノアリ而モ我カ國政治經濟ノ中樞タルノミナラス又實ニ東洋唯一ノ中心の都市タリ此ノ巨然タル大市ヲ律スルニ他ノ地方邊陲ノ小都市ト同一ノ制度ヲ以テスルカ如キハ決シテ時代ノ要求ニ順應シ帝都タルノ面目ヲ發揮セシムル所以ノ途ニ非ス惟フニ一國首都ノ盛衰興廢ハ聽テ其ノ影響ヲ全國地方ニ及ホシ延テ國運ノ消長ニ關スル所尠カラサルモノアリ此ノ故ニ東京市ヲ內務大臣直轄ノ自治體タラシメ依テ以テ市政ヲ恢宏シ事業ヲ振興シ其ノ繁榮發達ヲ謀ルハ切實ナル時運ノ要求タリ政府ハ宜シク東京市ノ地位ト現狀トニ鑑ミ此ノ趣旨ニ適應セル制度ヲ定メテ次期議會ニ必ス提出セラレンコトヲ望ム

右建議ス



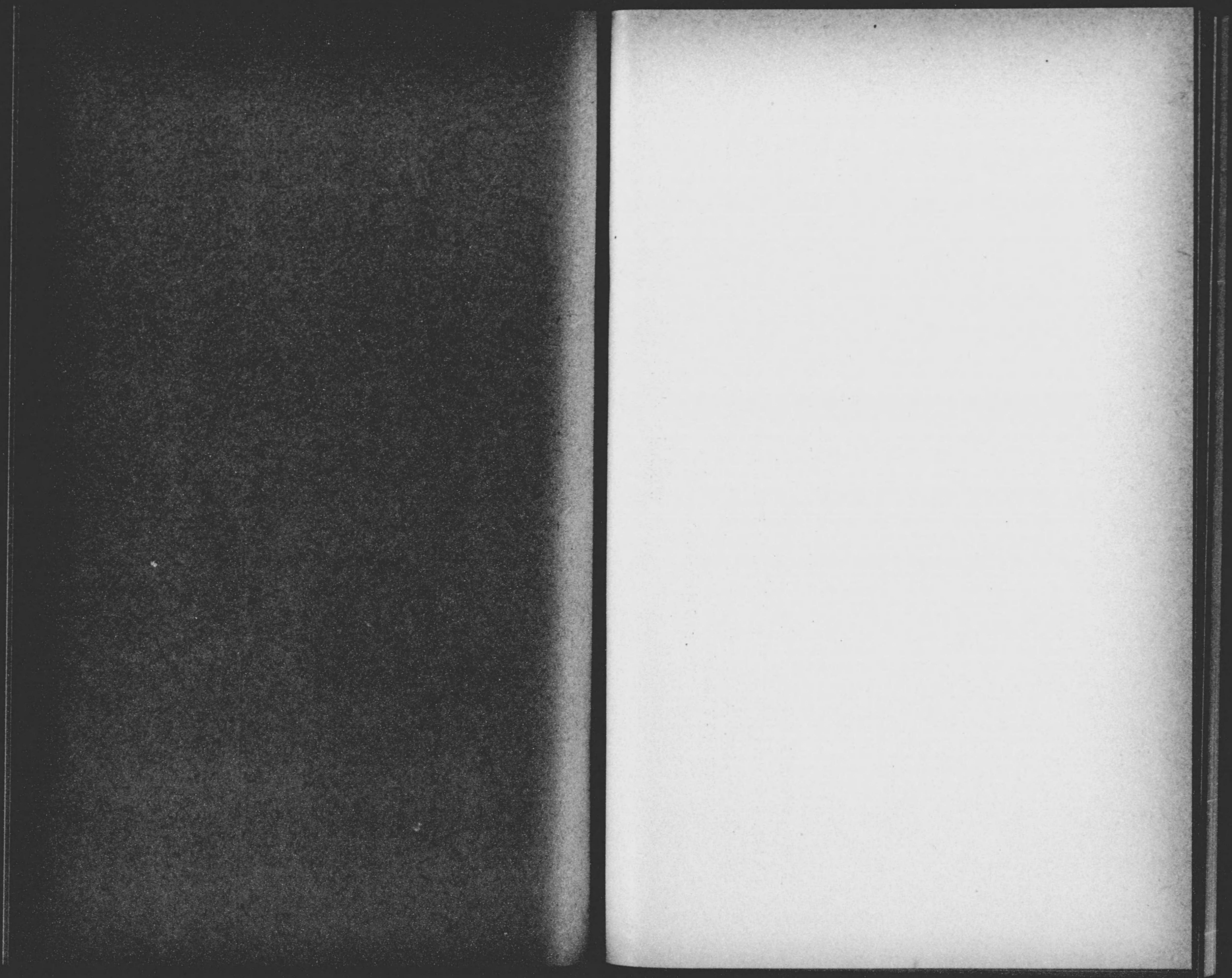
大阪市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(赤田堯一氏外七名提出)

大阪市ノ如キハ帝國商工業ノ首都ニシテ其ノ廣袤殆ト四方里ニ亘リ人口已ニ百六十萬ヲ算ス此ノ巨然タル大市ヲ地方邊陲ノ小市ト同一制度ノ下ニ置キ二重監督ニ服セシムルハ市政運用上多大ノ障害ヲ來シ當ヲ得ルモノト云フヘカラス故ニ之ニ對シテ特別市政ヲ施行シ以テ大都市行政ノ敏活ト發展ヲ圖ラムトスルニアリ政府ハ宜シク大阪市ノ地位ト現狀トニ鑑ミ此ノ趣旨ニ適應セル制度ヲ定メテ次期議會ニ必ス提出セラレンコトヲ望ム

右決議ス



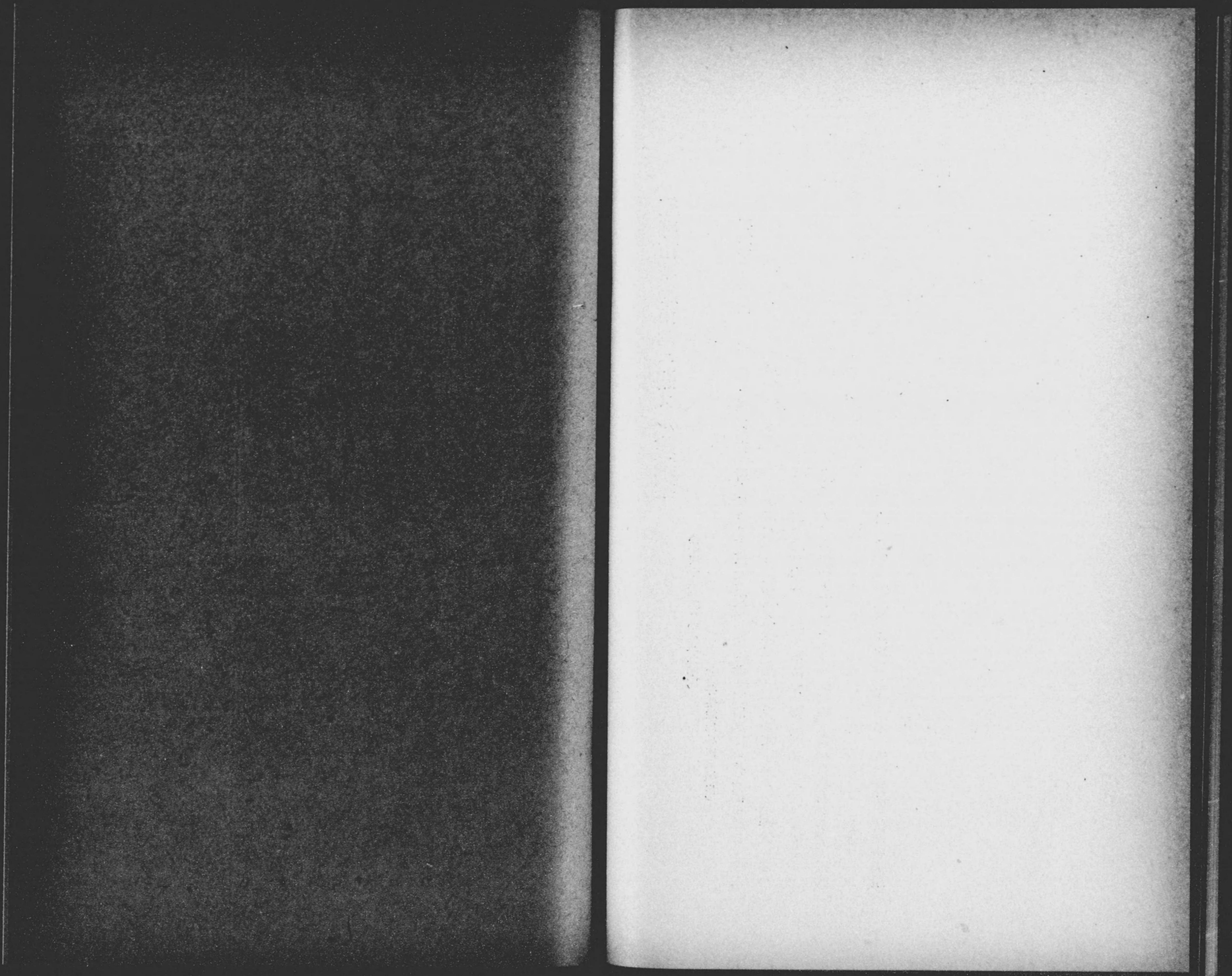
京都市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(向井倭雄氏外四名提出)

京都市ハ一千有餘年ノ間帝國ノ皇都ニシテ現ニ皇宮ノ所在地タリ東京及大阪ノ二市ト共ニ三府ノ一ニ位シ而モ二市ノ企及スヘカラサル特色ヲ有ス曩ニ隣接十六箇町村ヲ併合シテ其ノ面積人口及經費ノ激増ヲ來シ一大商工市タルノ要件既ニ備ハリ之ニ順應シテ敏速ニ施設スルコトヲ要スルモノ益々多キヲ加フ之ヲ律スルニ他ノ小都市ノ同一制度ヲ以テスルカ如キハ決シテ當ヲ得タルモノト謂フヘカラス乃テ京都市ヲ内務大臣ノ直接監督ノ下ニ立タシメ依テ以テ市政ヲ革新シ事業ヲ振興シテ其ノ面目ヲ發揮セシムルハ實ニ京都市ノ繁榮發達ヲ謀ルノ途ナルノミナラス抑亦帝國ノ光輝ヲ發揚シ其ノ進運ヲ助成スル所以ナリトス政府ハ宜シク京都市ノ地位ト現狀トニ鑑ミ此ノ趣旨ニ適應スル法律ヲ起案シ必ス次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出セラレンコトヲ望ム

右建議ス



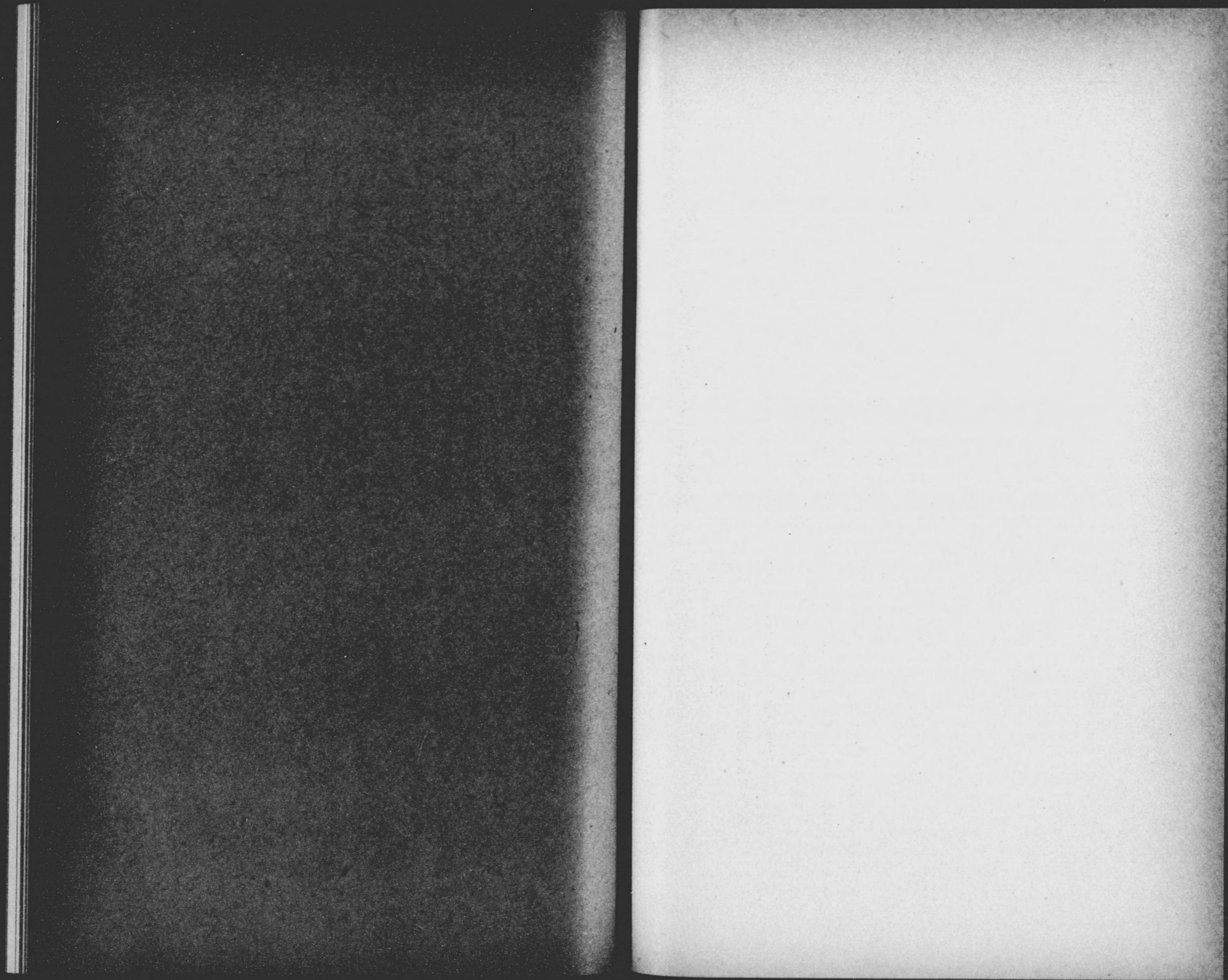
横濱市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(若尾幾造氏外一名提出)

横濱市ハ世界的貿易港ニシテ大都市ナリ而シテ大都市ノ發展ハ長足ノ進歩ヲ爲シ從テ之ニ應スル施設經營ハ實ニ一日ヲ緩
フスヘカラサルモノアリ現行市制ハ大小都市ヲ同一制度ニ規定シタルニ由リ其ノ範圍ニ於ケル所謂二重監督ノ下ニ在リテ
ハ是等諸般ノ事務ヲ處理スルニ方リ進捗上不便不利ノ感スルコト少ナカラス延テ都市繁榮ニ影響ヲ來スハ多言ヲ須ヒサル
ナリ故ニ之ニ對シ特別市制ヲ施行シ以テ大都市行政ノ繁活ト發展トヲ圖ラムトスルニ在リ政府ハ宜シク横濱市ノ地位ト現
狀トニ鑑ミ此ノ趣旨ニ適應セル制度ヲ定メテ次期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右決議ス



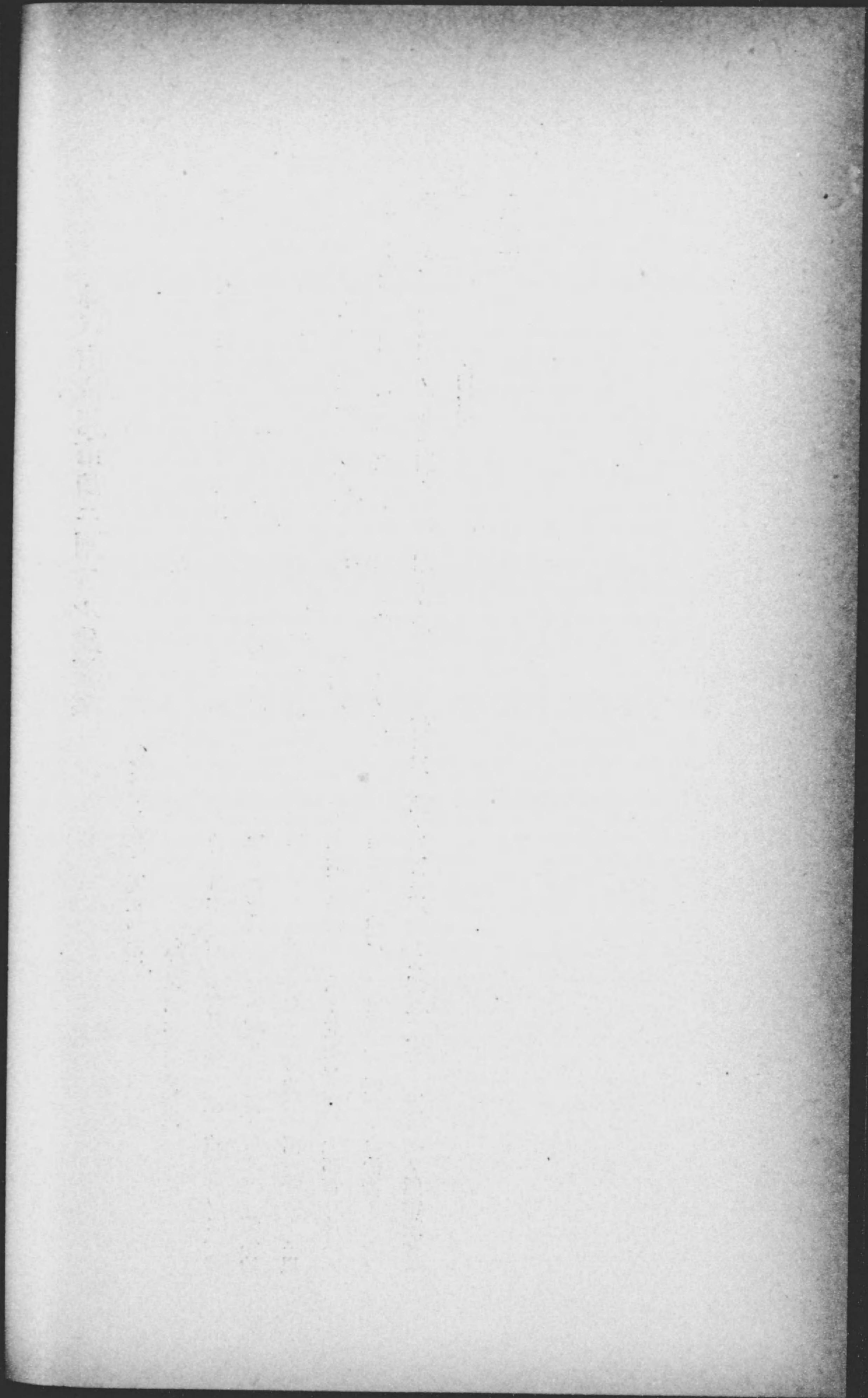
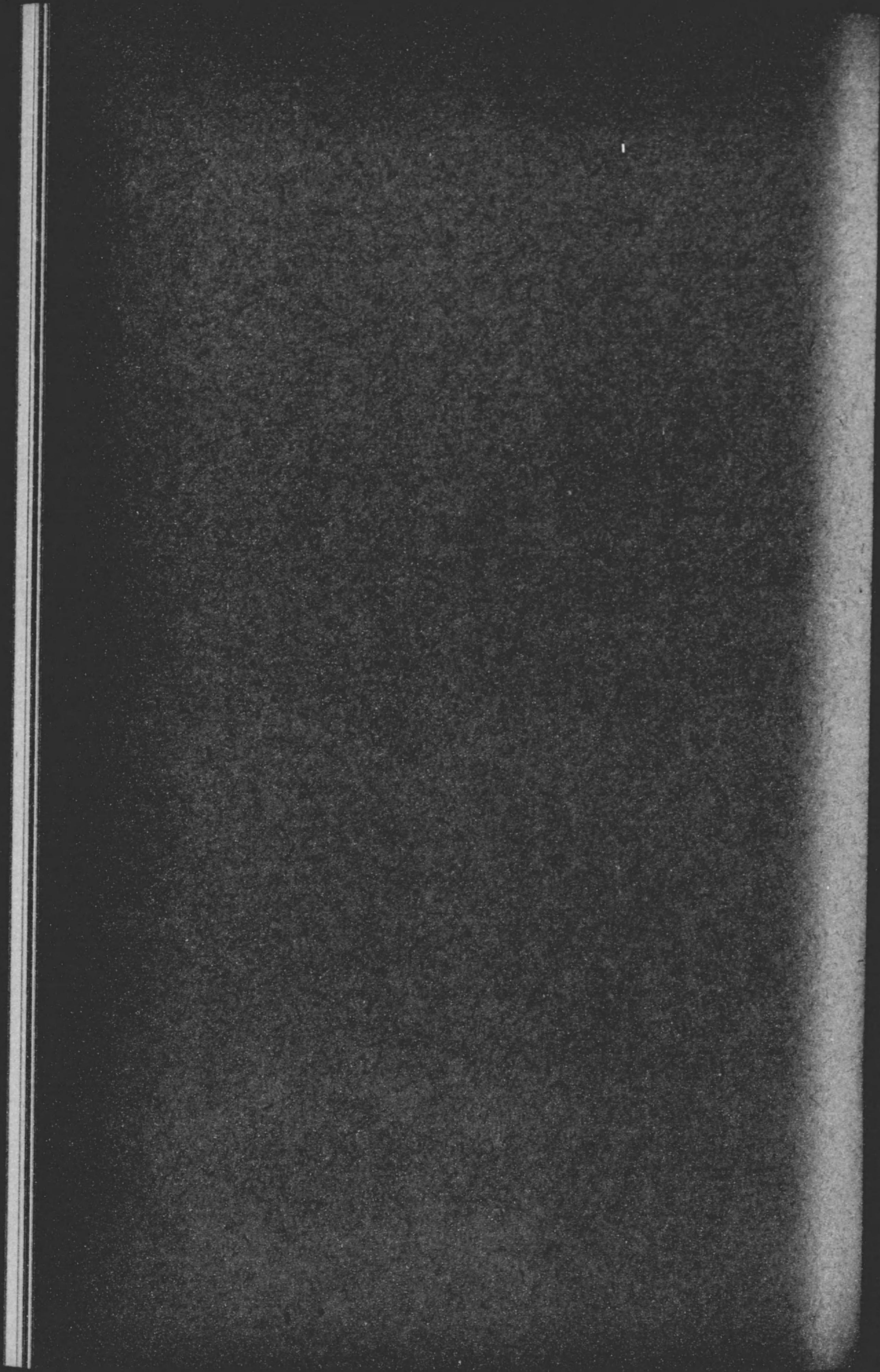
神戸市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(坪田十郎氏外三名提出)

神戸市ハ帝國ニ於ケル對外貿易ノ關門ニシテ爾來長足ノ進歩ヲ爲シ今ヤ實ニ日本ニ於ケル貿易ノ第一位ヲ占ムルノミナラ
ス實ニ東洋ニ於ケル船舶市場ノ中心ニシテ又世界的貿易港タルニ至レリ即チ神戸港ニ於ケル船舶ヨリ得ル收入ハ一箇年約
二億五千萬圓ヲ計上スルニ至リ人口ノ増殖最近五箇年ノ平均ニ依レハ毎年三萬人ニシテ現在ノ人口約七十萬ニ垂ムトス以
テ其ノ發達ノ程度ヲ想見シ其ノ經營ノ多端ナルコトヲ知ルニ足ルヘシ世界的貿易港タル此ノ帝國第三位ノ大都市ヲ律スル
ニ他ノ小都市ト同一ノ制度ヲ以テスルカ如キハ決シテ策ノ得タルモノニ非ス故ニ神戸市ヲ内務大臣直轄ノ自治體タラシメ
依テ市政ノ改善事業ノ振興ヲ圖ルヲ寔ニ刻下ノ急務ナリト信ス速ニ此ノ趣旨ニ適應セル制度ヲ定メテ之ヲ次ノ通常議會ニ
提案セラレンコトヲ切望ス

右建議ス



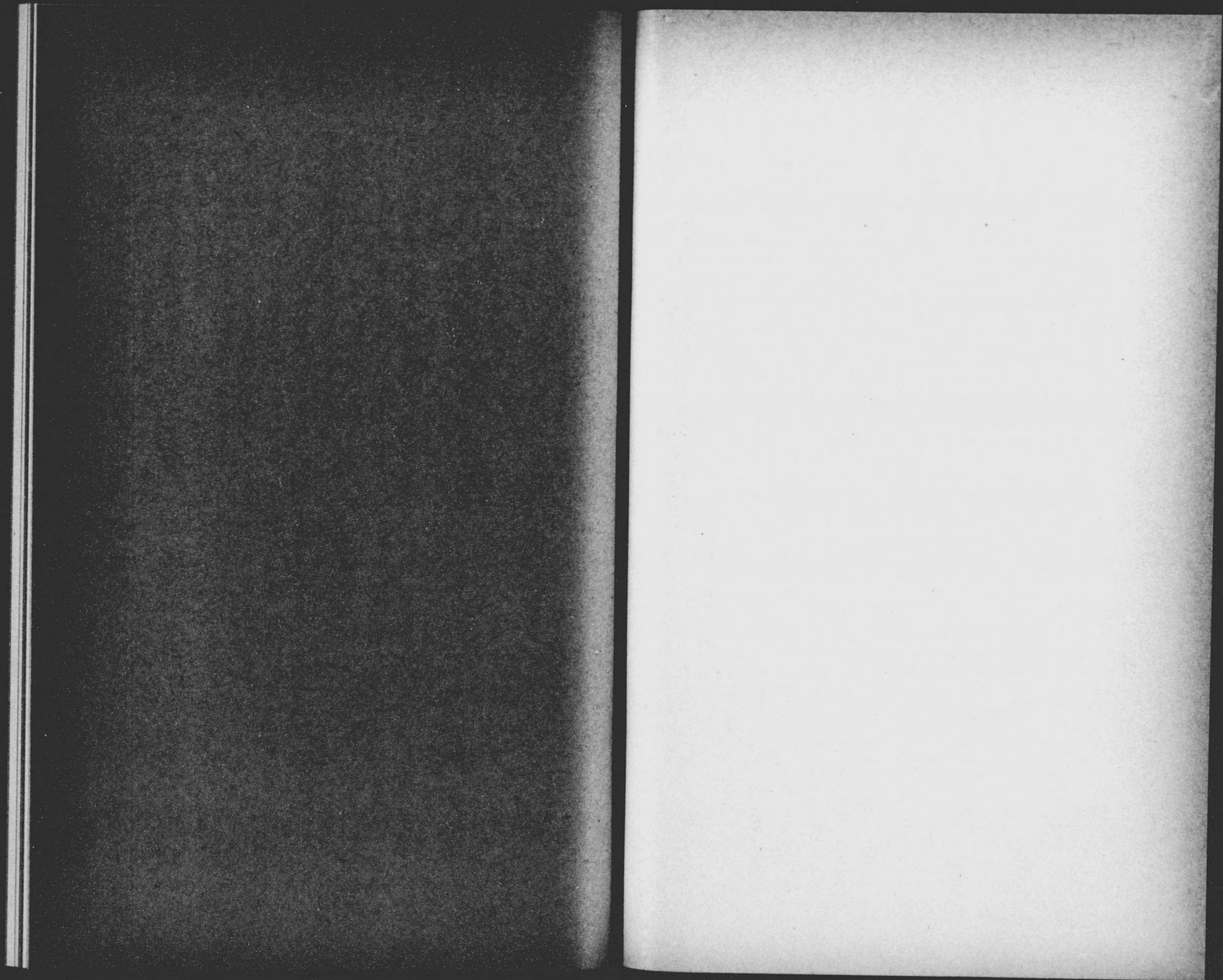
名古屋市特別市制ニ關スル建議案

(第四十三議會〔大正九年〕)

(加藤重三郎氏外三名提出)

名古屋市ハ六大都市ニ位シ中部日本帝國ノ中心都市ニシテ陸上ノ交通ハ四通八達加フルニ海上ニ於テ名古屋港ノ國庫補助ヲ以テ其ノ運用ニ達成セシメムトシツツアル重要ナル位置ニ在リ且都市計畫上ノ施設ヲ近ク實現スルニ於テハ其面積ニ於テ東京大阪兩市ニ凌駕スヘキ地域ヲ爲シ又人口ニ於テハ六十萬ヲ越ユル大都市トナルヘシ而シテ其繁榮發達ハ全ク一大商工業ノ面目ヲ發揮シ將來商工業ノ都市トシテ重要ナル地位ヲ占ムルモノナレハ國家ノ施設上ヨリ見テ之カ監督ハ直接內務大臣ノ下ニ立タシムルヲ以テ適當ナリト思惟スルカ故ニ政府ハ宜シク名古屋市ノ地位ト將來トニ鑑ミ此ノ主旨ニ適應スル法律ヲ起案シ必ス次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出セラレンコトヲ望ム

右決議ス



區制案

(第四十四議會(大正十年))

(政府提出)

第一條 區ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 區ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝ニ從來法令ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 區ノ廢置分合若シクハ境界變更又ハ所屬未定地編入其ノ他區ノ境界ニ關シテハ市制第三條乃至第五條ノ規定ヲ準用ス但シ其ノ區ノ屬スル市ノ外ニ涉ラサルモノナルトキハ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第四條 區内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ區住民トス

區住民ハ本法ニ從ヒ區ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ區ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第五條 區住民ニシテ左ノ條件ヲ具備スル者ハ區公民トス但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治產者、禁治產者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 帝國臣民タル男子ニシテ年齢二十五年以上ノ者

二 獨立ノ生計ヲ營ム者

三 二年以來其ノ區住民タル者

四 二年以來其ノ區ノ直接區稅ヲ納ムル者

區ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス

區公民ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市區町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララルコトナシ

區稅ヲ賦課セサル區ニ於テハ區公民ノ要件中區稅ニ關スル規定ヲ適用セス

第六條 區住民ノ權利義務ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノノ外市制第十條及第十一條ノ規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第七條 區ハ區住民ノ權利義務又ハ區ノ事務ニ關シ區條例ヲ設クルコトヲ得

區ハ區ノ營造物ニ關シ區條例ヲ以テ規定スルモノノ外區規則ヲ設クルコトヲ得

區條例及區規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第八條 區會ノ組織及選舉ニ關シテハ市制中市會ノ組織及選舉ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中所屬府縣トアルハ所屬府縣市府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第九條 區會ノ職務權限ニ關シテハ市制中市會ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 區參事會ノ組織及選舉並ニ其ノ職務權限ニ關シテハ市制中市參事會ノ組織及選舉並ニ其ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條 區ニ區長、助役一人及收入役一人ヲ置ク

助役ノ定數ハ區條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

必要アルトキハ區條例ヲ以テ副收入役ヲ置クコトヲ得

第十二條 區長ハ區會之ヲ選舉ス

區長ヲ選舉シタルトキハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

區長ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第十三條 助役、收入役及副收入役ハ區長ノ推薦ニ依リ區會之ヲ定メ區長職ニ在ラサルトキハ區會ニ於テ之ヲ選舉シ市長ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ市長ノ不認可ニ對シ區長又ハ區會ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得

助役ハ市長ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第十四條 區ハ臨時又ハ常設ノ委員及必要ナル有給吏員ヲ置クコトヲ得

第十五條 第十一條及前條ニ規定スル區吏員ノ組織選舉及任免ニ關シテハ前四條ニ規定スルモノノ外市制中市吏員ノ組織選舉及任免ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長トス

第十六條 區吏員ノ職務權限ニ關シテハ市制中市吏員ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第十七條 區名譽職ノ費用辨償及報酬並ニ區吏員ノ給料及給與ニ關シテハ市制中給料及給與ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第十八條 區ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ區ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

區ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料、過料、過意金其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ區稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十九條 區稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

一 國稅市稅ノ附加稅

二 特別税

直接國税又ハ直接市税ノ附加税ハ均一ノ税率ヲ以テ之ヲ徴收スヘシ但シ市長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
附加税タル市税ニ對シテハ附加税ヲ賦課スルコトヲ得ス

特別税ハ別ニ税目ヲ起シテ課税スルノ必要アルトキ賦課徴收スルモノトス

第二十條 區ノ財務ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノノ外市制中第三十二條第一項及第二項ノ規定ヲ除キ市ノ財務ニ關
スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知事トアルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第二十一條 市區町村組合ニ關シテハ市制中市町村組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ區組合ニ付テハ其ノ規定中府縣知事ト
アルハ市長、府縣參事會トアルハ市參事會トス

第二十二條 區ハ第一次ニ於テ市長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第二十三條 市長ハ區長、助役、收入役、副收入役、委員其ノ他ノ區吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得區長ノ解職ニ付テハ
内務大臣ノ許可ヲ經ルコトヲ要ス

第二十四條 區ノ監督ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノノ外市制中市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣知
事トアルハ市長、府縣高等官トアルハ市吏員府縣參事會トアルハ市參事會、府縣名譽職參事會、府縣名譽職參事會ト

アルハ市名譽參事會員、第六十四條ニ官吏トアルハ官吏トス

第二十五條 市制第七條、第七十二條、第七十四條乃至第八十條ノ規定ハ區ニ關シ之ヲ準用ス但シ市制第七條中内
務大臣又ハ府縣知事トアルハ市長トス

第二十六條 本法ハ勅令ヲ以テ指定スル市ニ之ヲ適用ス

第二十七條 本法ノ適用ヲ受クルニ至リタル市ノ區ニ於テ其ノ前直接市税ヲ納メタル者ハ區公民ノ要件ニ付テハ直接區税

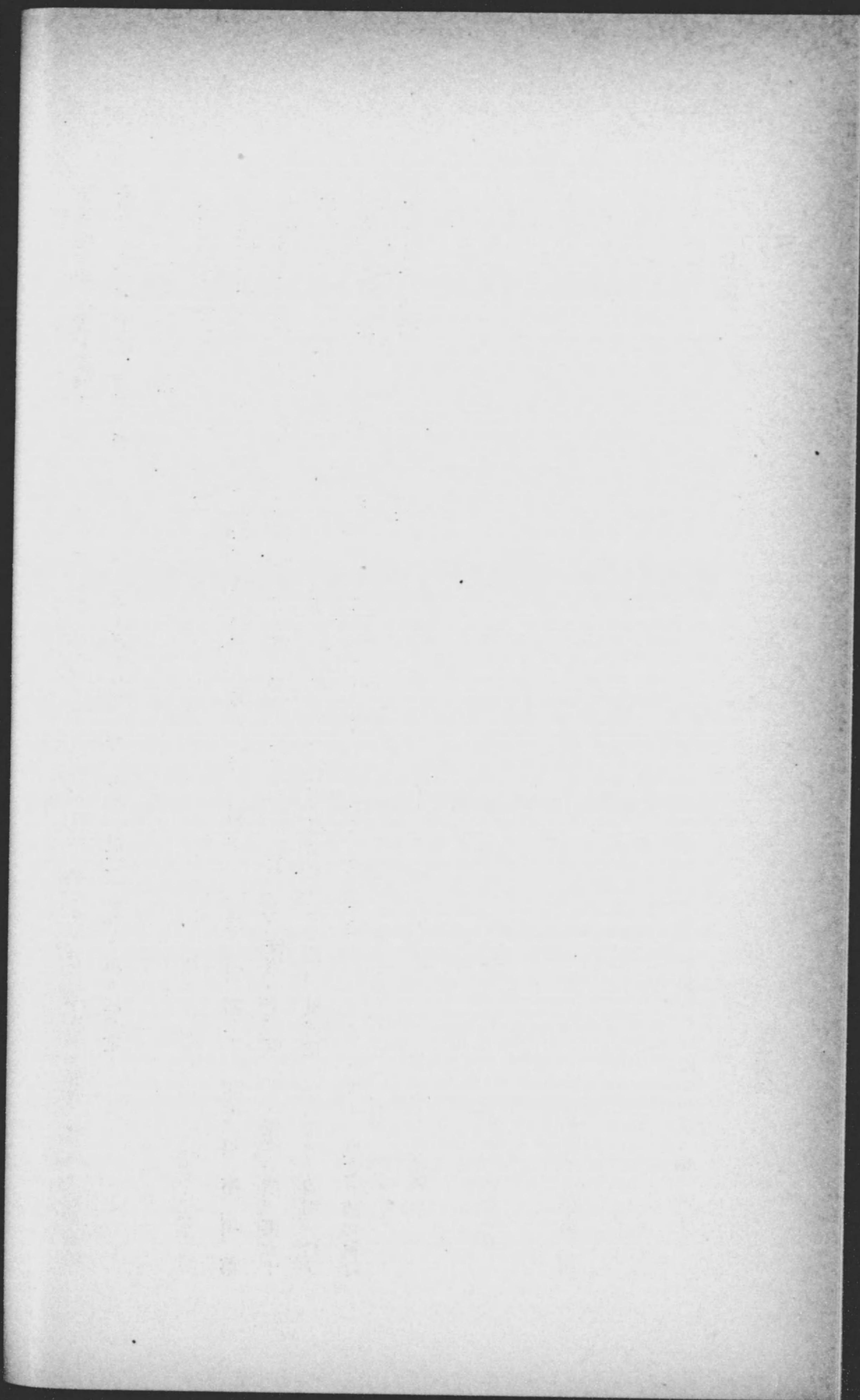
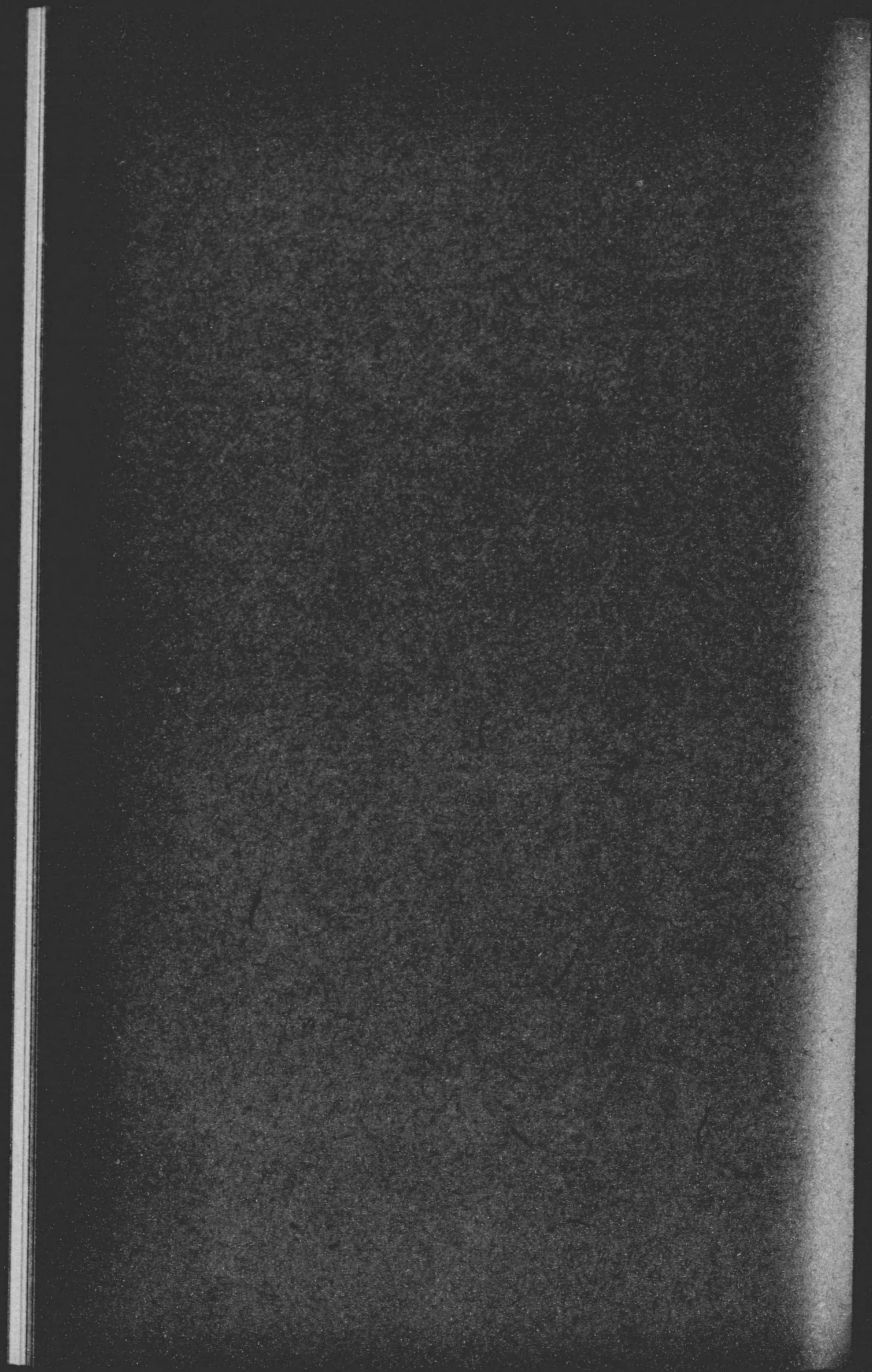
ヲ納メタル者ト看做ス

第二十八條 本法ノ適用ヲ受クルニ至リタル市ノ區ニ付其ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

市制第六條ノ市ニシテ第二十六條ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ハ市制第十六條第三項、第二十一條第二項、第三項、第
七項第十項、第十一項、第二十三條第二項、第四項、第三十一條第二項、第三十二條第一項、第六十五條第一項、第七十
二條第一項、第八十二條第一項、第九十四條第二項、第九十七條第四項及第七十三條ノ規定並ニ他ノ法令ノ適用ニ付テ
ハ仍市制第六條ノ市ト看做ス但シ市制第九十四條第二項及第九十七條第四項中分掌セシムルコトヲ得ルノ規定ハ補助執行
セシメ又ハ委任スルコトヲ得ルノ規定トス



六大都市行政監督ニ關スル法律案

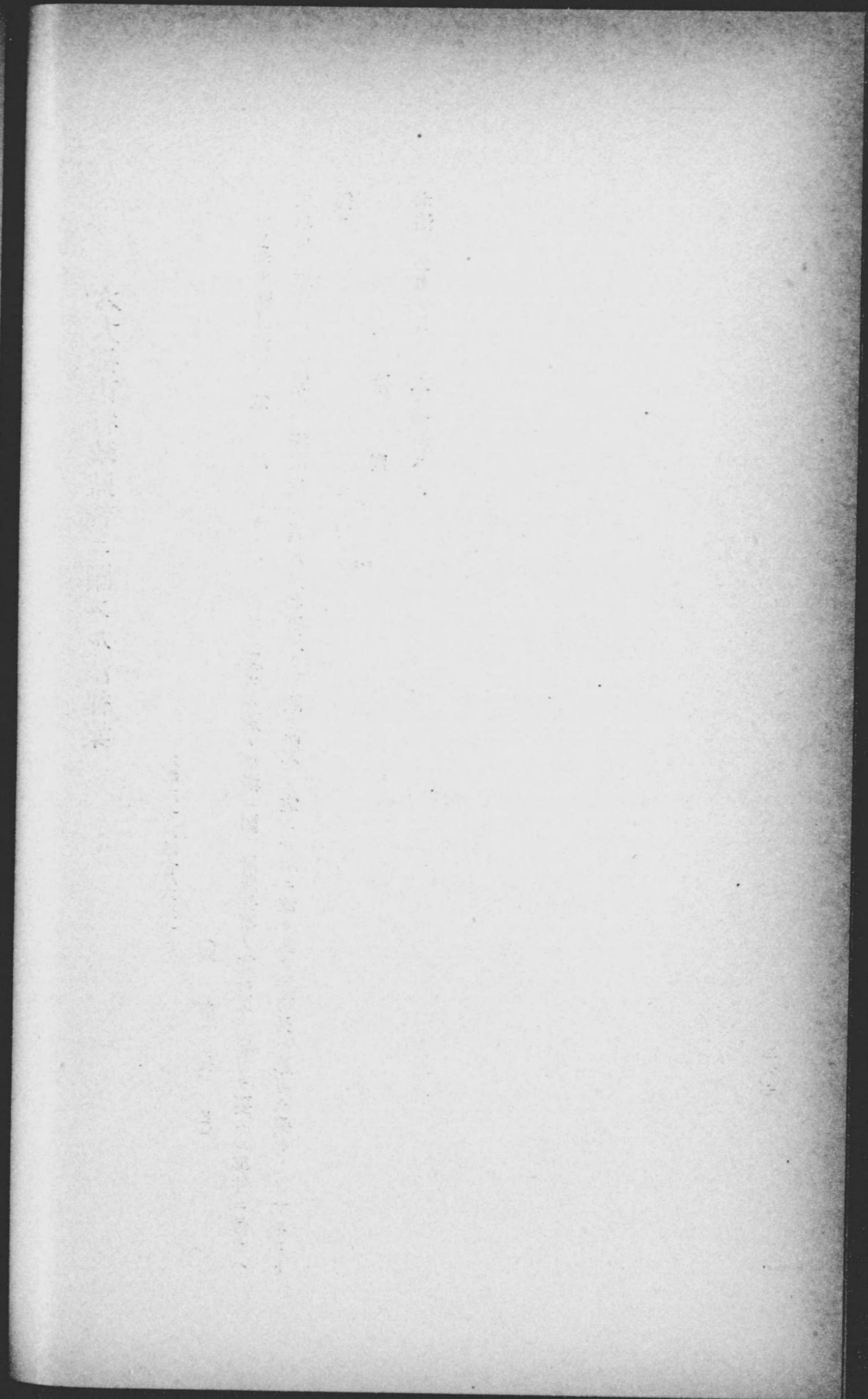
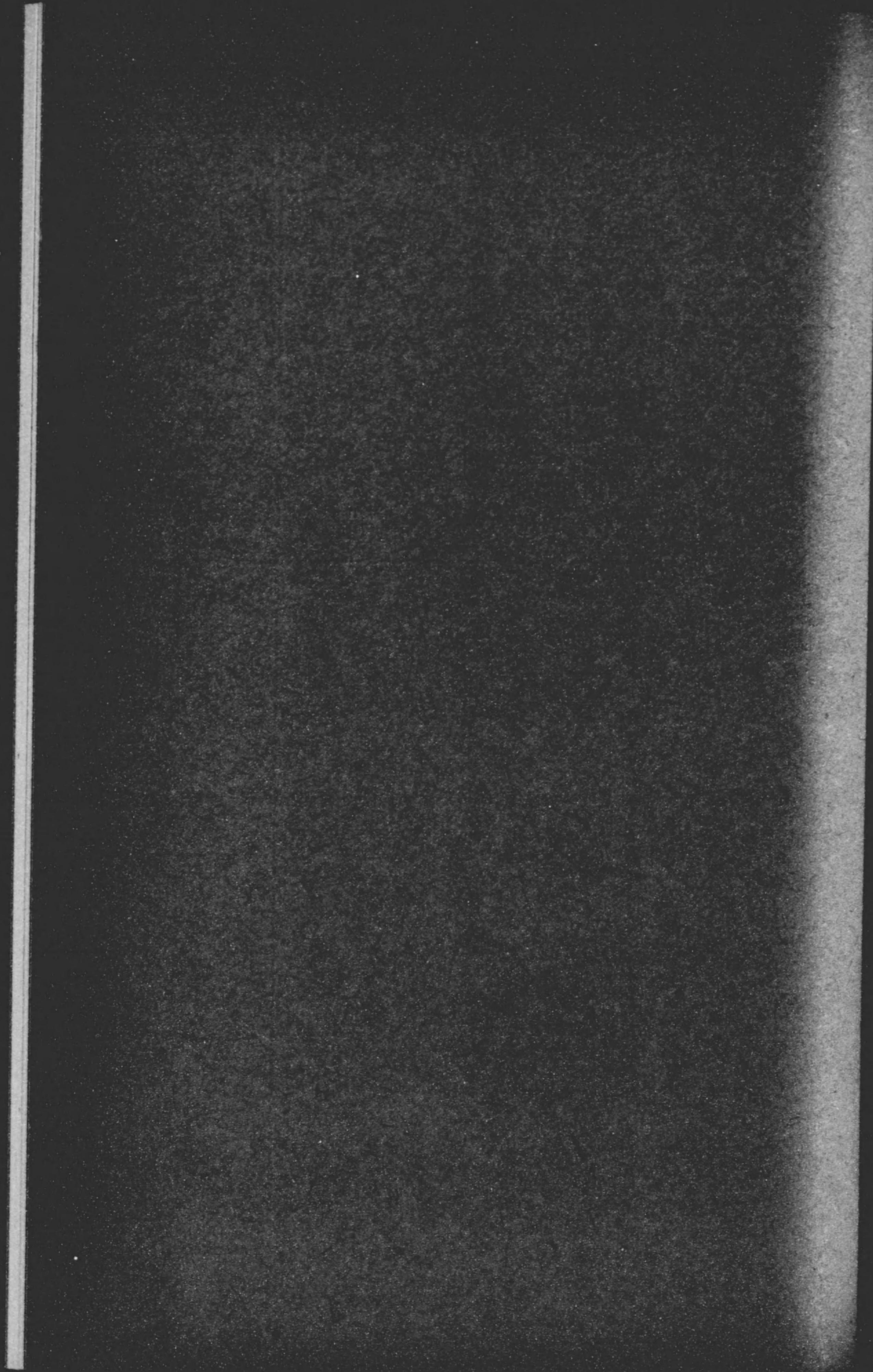
(第四十四議會(大正十年))

(政府提出)

ノ市公共事務及法律ノ定ムル所ニ依リ市又ハ市長ニ屬スル國ノ事務ニ關シ府縣知事ノ許可又ハ認可ヲ要スル事件ニ付テハ
東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可又ハ認可ヲ受ケシメサルコト
得テ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



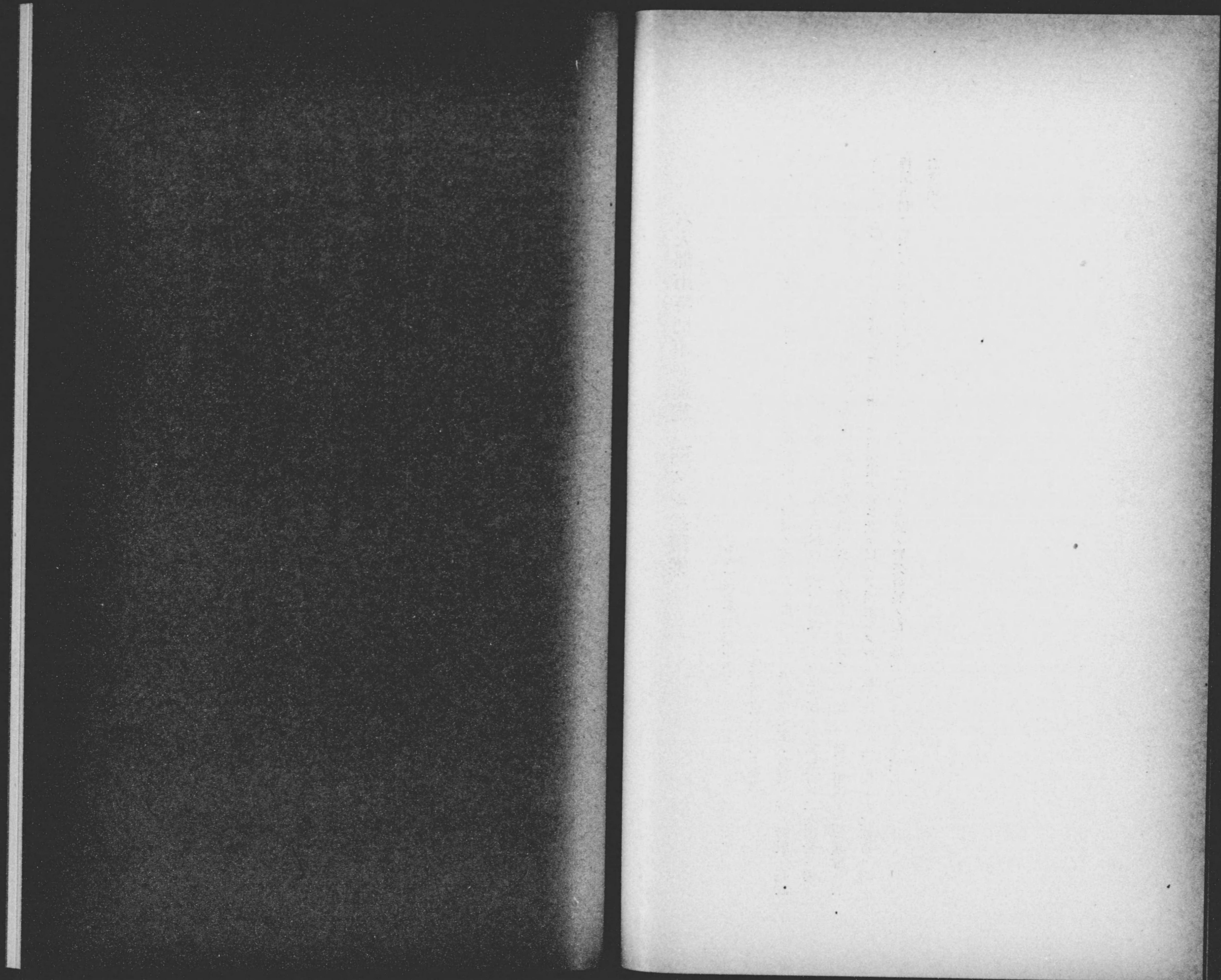
六大都市特別市制速施ニ關スル建議案

(第四十四議會〔大正十年〕)

(奥村安太郎氏外三名提出)

東京市、京都市、大阪市、神戸市、横濱市及名古屋市ハ帝國ノ所謂六大都市トシテ近時商工業ノ發達ト共ニ諸般ノ施設著シク膨脹ヲ來シタルニ拘ラス其ノ市政ハ依然トシテ他ノ小都市ト同一制度ノ下ニ置キ同ク府縣長官ノ二重監督ニ委スルハ行政上煩瑣ナルノミナラス頗ル其ノ敏活ヲ缺キ市政運用上多大ノ障害ヲ來スモノト認ム、曩ニ第四十三回議會ニ於テ以上六大都市ニ對スル各特別市政ニ關スル建議案ノ大多數ヲ以ツテ通過シタルニ鑑ミ政府ハ速ニ以上六大都市ニ對シ特別市制ヲ制定シ内務大臣直接監督ノ下ニ立タシメ以テ市民ノ繁榮發展ノ實ヲ擧ケラレムコトヲ望ム

右建議ス



東京都制案

(第四十五議會〔大正十一年〕)

(內務省未定稿)

第一章 總 則

第一款 都及其ノ區域

第一條 都ハ從來ノ東京市ノ區域ニ依ル

第二條 都ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並慣例ニ依リ東京府若ハ東京市ニ屬シタル事務及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ都ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 都ノ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ關係アル縣參事會、都會、市會及町村會ノ意見ヲ徵シ內務大臣之ヲ定ム所屬未定地ヲ都ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ニ關シテハ前項ノ例ニ依ル

第四條 都ノ境界ニ關スル爭論ハ內務大臣之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル縣都市及町村ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル裁定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係縣都市及町村ニ交付スヘシ

第五條 都ハ處務便宜ノ爲區ニ劃ス

第二款 都住民及其ノ權利義務

第六條 都内ニ住所ヲ有スル者ハ都住民トス

都住民ハ本法ニ從ヒ都ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ都ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條

都住民ニシテ左ノ要件ヲ具備スル者ハ都公民トス但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治産者、準禁治産者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 帝國臣民タル男子ニシテ年齢二十五年以上ノ者

二 獨立ノ生計ヲ營ム者

三 二年以來都住民タル者

四 二年以來直接都稅ヲ納ムル者

都ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

家督相続ニ依リ財産ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財産ニ付被相続人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス、都ノ境界變更アリタル場合ハ其ノ境界變更ノ際從前ノ市町村ニ於テ住所ヲ有シ直接市町村稅ヲ納メタル者ニ付テハ都ニ於テ住所ヲ有シ直接都稅ヲ納メタル者ト看做ス

第八條

都公民ハ都ノ選舉ニ參與シ都ノ名譽職ニ選舉セララル權利ヲ有シ都ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ、若ハ其ノ職ヲ辭シタルトキ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ都ハ一年以上四年以下都公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止期間以内其ノ者ノ負擔スヘキ都稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ増課スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ都内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齢六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲都ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職都吏員、名譽職都參事會員又ハ都會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セル者

六 其ノ他都會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依ル處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第九條 都公民第七條第一項ニ掲ケタル要件ノ一ヲ闕キ又ハ同項但書ニ當ルニ至リタルトキハ其ノ公民權ヲ失フ

都公民租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄又ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキヨリ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ都ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス其ノ他ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第三款 都條例及都規則

第十條 都ハ都住民ノ權利義務又ハ都ノ事務ニ關シ都條例ヲ設クルコトヲ得

都ハ都ノ營造物ニ關シ都條例ヲ以テ規定スルモノヲ除クノ外都規則ヲ設クルコトヲ得

都條例及都規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ公告スヘシ

公告式ハ都條例ノ定ムル所ニ依ル

第二章 都 會

第一款 組織及選舉

第十一條 都會議員ノ定數ハ八十八人トス、都ノ人口二百五十萬ヲ超ユルトキハ人口五十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ増加ス

議員ノ定數ハ都條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 都公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 都會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ區ノ區域ニ依ル各選舉區ヨリ選出シ議員數ハ都條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム第七十四條又ハ第七十七條第三項ノ規定ニ依リ都公民タル者ニシテ都内ニ住所ヲ有セサル者ニ付テハ都長本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ職權ニ依リ其ノ選舉區ヲ定ムヘシ

第十四條 選舉人ハ各選舉區ニ於テ之ヲ分チテ二級トス

選舉人中直接都稅ヲ納ムル選舉人ノ總數ヲ以テ其ノ選舉人ノ納ムル直接都稅總額ヲ除シ其ノ平均額以上ヲ納ムル者ヲ一級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ二級トス但シ一級選舉人ノ數其ノ選舉區ヨリ選出スル議員數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納稅額最多キ者其ノ議員數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ都内ニ住スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シキトキハ八年長者ヲ以テ年齢ニ依リ難キトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人毎級各別ニ其ノ選舉區ヨリ選出スル議員數ノ二分ノ一ヲ選舉スヘシ但シ其ノ議員數二分シ難キトキハ各級ヨリ選

出スル議員數ハ第十三條ノ規定ニ依ル都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セラルルコトヲ得

第二項ノ直接都稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十五條 特別ノ事情アルトキハ都ハ區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

第十六條 選舉權ヲ有スル都公民ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一 都ノ有給吏員

二 檢事、警察官吏及收稅官吏

三 神官、神職、僧侶其ノ他諸宗教師

四、小學校教員

都若ハ區ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ都若ハ區ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ノ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員役員及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ都會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級若ハ選舉區ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ八年長者ヲ當選者トシ年齢同シキトキハ都長抽籤シテ當選者ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ年齢同シキトキハ都長抽籤シテ失職者ヲ定ム

都長都參與又ハ助役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ都會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十七條 都會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ第十三條ノ規定ニ依ル都條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區及等級ヲ規定シ都長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ但シ解任ヲ要スル選舉區及等級ニ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス
選舉區又ハ其ノ選舉區ヨリ選出スル議員數ニ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十三條ノ規定ニ依ル都條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第十八條 都會議員中關員ヲ生シ其ノ關員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ内務大臣、都長若ハ都會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ

議員關員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項若ハ第三十條ノ規定ニ依ル第二十七條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ都長ハ直ニ第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級及選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第十九條 區長ハ選舉期日前百日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿調製期日ハ都長豫メ之ヲ告示スヘシ

區長ハ選舉期日前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄區役所又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ區長ヲ經テ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長ハ縦覽期間滿了後三日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スヘシ都參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ規定ニ依ル決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ規定ニ依ル決定ニ付テハ都長ヨリセ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ場合ニ於テ決定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ其ノ確定期日前ニ區長之ヲ修正スヘシ
選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ第三條ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ内務大臣ノ指定スルモノヲ除クノ外各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ヒ一部ノ選舉區限り調製シタルモノハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ用フ但シ名簿確定後決定確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期間日前四日迄ニ區長之ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ區長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

選舉分會ヲ設クルトキハ區長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セララルヘキ確定決定書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ選舉人ハ等級ノ標準タル直接都稅ニ依リ其ノ者ノ納額ニシテ名簿ニ登錄セラレタル一級選舉人中ノ最小額ヨ

リ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ二級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ
 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス
 第三項乃至第五項ノ場合ニ於テ決定確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其
 ノ名簿ノ調製、縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル日期期限及期間ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタル
 トキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、
 期限及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十條 都長ハ選舉期日前少ナクトモ七日間各選舉區ニ於ケル選舉會場、投票ノ日時及各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ告
 示スヘシ選舉分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示スヘシ

各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ行ヒ選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選舉ヲ行
 フコト能ハサルトキハ都長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選
 舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタ
 ルトキハ都長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

第二十一條 區長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

選舉分會ハ都長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

區長ハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設クヘ
 シ

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十二條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ
 有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演説討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アル
 トキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊ルノ虞
 ナシト認ムル場合ニ於テハ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十三條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ至リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經又ハ確定決定書若ハ判決書ヲ
 提示シテ投票ヲ爲スヘシ

投票時間ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登録セラレタル毎級
 選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲナスコトヲ得ス、投票用紙ハ都長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用
 ウヘシ

選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ、選舉
 分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少ナクトモ一人ノ選舉立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十四條 第三十條若ハ第三十四條第二項ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 現ニ都會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

連名投票ノ法ヲ用イタル場合ニ於テハ前項第一號、第六號及第七號ニ該當スルモノ竝其記載人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號、第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

第二十六條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

選舉分會ニ於ケル投票拒否ハ其ノ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナル時ハ分會長之ヲ決スヘシ

第二十七條 都會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

ヘシ

第二十八條 選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ヲ署名スヘシ、選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ、選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ都長ニ報告スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ都長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數級又ハ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ都長ニ申立ツヘシ其期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ都長抽籤ニシテ之ヲ定ム

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ都長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做シ第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキハ總テ辭シタルモノト看做ス

第二十條 當選者當選ヲ辭シタルトキ數級若ハ數選舉區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ級若ハ選舉區ノ當選ニ應シ若ハ抽籤ニ依リ一ノ級若ハ選舉區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ級若ハ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第十八條第二項ノ例ニ依ル

當選者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選舉若ハ前項ノ

選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十一條 第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ都長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十三條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ都長ハ七日以内ニ都參事會ノ決定ニ付スヘシ都參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

都長選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテ第二十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條ノ告示ノ日ヨリ二十日以内ニ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十八條、第三十條又ハ第三十四條第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間異議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

都會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條 當選無効ト確定シタルトキハ區長ハ直チニ第二十七條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十五條 都會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無ハ都會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外都會之ヲ決定ス

- 一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ
 - 二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ
 - 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
 - 四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 都長ハ都會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ都會ノ決定ニ付スヘシ都會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第一項ノ確定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十三條第六項ノ規定ハ第一項及前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十六條 第十九條又ハ第三十三條ノ規定ニ依リ都參事會ノ爲シタル決定ハ都長直ニ之ヲ告示スヘシ

第十九條又ハ第三十三條ノ規定ニ依リ爲シタル決定確定シ若ハ判決アリタルトキハ都長直ニ之ヲ區長ニ通知スヘシ

第三十七條 本法ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款 職務權限

二八〇

第三十八條 都會ハ都ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬セル事件ヲ議決ス
第三十九條 都會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 都條例及都規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二 都費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第八十九條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 四 決算報告ヲ認定スル事
- 五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金及都税ノ賦課徴收ニ關スル事
- 六 不動産ノ管理處分取得ニ關スル事
- 七 基本財産及積立金等ノ設置管理及處分ニ關スル事
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 十 都吏員ノ身許保證ニ關スル事
- 十一 都ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第四十條 都會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ都參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十一條 都會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十二條 都會ハ都ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ都長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ検査

スルコトヲ得

都會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ都長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項ノ規定ニ依ル都會ノ權限ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十三條 都會ハ都ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ都長又ハ内務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四十四條 都會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

都會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ都會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ都會ノ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ其ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 都會ハ議員中ヨリ議長及副議長一人ヲ選舉スヘシ議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十六條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ議員ノ中ヨリ臨時ニ假議長ヲ選舉スヘシ
前項ノ假議長選舉ニ付テハ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ抽籤ハ都長之ヲ行フ

第四十七條 都長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス
前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲メ議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十八條 都會ハ會期ヲ定メテ都長之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ都長之ヲ招集スヘシ
前項ノ會期ハ必要アル場合ニ於テハ都長之ヲ延長スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ二日前ニ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
都會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ都長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得二日前迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付

亦同シ

都會ハ都長之ヲ開閉ス

第四十九條 都會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十一條ノ除付ノ爲半數ニ滿タサルトキ同一ノ事件ニ付召集再會ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ召集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 都會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十一條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ都會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十二條 法律勅令ニ依リ都會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一人毎ニ無記名投票ヲ爲シ有効投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム
前項ノ場合ニ於テ第二十三條及第二十五條ノ規定ヲ準用シ投票ノ効力ニ關シ異議アルトキハ都會之ヲ決定ス
第一項ノ選舉ニ付テハ都會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

前項ノ連名投票ノ法ヲ用ヒタル場合ニ於テ過半數ノ投票ヲ得タル者選舉スヘキ定數ヲ超ヘタルトキハ最多數ヲ得タル者ヨリ順次當選者ヲ定メ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

第五十三條 都會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 都長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十四條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十六條ノ例ニ依ル前項ノ規定ニ依リ議員ノ請求ニ基ツキ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非レハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十五條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十六條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十七條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得
第五十八條 都會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ第八十一條ノ規定ニ依ル都吏員中ヨリ議長之ヲ命ス

第五十九條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ
會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ都會ニ於テ之ヲ定ムヘシ
議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ都長ニ報告スヘシ

第六十條 都會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ都會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 都 参 事 會

第一款 組織及選舉

第六十一條 都ニ都参事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 都長

二 助役

三 名譽職参事會員

名譽職参事會員ノ定數ハ十二人トス

都參與ハ参事會員トシテ其ノ參與スル事業ニ關スル場合ニ限り會議ニ列席シ議事ニ參與ス

第六十二條 名譽職参事會員ハ都會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ其ノ選舉ニ關シテハ第二十三條、第二十五條、
第二十七條ノ規定ヲ準用シ投票ノ効力ニ關シ異議アルトキハ都會之ヲ決定ス

名譽職参事會員中闕員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

名譽職参事會員ノ任期ハ都會議員ノ任期ニ依ル但シ都會議員ノ任期満了ノ場合ニ於テハ後任名譽職参事會員選舉ノ日迄
在任ス

第六十三條 都参事會ハ都長ヲ以テ議長トス都長故障アルトキハ都長代理者議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職 務 權 限

第六十四條 都参事會ノ職務權限左ノ如シ

一 都會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 都長ヨリ都會ニ提出スル議案ニハ都長ニ對シ意見ヲ述フル事

三 其ノ他法令ニ依リ都参事會ノ權限ニ屬スル事件

第六十五條 都参事會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ都長ニ委任スルコトヲ得

第六十六條 都参事會ハ都長之ヲ招集ス名譽職参事會員定數ノ半數以上ノ請求アルトキハ都長ハ之ヲ招集スヘシ

都長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ都参事會ヲ招集スルコトヲ得

都参事會ハ都長之ヲ開閉ス

第六十七條 都参事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十八條 都参事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職参事會員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス
但シ第二項ノ除外ノ爲名譽職参事會員其ノ半數ニ滿タサルトキ同一ノ事件ニ付キ召集再會ニ至ルモ仍名譽職参事會員其
ノ半數ニ滿タサルトキ又ハ召集ニ應スルモ出席名譽職参事會員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス

議長及参事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ議事ニ參與スルコトヲ得

ス但シ都参事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得
 議長及其ノ代理者共ニ前項ノ場合ニ當ルトキハ年長ノ名譽職参事會員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シトキハ抽籤ヲ以テ之
 ヲ定ム前項ノ抽籤ハ部長之ヲ行フ
 第六十九條 第四十四條、第四十七條、第五十條、第五十二條、第五十四條乃至第五十六條、第五十八條並第五十九條第
 一項及第二項ノ規定ハ都参事會ニ之ヲ準用ス

第四章 都 吏 員

第一款 組織選舉及任免

第七十條 都ニ都長及助役一人ヲ置ク

助役ノ定數ハ都條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ必要アル場合ニ於テハ都條例ヲ以テ都參與ヲ置クコトヲ得

第七十一條 都長ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

内務大臣ハ都會ヲシテ都長候補者三人ヲ選舉推薦セシメ上奏裁可ヲ請フヘシ

都長ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

七十二條 都參與ハ名譽職トス

都參與ニ於テ都公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七十三條 助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス、助役ハ都長ノ推薦ニ依リ都會之ヲ定メ都長職ニ在ラサルトキハ都

會ニ於テ之ヲ選舉シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

助役ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ任期中退職スルコトヲ得ス

第七十四條 都長及助役ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間都公民トス

第七十五條 都長、都參與及助役ハ第十六條第二項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ス

都長、都參與及助役ハ都若ハ區ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ都若ハ區ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ノ請負ヲ爲シ及同一ノ行爲ヲ

爲ス者ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員タルコトヲ得ス

都長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ都參與又ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

都參與ト父子兄弟タル緣故アル者ハ助役職ニ在ルコトヲ得ス

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ都參與又ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス第十六條第六項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條 都長ハ内務大臣助役ハ都長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ従事スルコトヲ得ス

都長及助役ハ會社ノ取締役、監査役若ハ之ニ準スヘキ者清算人又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第七十七條 都ニ收入役及副收入役各一人ヲ置ク

副收入役ノ定數ハ都條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

第七十三條第一項及第二項、第七十五條第一項及第二項並前條中助役ニ關スル規定ハ收入役及副收入役ニ第七十四條

ノ規定ハ收入役ニ第七十五條第五項ノ規定ハ副收入役ニ之ヲ準用ス

都長、都參與又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス收入役ト父子兄弟タル緣

故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第七十八條 區ニ區長ヲ置キ都有給吏員トシ都長之ヲ任免ス、第七十五條第一項及第二項並第七十六條中助役ニ關スル規

定ハ區長ニ之ヲ準用ス

第七十九條 區ニ區收入役及區副收入役各一人ヲ置キ都有給吏員トシ都長之ヲ任免ス

都長、都參與、助役、收入役副收入役及區長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ區收入役又ハ區副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得

區收入役ハ父子兄弟タル緣故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第八十條 都ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得、委員ハ名譽職トス都會ニ於テ都會議員名譽職參事會員又ハ都公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ、委員長ハ都長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル都參與若ハ助役ヲ之ニ充ツ
常設委員ノ組織ニ關シテハ都條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八十一條 前數條ニ定ムル者ノ外都ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ都長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定數ハ都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定メ其ノ組織、任用、分限及懲戒ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條 都公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ都公民權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタルトキ又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失フ職ニ就キタルカ爲都公民タル者ニシテ禁治産若ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ第九條第三項若ハ第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ内務大臣ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第二款 職務權限

第八十三條 都長ハ都ヲ統轄シ都ヲ代表ス

都長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 都會及都參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事

二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

四 證書及公文書類ヲ保管スル事

五 法令又ハ都會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金及都稅ヲ賦課徵收スル事

六 其ノ他法令ニ依リ都長ノ職權ニ屬スル事項

第八十四條 都長ハ議案ヲ都會ニ提出スル前之ヲ都參事ノ審査ニ付シ其ノ意見ヲ議案ニ添ヘ都會ニ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ都參事會ノ審査ニ付シタル場合ニ於テ都參事會意見ヲ述ヘサルトキハ都長ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ議案ヲ都會ニ提出スルコトヲ得

第八十五條 都長ハ都吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ都參與、助役、收入役、副收入役及委員ニ付テハ譴責及二十五圓以下ノ過怠金トシ其ノ他ノ吏員ニ付テハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス
前項ノ規定ニ依リ解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間都及都ノ區ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セラレルコトヲ得ス
第四百四十七條及第四百七十四條ノ規定ニ依リ解職セラレタル者亦同シ

第八十六條 都會又ハ都事參會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ超エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ都長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ都會又ハ都事參會其ノ議決ヲ改メサルトキハ都長ハ内務大臣ノ裁決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルト

キハ再議ニ付セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得

内務大臣ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

都會又ハ都參事會ノ議決公益ヲ害シ又ハ都ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ都長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニアリテハ之ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於テ都會又ハ都參事會其ノ議決ヲ改メサルトキハ都長ハ内務大臣ノ裁決ヲ請フヘシ

第二項ノ裁決又ハ第三項ノ處分ニ不服アル都長、都會又ハ都參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十七條 都會成立セサルトキ第四十九條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ都長ニ於テ都會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長ハ都會ノ權限ニ屬スル事件ヲ都參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ都參事會ニ於テ議決ヲ爲ストキハ都長、都參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得

都參事會成立セサルトキ又ハ第六十八條第一項但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ都長ハ内務大臣ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

都會又ハ都參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

都會又ハ都參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前四項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル都參事會ノ決定又ハ都長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項及前三項ノ規定ニ依リ處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ都會又ハ參事會ニ報告スヘシ

第八十八條 都參事會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ都參事會成立セサルトキ又ハ都長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ都長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ參事會ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ都長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十九條 都長其ノ他ノ都吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國及公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ都ノ負擔トス但法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十條 都長ハ其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ委任スルコトヲ得

都長ハ都吏員ヲシテ財産又ハ營造物ヲ管理セシムルコトヲ得

都長ハ都吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第九十一條 都參與ハ都長ノ指揮監督ヲ承ケ都ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ニ參與ス

第九十二條 助役ハ都長ノ事務ヲ補助ス

助役ハ都長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ都長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第九十三條 收入役ハ都ノ出納其ノ他ノ會計事務並第八十九條ノ事務ニ關スル國及公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス副收入役數人アルトキハ豫メ都長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

收入役ハ都長ノ同意ヲ得テ其ノ事務ノ一部ヲ副收入役又ハ區收入役ニ委任スルコトヲ得

第九十四條 區長ハ都長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ於ケル都ノ事務ヲ掌ル

第九十五條 區長故障アルトキハ區收入役及區副收入役ニ非サル區所屬ノ都吏員中上席ヨリ順次之ヲ代理ス

區長ハ區所屬ノ都吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第九十六條 區收入役ハ都收入役ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ都ノ出納其ノ他ノ會計事務並第八十九條ノ事務ニ

關スル國及公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

區副收入役ハ區收入役ノ事務ヲ補助シ區收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

區收入役、區副收入役共ニ故障アルトキハ都長ハ都吏員中ヨリ臨時代理者ヲ命スヘシ

第九十七條 都委員ハ都長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル都ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第九十八條 第八十一條ノ吏員ハ都長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

前項吏員中區所屬ノ者ハ區長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第五章 給料及給與

第九十九條 都參與、都會議員、名譽職參事會員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得都參與及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬額及其ノ支給方法ハ都會ノ議決ヲ經都長之ヲ定ム

第一百條 都長、助役、收入役、副收入役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ都會ノ議決ヲ經都長之ヲ定ム

第一百一條 有給吏員ニハ都條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第一百二條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ都參會事ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百三條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ都ノ負擔トス

第六章 都ノ財務

第一款 財産營造物及都稅

第一百四條 收益ノ爲ニスル都ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スルコトヲ得

都ハ特定ノ目的ノ爲積立金等ヲ設クルコトヲ得

第一百五條 舊來ノ慣行ニ依リ都住民中特ニ都ノ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ都會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ都ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第一百六條 都ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ都規則ヲ設クルコトヲ得

第一百七條 都ハ第一百五條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第一百八條 都ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

都ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百九條 財産ノ賣却貸與工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ入札ノ價格其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ都會ノ同意ヲ經タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一百十條 都ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百十一條 都ハ其ノ必要ナル費用並價例ニ依リ東京府若ハ東京市ノ負擔ニ屬シタル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律

勅令ニ依リ都ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第一百十二條 都ハ都稅ヲ賦課徵收スルコト得

都稅及其ノ賦課徵收ニ付テハ本法其ノ他ノ法律勅令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外府縣稅ノ例ニ依ル
直接國稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ賦課徵收スヘシ但シ第四百十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在
ラス

第一百十三條 三月以上都内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百十四條 都内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖都内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ
都内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ都内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ
其ノ行爲ニ對シテ賦課スル都稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百十五條 納稅者ノ都外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ都外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業
若ハ其ノ收入ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在同時ニ都ノ内外ニ渉ル者ノ前項以外ノ收入ニ對シ都稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ關係アル府縣及都ニ平分シ
其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

前項ノ住所又ハ滞在其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ
賦課スヘシ但シ賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦課額ハ之ヲ變更セス其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在
スル者ニ對シテハ他ノ府縣ニ於テ賦課セサル部分ニノミ賦課スヘシ

都ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係アル

府縣及都ニ於テ營業稅附加稅、所得稅附加稅又ハ礦產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係アル府縣知事及都長協議ノ上其ノ
歩合ヲ定ム協議調ハサルトキハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

礦區又ハ砂礦區カ都ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ礦區稅又ハ砂礦區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ礦區又ハ砂礦區ノ屬スル地
表ノ面積ニ依リ本稅額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第一百十六條 所得稅法第十八條ニ掲クル所得ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社、寺院、祠宇、佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所、説教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ都稅
ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス
國府縣、市及町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料
ニシテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ都稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外都稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百十七條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

都ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ都内ニ於テ都稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコ
トヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ
數人又ハ都ノ一部ヲ利スル財產ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第一百十八條 數人又ハ都ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ都ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ都ノ一部ニ對

シ賦課ヲ爲スコトヲ得

二九六

第一百十九條 非常災害ノ爲必要アルトキハ都ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危険防止ノ爲必要アルトキハ都長又ハ警察官吏ハ都内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得
第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ内務大臣之ヲ決定ス

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二十條 都税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第二十一條 都長ハ特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ都參事會ノ議決ヲ經ヘシ
都長ハ特別ノ事情アル者ニ限リ都參事會ノ議決ヲ經都税ヲ減免スルコトヲ得

第二十二條 使用料、手数料ニ關スル事項並都税及其ノ賦課徵收ニ關スル事項ニ付テハ都條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ都條例中使用料及手数料ニ付テハ五圓以下都税ニ付テハ五十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得
財產又ハ營造物ノ使用ニ關シテハ都條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得、過料ヲ科シ及之ヲ徵收スルハ都長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アルモノハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十三條 都税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ都長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ使用料、手数料及加入金ノ徵收ニ關シ之ヲ準用ス

財產又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ都長ニ申立ツルコトヲ得

前三項ノ異議ハ之ヲ都參事會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル決定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條 都税、使用料、手数料、加入金、過料及過怠金其ノ他ノ都ノ收入ヲ定期内ニ納メサル事アルトキハ都長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル區長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ都條例ノ定ムル所ニ依リテ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滞納者第一項ノ督促ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項及第二項ノ徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ場合ニ於テ區長ノ處分ニ不服アル者ハ都參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ都長ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ都長又ハ區長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第二十五條 都ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、都ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り都債ヲ起スコトヲ得

二九七

都債ヲ起スニ付都會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ
都長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲都參事會ノ議決ヲ經一時借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第二百二十六條 都長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始ノ一月前迄ニ都會ノ議決ヲ經ヘシ
都ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ都會ニ提出スルトキハ都長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第二百二十七條 都長ハ都會ノ議決ヲ經既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條 都費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ都會ノ議決ヲ經其ノ年期間各年
度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第二百二十九條 都ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ都會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第二百三十條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二百三十一條 都ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

第二百三十二條 豫算ノ議決アリタルトキハ都長ハ其臈本ヲ收入役ニ交付スヘシ

收入役ハ都長又ハ内務大臣ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出費
目流用其ノ他ノ財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

第二百三十三條 都ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第二百三十四條 都ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且每會計年度少クトモ二回臨時検査ヲナスヘシ

前項ノ検査ハ都長之ヲ爲シ臨時検査ニハ名譽職參事會ニ於テ互選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要ス

第二百三十五條 都ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ都長ニ提出スヘシ都長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ二月以内
ニ之ヲ都會ノ認定ニ付スヘシ

決算ハ其ノ認定ニ關スル都會ノ議決ト共ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

決算ヲ都參事會ノ會議ニ付スル場合ニ於テハ都長、都參與及助役ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第二百三十六條 豫算調製ノ式費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 都ノ監督

第二百三十七條 都ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百三十八條 異議ノ申立又ハ訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定
メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定裁定又ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

決定書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ計算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴訟法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シテ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ
之ヲ停止スルコトヲ得

第三百二十九條 内務大臣ハ都ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視
察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

内務大臣ハ都ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十條 内務大臣ハ勅裁ヲ經テ都會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

都會解散ノ場合ニ於テハ四月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

内務大臣ハ期日ヲ定メテ都會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第四百十一條 都ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ内務大臣ハ理由
ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

都長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ内務大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏之ヲ執行スルコトヲ得
但シ其ノ費用ハ都ノ負擔トス

第一項ノ處分ニ不服アル都及前項ノ處分ニ不服アル都長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百十二條 都長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ内務大臣臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職
務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ職務ノ爲ニ要スル費用ハ都費ヲ以テ辨償セシムヘシ
臨時代理者ハ有給ノ都吏員トシ其給料額旅費額等ハ内務大臣之ヲ定ム

第四百十三條 左ニ提クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一 都廳ノ位置ヲ定メ又ハ變更スル事

二 都條例ヲ設ケ又ハ改廢スル事

三 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ之ニ大ナル變更ヲ加フル事

四 不動産處分ニ關スル事

五 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

六 第一百七條第一項、第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ都ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

七 第一百八條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ都ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第四百十四條 都債ヲ起シ又ハ起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ之ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣及
大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第二百五條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第四百十五條 主務大臣ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ
許可ヲ與フルコトヲ得

第四百十六條 主務大臣ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第四百十七條 内務大臣ハ都長、都參與、助役、收入役、副收入役及區長其ノ他ノ都吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ
懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ都長、都參與、助役、收入役、副收入役及區長ニ對スル解職ハ懲
戒審査會ノ議決ヲ經都長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル内務省高等官六人ヲ以テ其ノ會員トシ内務次官ヲ以テ會長トス會長故障アルトキハ上
席高等官會長ノ職務ヲ行フ

内務大臣ハ都吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支
給スルコトヲ得ス

第四百四十八條 都吏員ノ服務規律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設ケルコトヲ得

第八章 區

第四百四十九條 都ニ區ヲ置ク

區ハ從來ノ東京市ノ區ノ區域ニ依ル

第五百十條 區ハ法人トス其ノ財産及營造物ニ關スル事務其ノ他ノ公共事務並法律勅令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

第五百十一條 區ノ廢置分合ヲ爲サントスルトキハ關係アル區會及都會ノ意見ヲ徵シ内務大臣之ヲ定ム

區ノ境界變更ヲ爲サントスルトキハ關係アル區會ノ意見ヲ徵シ都參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ都長之ヲ定ム

第三條ノ場合ニ於テハ新ニ區ヲ置ク場合ノ外關係アル區會及都會ノ意見ヲ徵シ内務大臣其ノ所屬スヘキ區ヲ定ム

前三項ノ場合ニ於テ財産アルトキ其ノ處分ニ關シテハ前三項ノ例ニ依ル

第五百十二條 區ノ境界ニ關スル爭論ハ第四條ニ當ル場合ヲ除クノ外都參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル區ハ行政裁

判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル裁定ニ付テハ第四條第二項ノ例ニ依ル

第一項ノ規定ニ依ル裁定ニ付テハ都長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五百十三條 區内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ區住民トス

區住民ハ本法ニ從ヒ區ノ財産又營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ區ノ負擔ヲ分住スル義務ヲ負フ

第五百十四條 區ハ區住民ノ權利義務又ハ區ノ事務ニ關シ區條例ヲ設ケルコトヲ得

區ハ區ノ營造物ニ關シ區條例ヲ以テ規定スルモノヲ除クノ外區規則ヲ設ケルコトヲ得

區條例及區規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ公告スヘシ

前項ノ公告式ハ區條例ノ定ムル所ニ依ル

第五百十五條 區ニ區會ヲ置ク

第五百十六條 區住民ニシテ都公民權ヲ有シ且其ノ區ニ於テ直接都稅ヲ納ムル者ハ區會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ都公民權
停止中ノ者陸海軍ノ現役ニ服スル者及其ノ他兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラ
ス

區會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ區ノ名譽職ニ選舉セララル權利ヲ有シ區ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ但シ區會議員ノ
選舉權停止中ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第五百十七條 左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シタルトキ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ
執行セサルトキハ區ハ一年以上四年以下區會議員ノ選舉權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止期間以内其ノ者ノ負擔スヘキ區
稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ増課スルコトヲ得

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
- 二 業務ノ爲常ニ區内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡六十年以上ノ者

四 官公職ノ爲區ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職區吏員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他區會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ都參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第二項ノ裁決ニ付テハ都長又ハ區長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十八條 區會ノ組織選舉及職務權限ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノヲ除クノ外市制第十三條、第十五條、第十七條乃至第三十九條、第四十一條乃至第六十三條ノ規定ヲ準用ス但シ市民ハ都公民、直接市稅ハ直接都稅、府縣ハ都、府縣參事會ハ都參事會、府縣知事ハ都長、第十五條第二項中選舉人ノ納ムル直接市稅總額ハ選舉人ノ其ノ區ニ於テ納ムル直接都稅總額、第十八條第三項中市ハ區又ハ都第二十一條第一項中六十日ハ百日同條第三項中四十日ハ五十日及同條第九項中第三條又ハ第四條ノ處分アリタル場合ハ區ノ廢置分合又ハ區ノ境界變更アリタル場合、第四十三條中市參事會ハ區長トス

第五十九條 區ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職區吏員トス區會ニ於テ區會議員又ハ區會議員ノ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ委員長ハ區長ヲ以テ之ニ充ツ

常設委員ノ組織ニ關シテハ區條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

委員ニシテ區會議員ノ選舉權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタル時ハ其ノ職ヲ失フ

第六十條 前條ニ定ムルモノノ外區ニ有給ノ區吏員ヲ置クコトヲ得

前項吏員ハ區長之ヲ任免シ其ノ定數ハ區會ノ議決ヲ經區長之ヲ定ム

第六十一條 區會成立セサルトキ又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ準用シタル市制第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ區長ハ其ノ議決スヘキ事件ニ付都參事會ノ議決ヲ請フコトヲ得

區會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

區會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル都參事會ノ決定ニ對シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル措置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

區會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ區會成立セサルトキ又ハ區長ニ於テ之ヲ召集スル暇ナシト認ムルトキハ區長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ區長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十二條 區長ハ區吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第六十三條 區長ノ職務權限ニ關シテハ前二條ニ規定スルモノヲ除クノ外市制第八十七條第八十九條、第九十條及第九十三條ノ規定ヲ準用ス但シ府縣參事會ハ都參事會府縣知事ハ都長第九十三條中市長其ノ他市吏員ハ區吏員トス

第六十四條 區ノ出納其ノ他ノ會計事務ハ區收入役之ヲ掌ル

第六十五條 區委員ハ區長ノ指揮監督ヲ承ケ區ノ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル區ノ事務ヲ調査シ之ヲ處辨ス

三〇六

第六十六條 第六十條ノ區吏員ハ區長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六十七條 區所屬ノ都吏員ノ區行政ニ關スル職務關係ハ都ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第六十八條 區會議員其ノ他區名譽職員及有給區吏員ノ給料及給與ニ關シテハ市制第四百四條乃至第八條ノ規定ヲ準用ス但シ市參事會ハ區會府縣參事會ハ都參事會、府縣知事ハ都長トス

第六十九條 收益ノ爲ニスル區ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スルコトヲ得

區ハ特定ノ目的ノ爲積立金等ヲ設クルコトヲ得

第七十條 區ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ區ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第七十一條 區ハ區稅トシテ直接都稅ノ附加稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル區稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ第七十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

國稅ノ附加稅タル都稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

七十二條 區ノ財務ニ關シテハ前三條ノ規定スルモノヲ除クノ外市制第十條乃至第十五條、第十八條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十四條、第二十八條乃至第三十一條、第三十二條第三項及第四項並第三百三十三條乃至第四百三十三條ノ規定ヲ準用ス但シ府縣ハ都、市參事會ハ區會、府縣參事會ハ都參事會、名譽職員及參事會員ハ區會議員、府縣知事ハ都長、收入役ハ區收入役トス

第七十三條 左ニ掲クル事件ハ都長ノ許可ヲ受クヘシ

一 營造物ノ設置又ハ廢止其ノ他區ノ事業ヲ起シ又ハ廢止スル事

二 區稅ヲ賦課スル事

三 第七十一條ノ規定ニ依リ準用シタル市制第十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事

四 加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

五 寄附又ハ補助ヲ爲ス事

六 不動産ノ管理及處分ニ關スル事

七 均一ノ稅率ニ依ラスシテ區稅ヲ賦課スル事

八 第七十二條ノ規定ニ依リ準用シタル市制第二十二條第一項、第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ區ノ一部ニ對シ費用ヲ負擔セシムル事

九 第七十二條ノ規定ニ依リ準用シタル市制第二十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ區ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第七十四條 都長ハ區吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

前項ノ規定ニ依リ解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十五條 區ノ監督ニ關シテハ前二條ノ規定スルモノヲ除クノ外市制第七條第一項第五十七條乃至第六十三條、

第六十五條、第六十八條、第六十九條及第七十一條ノ規定ヲ準用ス但シ府縣知事ハ都長、第六十二條第二項

三〇七

中三月以内ハ四月以内トス

第九章 雜 則

第七十六條 第十一條及第五十八條ノ規定ニ依リ準用シタル市制第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル
第七十七條 本法ニ於ケル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム
第七十八條 都ニ於テ賦課スル國税附加税又ハ特別税ノ制限率及段別割ノ制限額ハ左ノ各號ニ規定スル所ニ依ル

一 明治四十一年法律第三十七號第一條乃至第三條ノ適用ニ關シテハ府縣ト其ノ他ノ公共團體トニ付規定シタル各税ノ制限率又ハ制限額ヲ合算シタルモノトス

二 礦業法第八十八條賣藥税法第一條ノ六及取引所税法第二十二條ノ適用ニ關シテハ府縣ト市町村トニ付規定シタル制限率ヲ合算シタルモノトス

三 都市計畫法第八條ノ適用ニ關シテハ其ノ各税ノ制限率ノ二倍トス

第七十九條 現行法令中府縣及市ハ都、府縣廳及市役所ハ都廳、府縣會及市會ハ都會、府縣參事會及市參事會ハ都參事會、府縣會議員及市會議員ハ都會議員、名譽職府縣參事會員及名譽職市參事會員ハ名譽職都參事會員、府縣知事及市長ハ都長、市收入役ハ都收入役、市吏員ハ都吏員、市制第六條ノ市ノ區ハ都ノ區、市制第六條ノ市ノ區長ハ都ノ區長ト看做ス

其ノ他此ノ例ニ依ル但シ本條ノ例ニ依ラサルモノハ法令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十條 行政執行法第五條及第六條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ權限ハ都長亦之ヲ行フ

第八十一條

東京府令ハ本法其ノ他ノ法令ノ規定ニ牴觸セサルモノニ限り東京都ノ區域内ニ於テ仍其ノ効力ヲ有ス

東京市條例又ハ市規則ハ都條例又ハ都規則ト看做ス但シ東京市ノ各區ノ財産又ハ營造物ニ關スルモノハ都ノ各區ノ區條

例又ハ區規則ト看做ス

第八十二條 都ノ境界變更アリタル場合ニ於テ都ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

第八十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 本法施行ノ際現ニ東京市ニ屬スル營造物、事業及權利義務ハ都ニ又東京市ノ各區ニ屬スル營造物事業及權利義務ハ都ノ各區ニ歸屬ス

第八十五條 本法施行ノ日迄引續キ東京市ニ於テ住所ヲ有シ直接市税ヲ納ムル者ハ都ニ於テ住所ヲ有シ直接都税ヲ納ムル者ト看做シ第七條ノ規定ヲ適用ス

第八十六條 本法施行ノ際現ニ東京市ノ名譽職市長、助役、收入役及副收入役ノ職ニ在ル者ハ左ノ各號ニ依リ從前ノ規定ニ依ル任期滿了ノ日迄在職スルモノトス

一 市會議員ハ都會議員、市會議長ハ都會議長、市會副議長ハ都會副議長及名譽職市參事會員ハ名譽職都參事會員トス

二 市ノ各區ノ區會議員、區會議長及區會副議長ハ都ノ各區ノ區會議員、區會議長及區會副議長トス

三 市長ハ都長名譽職市參與ハ都參與、市ノ助役、收入役及副收入役ハ都ノ助役、收入役及副收入役トス

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外市ノ吏員ハ都ノ吏員トス但シ任期アル者ニ付テハ前項ノ例ニ依ル

第一項第一號ノ都會議員ハ從來ノ所屬選舉區ト區域ヲ同シクスル都ノ選舉區ノ所屬トス

東京市會議員又ハ區會議員ノ選舉ヲ行ヒ本法施行ノ際未タ議員定マラサルトキハ仍從前ノ規定ニ依リ議員ヲ定メ第一項

及前項ノ例ニ依ル但シ更ニ選舉ヲ行フ場合ハ本法ニ依ル

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ都會議員又ハ區會議員ト爲リタル者東京市會議員又ハ區會議員ノ當選無効ト確定シタルト
キハ前項ノ例ニ依ル

第百八十七條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ東京市會議員、東京市ノ區會議員又ハ東京府會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止セ
ラレタル者ハ都會議員又ハ都ノ區會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止ス

第百八十八條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

武藏縣設置ニ關スル法律案

(第四十五議會〔大正十一年〕)

(內務省未定稿)

東京府ヲ廢シ武藏縣ヲ置ク

從來ノ東京府ノ區域中東京都ノ區域ヲ除キ其ノ他ヲ以テ武藏縣ノ區域トス

附 則

本法中附則第三項ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ定ム

本法施行ノ際縣會及縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間知事之ヲ行フ

本法施行ノ爲東京府ニ屬スル營造物及事業ノ處分竝ニ權利義務ノ歸屬ニ付必要ナル事項ハ東京府會同市部會同郡部會ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ定ム

東京府令ハ法令ノ規定ニ牴觸セサルモノニ限り武藏縣ノ區域内ニ於テ仍其ノ效力ヲ有ス

本法ニ規定スルモノノ外東京府ヲ廢シ武藏縣ヲ置クニ付必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

